

取付作業者用

ドライブレコーダー取付説明書

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
本書はドライブレコーダーの取付方法について記載しています。
取り付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
取り付け後は、「取扱説明書」および「保証書」を必ずお客様にお渡しください。
なお、取付ミスを避けるためにも、取付けは、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店
でお願いします。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

！警告、**▲注意**、**注記**、**△アドバイス** のところは、とくにしっかりお読みください。

！警告	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
▲注意	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
△アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

使用されている~~○~~の記号は、してはいけない内容を示しています。

！の記号は、実行しなければならない内容を示しています。

品番および適用車種

👉 アドバイス

キャリイ、スーパー・キャリイに取り付ける場合は、別途コードレールが必要です。

品番	適用車種	適用年式
99000-79CA8	アルト 型式 HA37S、HA97S	2021年 12月～
	キャリイ 型式 DA16T	2019年 11月～
	スーパー・キャリイ 型式 DA16T	
	エブリイ 型式 DA17W、DA17V	2020年 1月～
	ハスラー 型式 MR52S、MR92S	
	ジムニー 型式 JB64W	2019年 11月～
	ラパン 型式 HE33S	
	スペーシア 型式 MK53S	
	スペーシアベース 型式 MK33V	2022年 8月～
	ワゴンR 型式 MH35S、MH55S、MH85S、MH95S	2019年 11月～
	ワゴンRスマイル 型式 MX81S、MX91S	2021年 9月～
	エスクード 型式 YEA1S、YEH1S	2019年 11月～
	イグニス 型式 FF21S	
	ジムニーシエラ 型式 JB74W	
	ソリオ 型式 MA27S、MA37S	2020年 11月～
	スイフト 型式 ZC13S、ZC33S、ZC43S、ZC53S、ZD53S、ZC83S、ZD83S	2019年 11月～
	クロスビー 型式 MN71S	

もくじ

安全に関する表示.....	1
品番および適用車種.....	2
もくじ.....	3
構成部品.....	5
取り付けに必要な工具類.....	5
取付上の留意点.....	6
取付準備作業	8

取付要領、取付作業

全車共通

• ご注意（取付作業前に必ずお読みください。）.....	9
• 車両部品の取り外し方法.....	9
• ドライブレコーダーの取付条件について	10
• ドライブレコーダー取付前の準備	11
• ドライブレコーダーの取付方法.....	14
• 配線のしかた.....	18
車両部品の復元.....	19
既設部品の点検.....	19
接続のしかた	20
取付・配線の確認.....	21
作動確認・取付調整・カードの初期化.....	24
• ドライブレコーダーの作動確認.....	25
• 取付調整.....	26
• 取付調整の確認.....	28
• 感度調整.....	28
• 映像ファイルの削除	30

取付要領、取付作業

アルトの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	32
• 取付概要.....	33
• ドライブレコーダーの取付方法.....	34
• 配線のしかた.....	35

キャリイ／スーパー・キャリイの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	36
• 取付概要.....	37
• ドライブレコーダーの取付方法.....	38
• 配線のしかた.....	39

エブリイの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	43
• 取付概要.....	44
• ドライブレコーダーの取付方法.....	45
• 配線のしかた.....	46

ハスラーの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	47
• 取付概要.....	48
• ドライブレコーダーの取付方法.....	49
• 配線のしかた.....	50

ジムニー／ジムニーシエラの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	51
• 取付概要.....	52
• ドライブレコーダーの取付方法.....	53
• 配線のしかた.....	54

ラパンの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	55
• 取付概要.....	56
• ドライブレコーダーの取付方法.....	57
• 配線のしかた.....	60

スペーシア／スペーシアベースの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	61
• 取付概要.....	62
• ドライブレコーダーの取付方法.....	63
• 配線のしかた.....	64

ワゴンRの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	65
• 取付概要.....	66
• ドライブレコーダーの取付方法.....	67
• 配線のしかた.....	69

ワゴンRスマイルの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	70
• 取付概要.....	71
• ドライブレコーダーの取付方法.....	72
• 配線のしかた.....	73

エスクードの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	74
• 取付概要.....	75
• ドライブレコーダーの取付方法.....	76
• 配線のしかた.....	77

イグニスの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	78
• 取付概要.....	79
• ドライブレコーダーの取付方法.....	80
• 配線のしかた.....	82

ソリオの場合

- 車両部品の取り外し方法..... 83
- 取付概要..... 84
- ドライブレコーダーの取付方法..... 85
- 配線のしかた..... 86

スイフトの場合

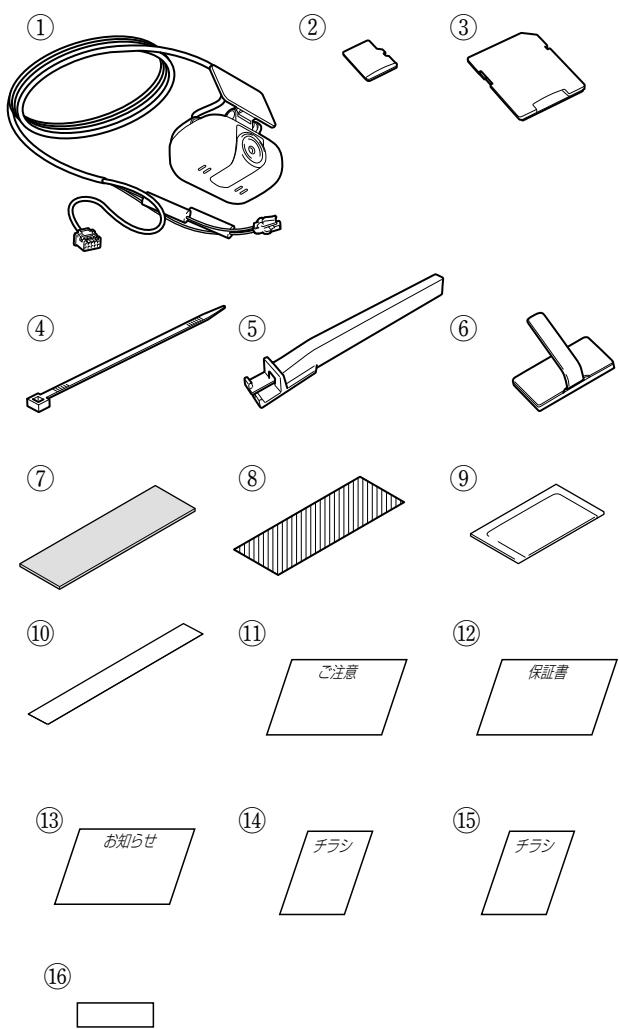
- 車両部品の取り外し方法..... 87
- 取付概要..... 88
- ドライブレコーダーの取付方法..... 89
- 配線のしかた..... 90

クロスビーの場合

- 車両部品の取り外し方法..... 91
- 取付概要..... 92
- ドライブレコーダーの取付方法..... 92
- 配線のしかた..... 94

改訂内容 95

構成部品



No.	部品名称	数量
①	ドライブレコーダー (コード3.5m)	1
②	microSDHCメモリーカード (16GB)	1
③	SDカードアダプター	1
④	バンドクランプ (200mm)	10
⑤	コードホルダー (150mm)	1
⑥	クランパー	2
⑦	ハーネス固定テープ (200mm×100mm)	2
⑧	保護シート (200mm×100mm)	1
⑨	クリーナー	1
⑩	テープ (150mm×25mm)	1
⑪	ご注意 (本製品に取扱説明書は同梱…)	1
⑫	保証書	1
⑬	お知らせ (この商品の取付説明書はWEB…)	1
⑭	チラシ (ドライブレコーダーステッカーについて)	1
⑮	チラシ (事故が起こった時は)	1
⑯	ステッカー	1

■②microSDHCメモリーカードは、①ドライブレコーダーに挿入済みです。

■①ドライブレコーダーに付属の③SDカードアダプターは、必ずお客様にお渡しください。

■⑭チラシ～⑯ステッカーは、生産時期によっては同梱されていません。

取り付けに必要な工具類

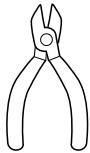
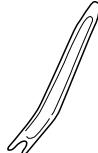
⊕ドライバー



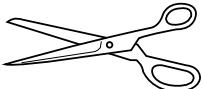
⊖ドライバー



ニッパー

ラジオ
ペンチハンディ
リムーバー

はさみ



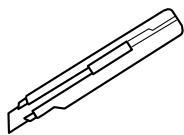
マスキングテープ



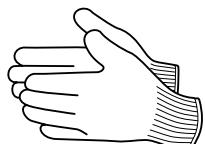
定規



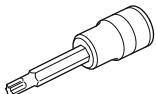
カッターナイフなど



耐切創手袋



ラチェットレンチ

T型ヘックスローブ
ビットソケット

取付上の留意点



本機はDC12Vのアース車で使用する

DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおり正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの端子を外す

外さずに作業すると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品^{*}の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

ドライブレコーダーは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける

視界不良による事故の原因となります。

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店にご依頼ください。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。



視界や運転を妨げる場所^{*}、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両に付属のオーナーズマニュアルやサービスマニュアルに記載された注意事項を確認してから作業を行ってください。

『黄色のハーネス』はSRS（エアバッグ）用のハーネスであるため、絶対に他のコード類などを固定しない

万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。（※取付位置の安全性を考慮し、販売店にご相談のうえ、取付位置を決めてください。）

取り付けやアース配線に、車の保安部品^{*}を使わない

制動不能や発火、交通事故の原因となります。

※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

警告**ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**分解や改造をしない****分解禁止**

- 交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

注意**必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

板金エッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する**取付場所の汚れ（ごみ・ほこり・油）などを取り除き、しっかり取り付ける**

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

ときどき取付状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

**コードを破損しない**

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

注記**コネクターは、カチッと音がするまで確実にはめ込む**

コネクター外れの原因となります。

コネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクターを持って外す

リード線の損傷の原因となります。

**車両側のワイヤリングハーネスを、強く引っ張らない**

コネクター外れやワイヤリングハーネスの損傷の原因となります。

注記

- 取り付けの際は車両を傷つけないように十分注意してください。
- 本文中の取付上の**注記**は、必ず取付に反映させて作業を行ってください。
もし、**注記**を無視して取り付けると、ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両故障につながるおそれがあります。
- 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
- 誤って取り付けた場合、ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両機能を損ない、ひいては車両故障につながるおそれがあります。しかも、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
- 本品は4輪車専用です。2輪車へは取り付けないでください。
- 各作業の際、カメラレンズ部に工具等を当てたり、保護マットがない場所にドライブレコーダーを置いたりしないでください。カメラレンズ部等に傷がつくことがあります。
- 取付作業は、ルーフライニングに無理な力を加えないで行ってください。
- ルーフライニングが折り曲がらないように注意してください。

👉 アドバイス

- 道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第195条第5項第二号による、道路および交通状況に係る情報の入手のためのカメラに指定されている要件を満足しております。
- 取付説明書に記載されているドライブレコーダーの取付位置は、「性能面（ワイパー払拭範囲）」「法規制（フロントガラスの実直寸法20%以内へのカメラ取付）」等を考慮しています。必ず、取付説明書通りの取付を行ってください。

- 本製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車し、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。
2. 取付作業中は、必ず、エンジンを停止して、バッテリーの \ominus 端子を外しておいてください。この際、 \ominus 端子が \oplus 端子と接触しないようにご注意ください。

👉 アドバイス

バッテリーの \ominus 端子を外すと、ラジオやテレビ等のメモリーが全て消えてしまうことがあります。
このような場合は、取り外し前にメモリーを控え、終了後にメモリーを再設定してください。

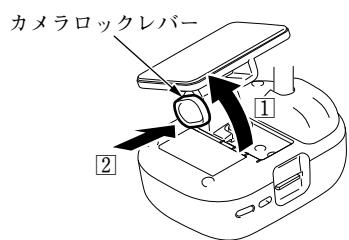
3. 構成部品が取付説明書通りになっているか、また不良部品の混在等がないかを確認してください。

取付要領

取付作業

全車共通

● ご注意（取付作業前に必ずお読みください。）

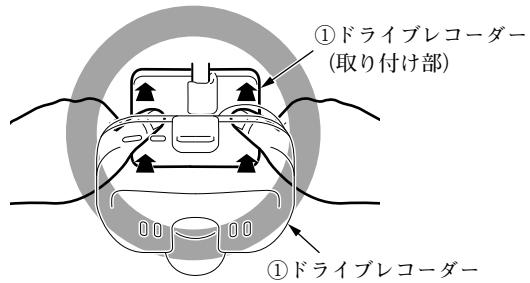


1. 角度調整

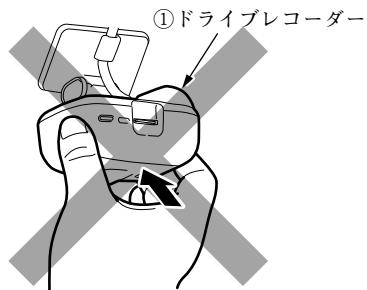
上下角度調整を行う際は、必ずカメラロックレバーを上げ（①）、押し込んだ状態で（②）調整してください。

カメラロックレバーを押し込まずに調整すると、破損の原因となります。

取り付け部の四隅をフロントガラスに押しつける



本体を持って押しつけない



2. フロントガラスへの貼り付け

①ドライブレコーダーを貼り付ける際は、必ず取り付け部の四隅をフロントガラスに押しつけてください。本体を持ってフロントガラスに押しつけると、破損の原因となります。

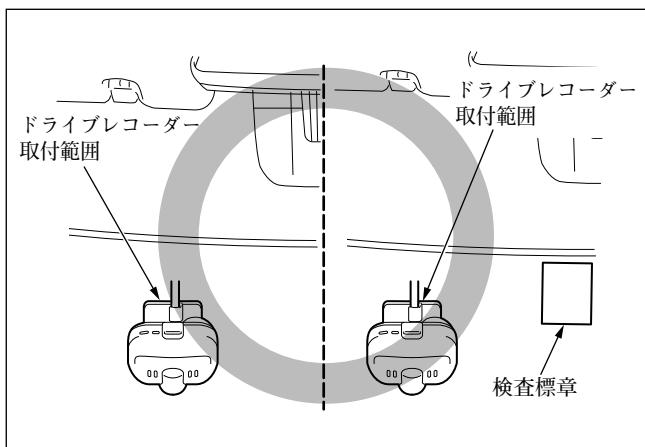
● 車両部品の取り外し方法

本書では取り外し部品の概略のみを記載しています。取り外し方法の詳細については各車種の「サービスマニュアル」を参照してください。

注記

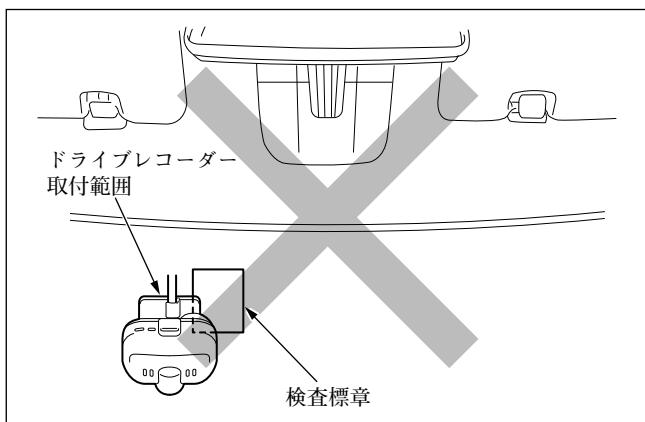
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は特に指示がある場合を除き再使用します。紛失しないでください。

● ドライブレコーダーの取付条件について



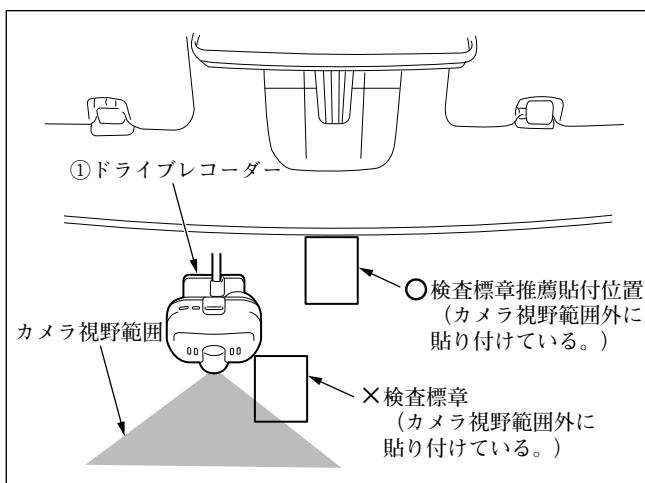
注記

- ① ドライブレコーダーは、検査標章（車検証シール）を貼り付けていない場合、または検査標章がドライブレコーダー取付範囲外に貼り付けてある場合に取り付けることができます。
- 新車時などに① ドライブレコーダーを取り付ける場合、検査標章（車検証シール）をドライブレコーダー取付範囲外へ貼り付けてください。



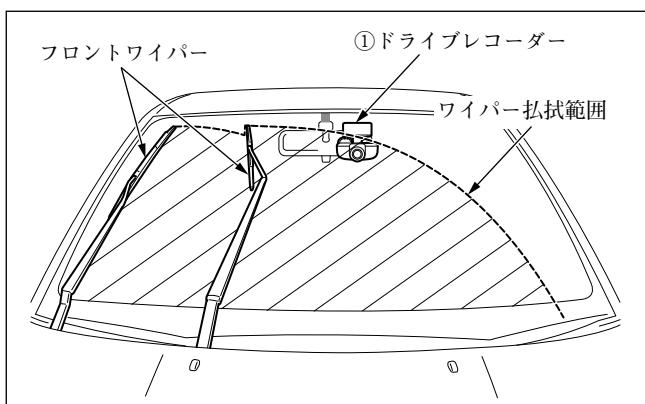
注記

検査標章（車検証シール）がドライブレコーダー取付範囲に貼り付けてある場合、① ドライブレコーダーを取り付けることができません。



注記

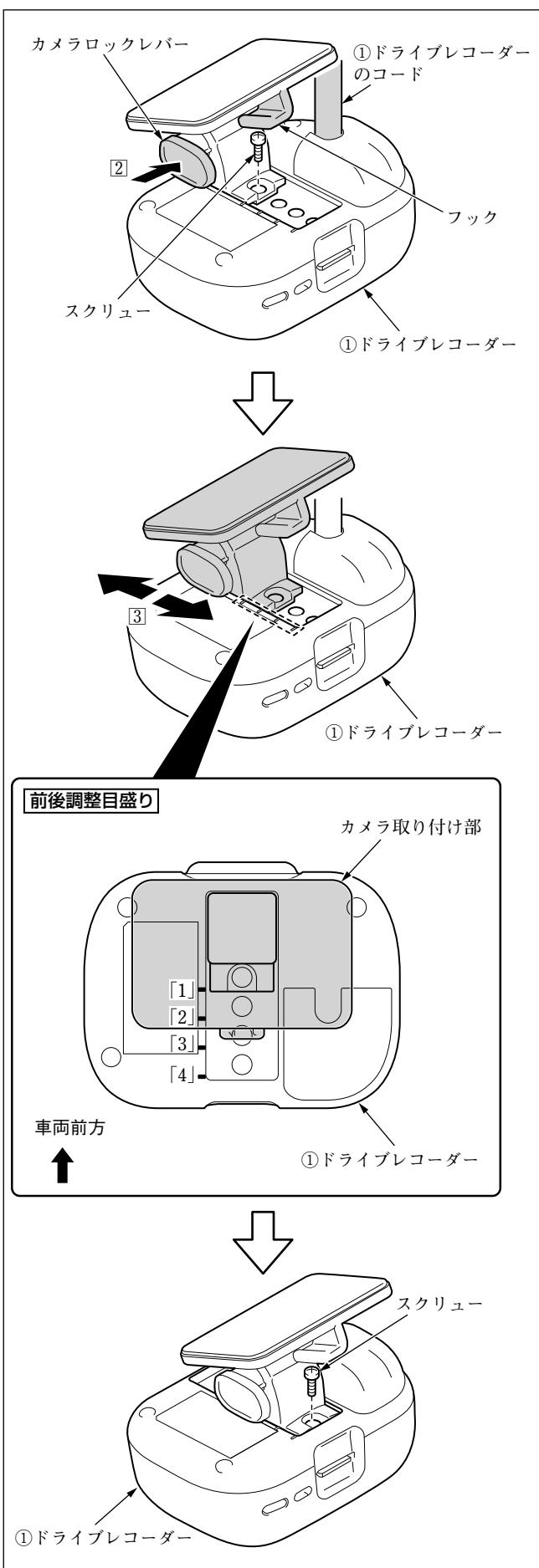
検査標章を貼り付ける際は、カメラ視野範囲外に貼り付けてください。カメラ視野範囲内に貼り付けると② microSDHCメモリーカードに記録される映像に検査標章が映り込みます。



注記

ドライブレコーダーの撮影範囲がワイパー払拭範囲内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範囲から外れた位置にあると、雨天時など鮮明な映像が記録されないおそれがあります。

● ドライブレコーダー取付前の準備



■前後調整（車種によって異なります）

(1) 以下の手順でカメラの前後位置を調整してください。

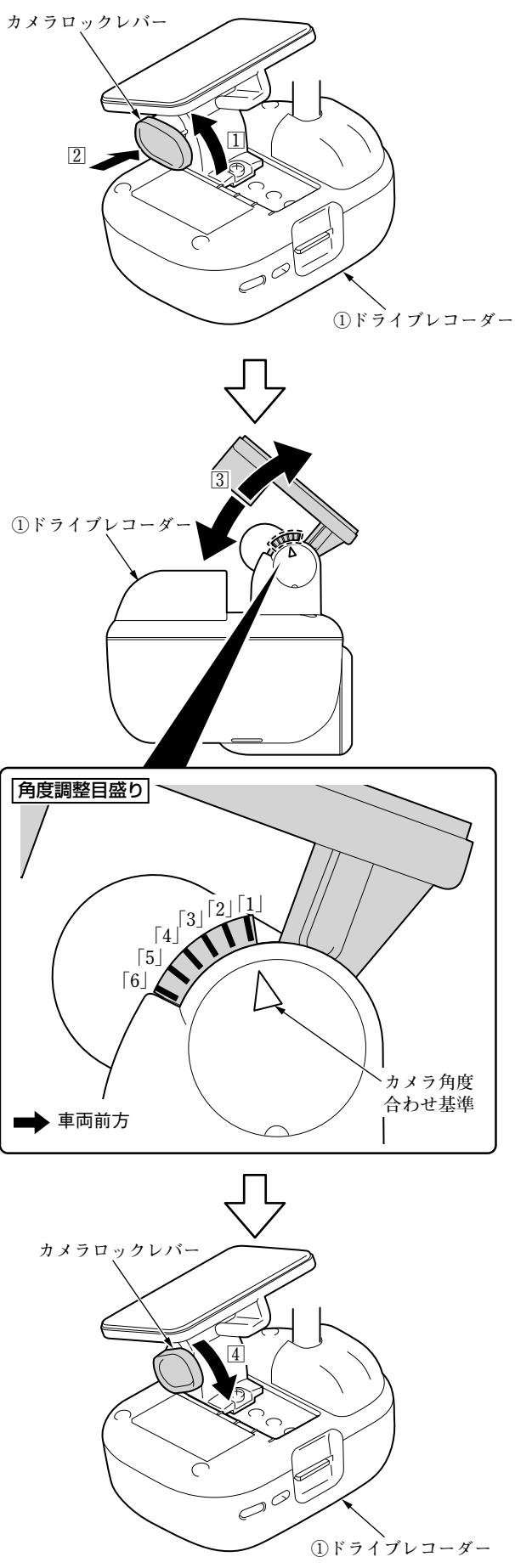
- スクリューを外す。
- カメラロックレバーを図の矢印の方向に押し込む。
- カメラ取り付け部を前後にスライドさせる。
- カメラ取り付け部の後端と前後調整目盛りを合わせる。
- スクリューで固定する。

注記

- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。
- カメラ画像に必要な情報が記録されないおそれがあるため、カメラ前後位置は「車種別取付要領」で指定されている位置に確実に調整してください。

アドバイス

調整位置は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



■上下角度調整（車種によって異なります）

(1) 以下の手順でカメラの上下角度を調整してください。

- ① カメラロックレバーを図の矢印の方向に倒す。
- ② カメラロックレバーを図の矢印の方向に押し込む（ロックを解除する）。
- ③ 角度調整目盛りとカメラ角度合わせ基準を合わせる。
- ④ カメラロックレバーを戻す。

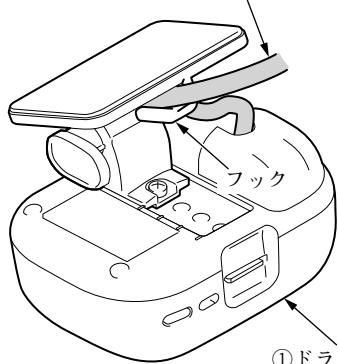
注記

- ・しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。
- ・カメラ画像に必要な情報が記録されないおそれがあるため、カメラ角度合わせ基準は「車種別取付要領」で指定されている位置に確実に調整してください。

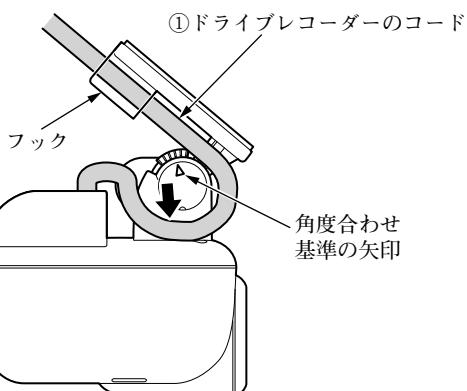
👉 アドバイス

カメラ角度合わせ基準の位置は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。

①ドライブレコーダーのコード



① ドライブレコーダー

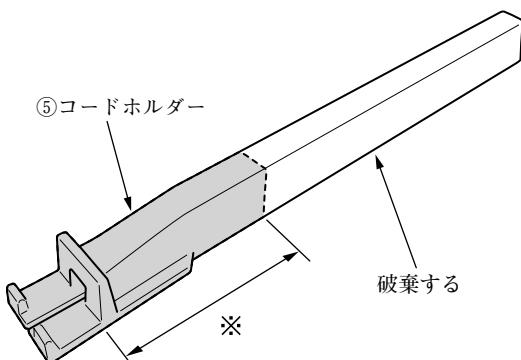


← : 押す

⑤コードホルダー

破棄する

※



※切取寸法は「車種別取付要領」を参照

■コードの引き回し

- (1) ①ドライブレコーダーのコードをフックに掛けてください。

👉 アドバイス

①ドライブレコーダーを取り付けた際、運転席側から①ドライブレコーダーの角度合わせ基準の矢印が見えるように、左図の矢印の方向にコードを押してフックに固定してください。

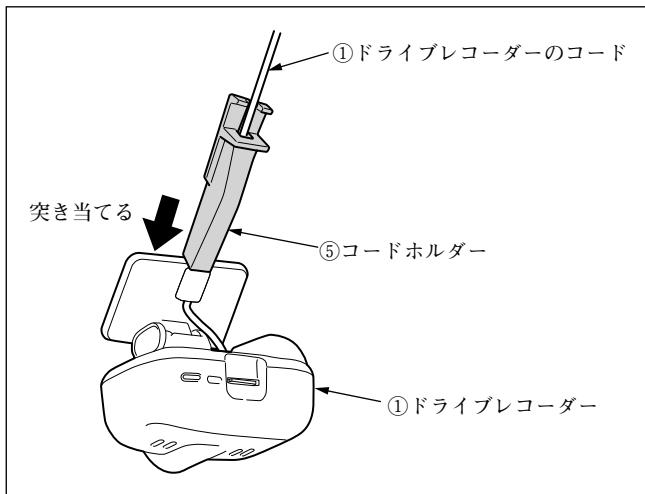
- (2) ⑤コードホルダーを寸法通り切り取ってください。

⚠ 注意

- ⑤コードホルダーは、カッター等で寸法通りに切ってください。
- カッターを使用する際は、耐切創手袋を着用して作業してください。着用しないで作業を行うと、ケガをするおそれがあります。

👉 アドバイス

⑤コードホルダーの切取寸法は、車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。

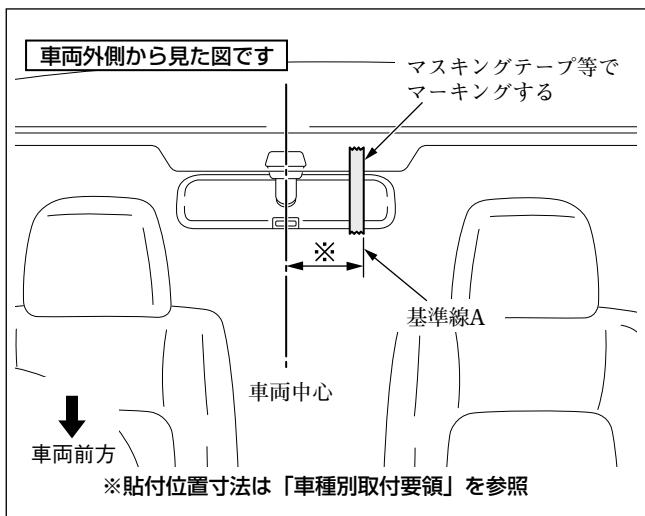


- (3) ⑤コードホルダーに①ドライブレコーダーのコードを通してください。
- (4) ⑤コードホルダーを①ドライブレコーダーのコード根元に突き当ててください。

注記

⑤コードホルダーは、①ドライブレコーダーに突き当てた位置にセットしてください。

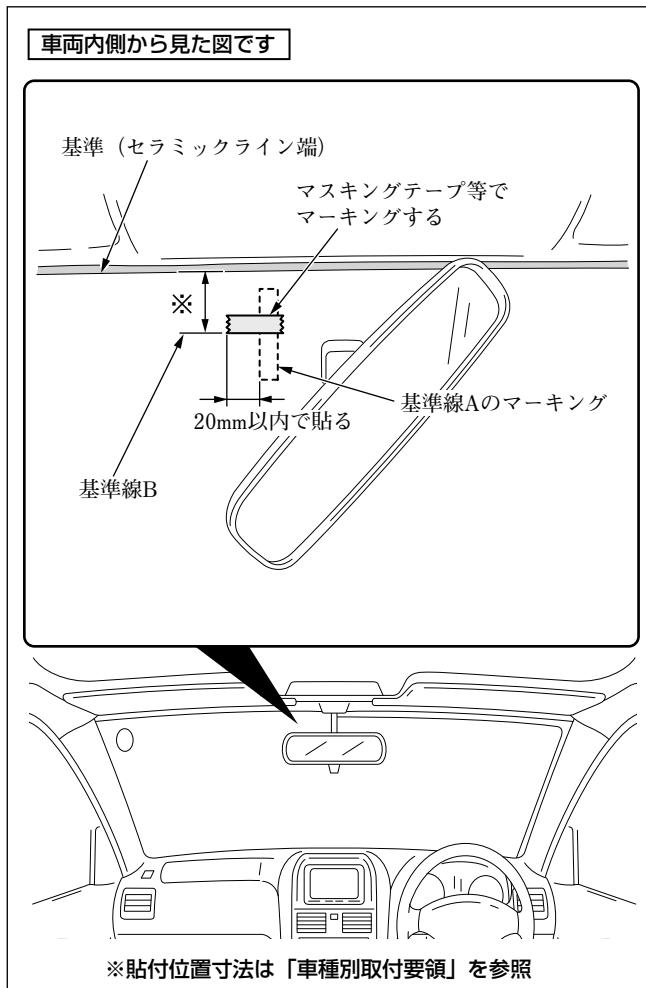
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) 車両外側からマスキングテープ等で①ドライブレコーダーの貼付用基準線Aをマーキングしてください。

👉 アドバイス

- 図は、車両外側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の外側が基準線Aになるようにしてください。
- 貼付用基準線Aのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して垂直に貼られていることを車両外側から確認してください。



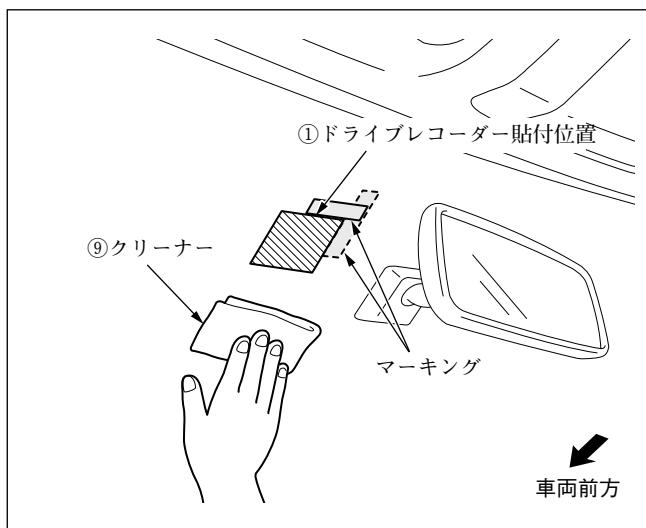
- (2) 車両内側からマスキングテープ等で①ドライブレコーダーの貼付用基準線Bをマーキングしてください。

注記

基準線Aのマーキングより20mm以内に基準線Bのマーキングをしてください。20mm以上マーキングを行うと①ドライブレコーダー貼付後、基準線Bのマーキングが外せなくなるおそれがあります。

アドバイス

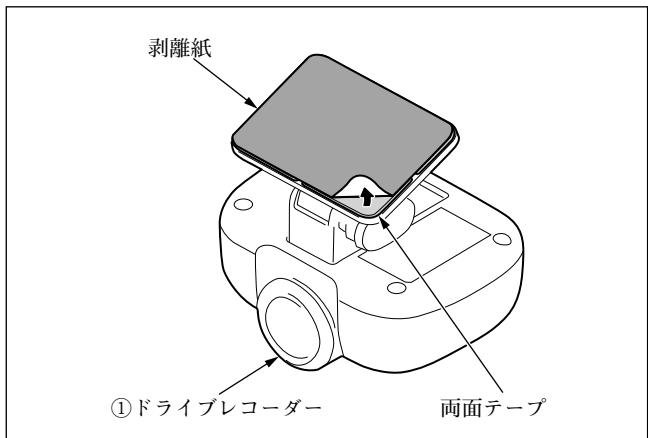
- 図は、車両内側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の下側が基準線Bになるようにしてください。
- 貼付用基準線Bのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して水平に貼られていることを車両外側から確認してください。



- (3) ①ドライブレコーダー貼付位置のよごれ、油分を同梱の⑨クリーナーで拭き取ってください。

注記

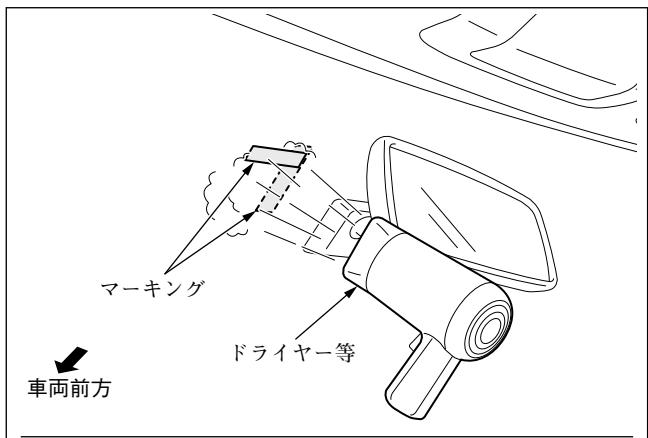
- 必ず同梱の⑨クリーナーを使用してください。同梱の⑨クリーナー以外を使用した場合、含まれる成分によっては①ドライブレコーダーが貼り付かなくなるおそれがあります。
- 拭取後は、必ずガラス面が完全に乾いていることを確認してから次の作業を行ってください。



- (4) ① ドライブレコーダーの両面テープから剥離紙を剥がしてください。

注記

粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。



注記

- 作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼付作業を行ってください。

・温度について

貼付作業時の環境温度は、15°C以上が推奨です。気温が低い時期（気温15°C未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。

・湿気について

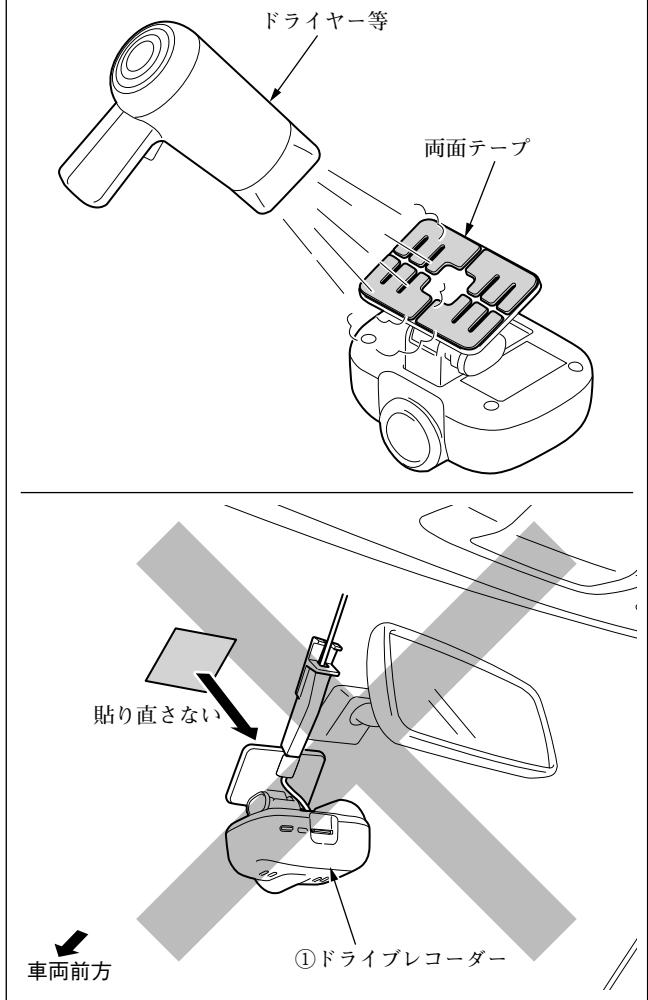
貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。

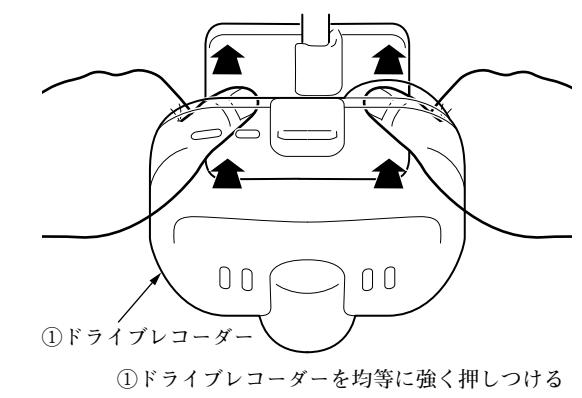
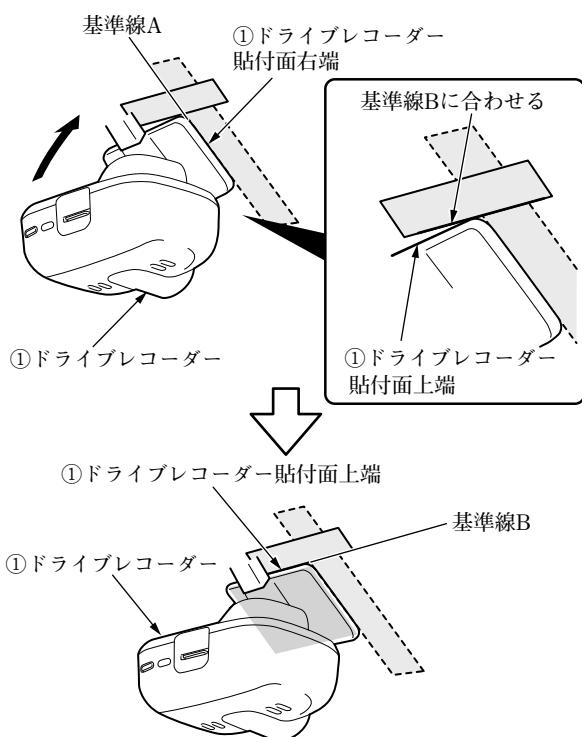
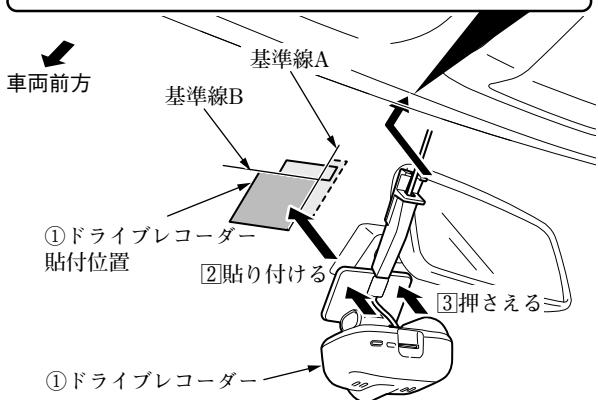
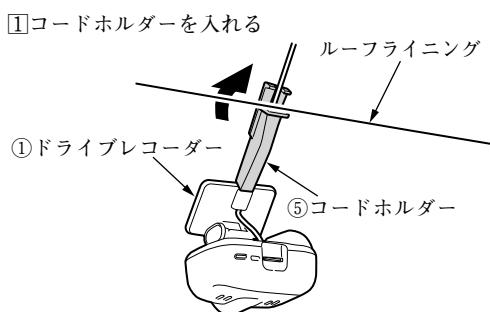
- ①ドライブレコーダーを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤー等で温めてください。

- 粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、①ドライブレコーダーを貼り直したりしないでください。

- 貼付後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず20分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレー や水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。

- 本機を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持ってください。本体部や可動部を持って剥がそうとすると、本機が破損するおそれがあります。





(5) ⑤コードホルダーをルーフライニングに収めてください。

(6) 基準線Aに①ドライブレコーダー貼付面の右端を合わせ、同時に基準線Bに①ドライブレコーダー貼付面の上端を合わせてフロントガラスに貼り付けてください。

注記

- ①ドライブレコーダー貼付用両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤー等で乾燥させてください。
- 貼り付ける際、貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 貼付時、フロントガラスと両面テープの間の空気（気泡）を抜くように、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- 両面テープをしっかりと定着させるため、十分に①ドライブレコーダーをフロントガラスに押しつけてください。
- 押しつける際、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- ①ドライブレコーダー貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。

アドバイス

- ①ドライブレコーダー貼付後、貼付基準用のマーキングを剥がしてください。
- 運転席側に貼り付ける際は、基準線Aに①ドライブレコーダー貼付面の左端を合わせて貼り付けてください。

●配線のしかた

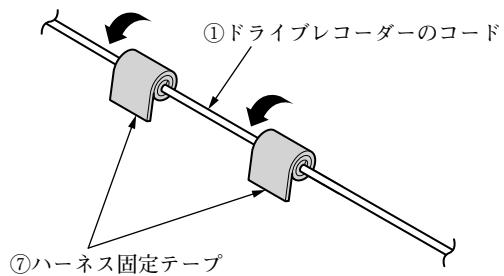
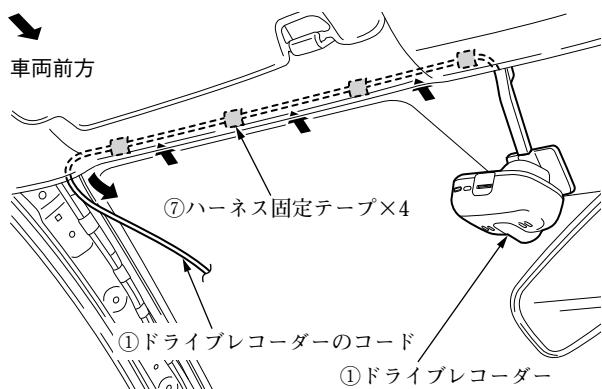
50×20mmにカットした⑦ハーネス固定テープや④バンドクランプを使用して、①ドライブレコーダーのコードを固定しながらナビゲーションユニットまで配線してください。

⚠ 警告

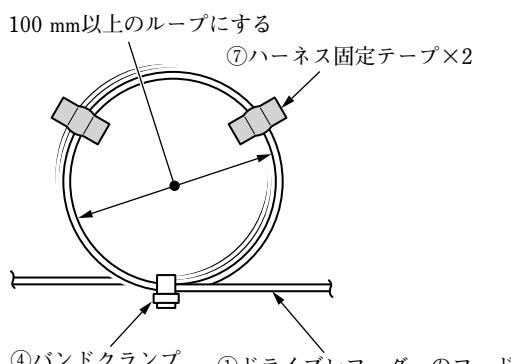
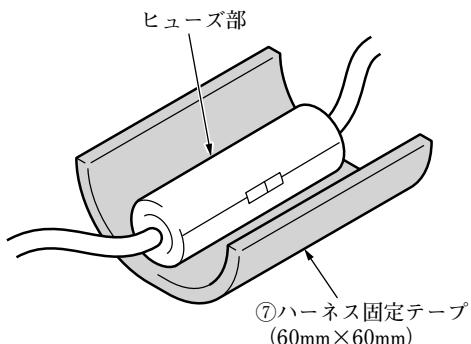
- コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両に付属のオーナーズマニュアルやサービスマニュアルに記載された注意事項を確認してから作業を行ってください。

注記

- ルーフライニングを変形させないように注意しながら、⑦ハーネス固定テープを巻いた①ドライブレコーダーのコードをルーフライニングの隙間に押し込んでください。



- コードをドライバーなどの先のとがったもので押したりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。
- フロントピラーインナートリムを取り付けた際に①ドライブレコーダーのコードをかみ込まない位置に配線してください。
- 余った①ドライブレコーダーのコードは、④バンドクランプを使用して、100mm以上の円を作り、⑦ハーネス固定テープで車両ハーネスなどへ固定してください。
- ①ドライブレコーダーのコードのヒューズ部に⑦ハーネス固定テープ (60mm×60mm) を巻き付けてください。



👉 アドバイス

- ⑦ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。
- ルーフライニングが下げるときに、リムーバー等を使用すると作業が容易に行えます。
- ⑧保護シートは、はさみ等で寸法通り切って使用してください。
- ⑧保護シートの寸法については、「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ④バンドクランプの余長部分は切り取ってください。
以降の作業も同様に行ってください。



- ①ドライブレコーダーの3Pコネクター(オス)は、ナビゲーションの電源ハーネスの3Pコネクター(メス)に接続します。
- ETC2.0車載器と同時に装着する場合は、ETCを接続した後に、ETC2.0車載器の電源コードの3Pコネクター(メス)に①ドライブレコーダーの3Pコネクター(オス)を接続します。
- 3Pコネクター(オス)及び20Pコネクター(メス)の接続方法については、「接続のしかた」を必ず参照してください。

車両部品の復元

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 車両部品は取り外しと逆の手順にて、部品の締め忘れ(緩み)なきよう確実に取り付けてください。
- バッテリーの \ominus 側端子を取り付けてください。
- バッテリーを外すことにより初期設定に戻るもの、また、データの消えるものは再度、設定してください。

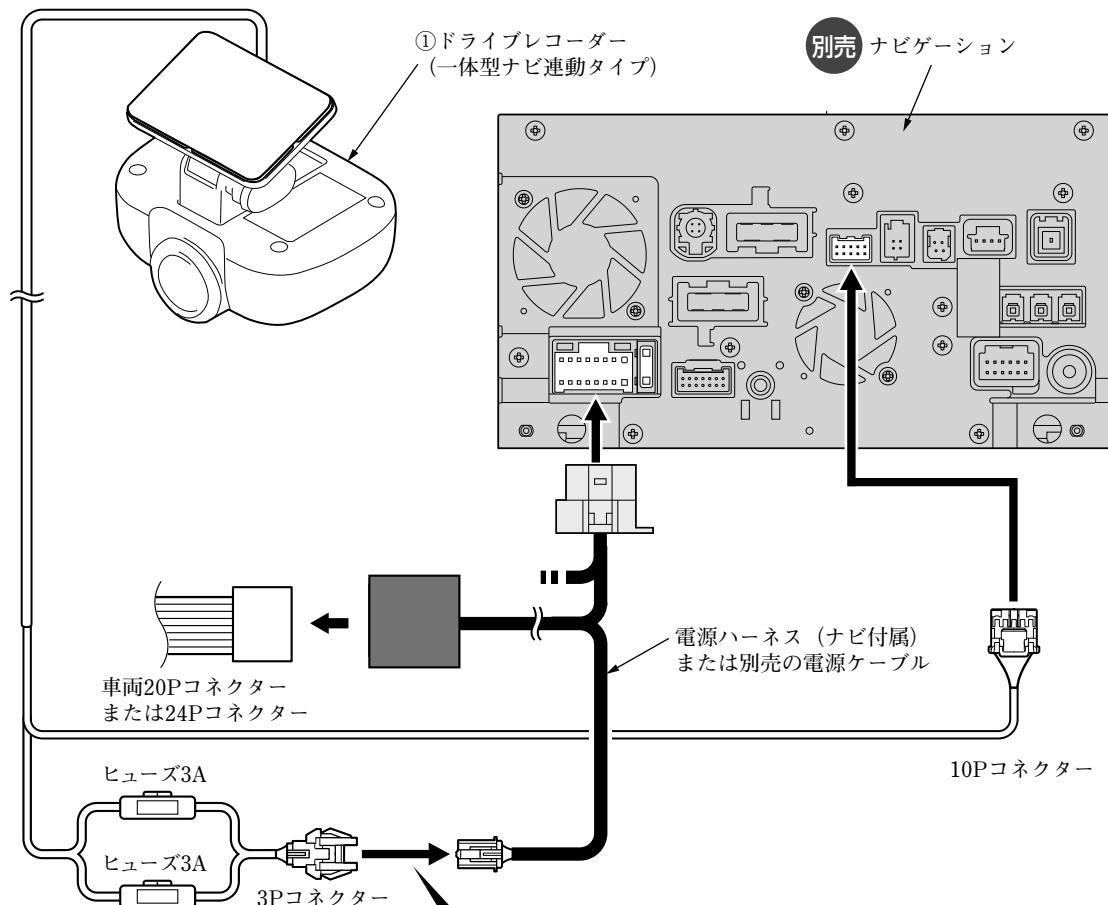
既設部品の点検

注記

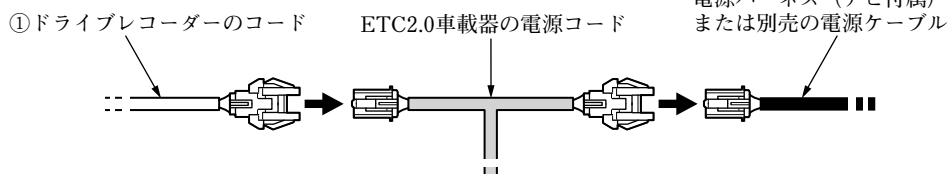
取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

ホーン、ワイパー等の電装品が正しく動作するか確認してください。

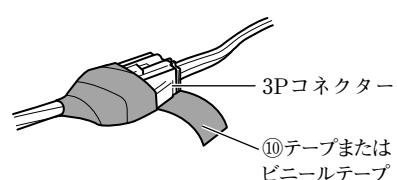
接続のしかた



※ ETC2.0車載器使用時は、①ドライブレコーダーと電源ハーネスの3Pコネクターの間にETC2.0車載器の電源コードの3Pコネクターを接続してください。



コネクターを接続した後に、⑩テープまたはビニールテープをコネクターに巻き付けてください。
コネクターの抜けを防ぐため、ケーブルまで覆うようにして固定してください。



アドバイス

最新の接続対応機種については、下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

取付・配線の確認

注記

- 配線が正しく接続されたか、目で確認してから以降の作業を行ってください。
- 取付後の作動確認時、「初期画面」では、絶対に電源（キースイッチ）を切ったり、その他のボタン操作をしないでください。
- 電源（キースイッチ）を切ったり、ボタン操作をすると正常に作動しない場合があります。

(1) バッテリーの \ominus 端子を接続し、電源（キースイッチ）を入れます。

- ナビゲーションの電源が入ります。
- 安全上のご注意が表示されます。
- 安全上のご注意表示後に現在地画面（自車位置）が表示されます。
- 現在地画面が表示されるまで車を発進させないでください。（システムの起動準備中のため）

(2) ナビゲーションの**MENU**ボタンを押します。

- メニュー画面が表示されます。

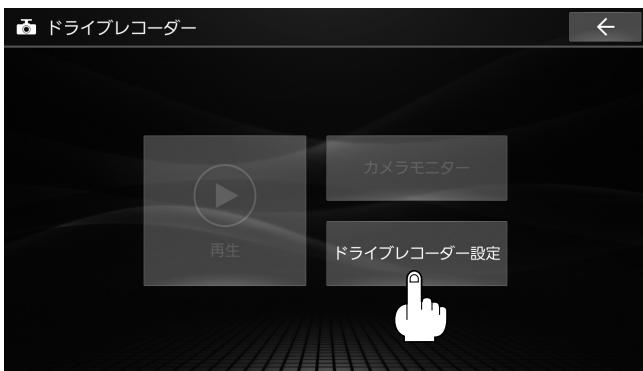
(3) 画面の \triangleright をタッチします。



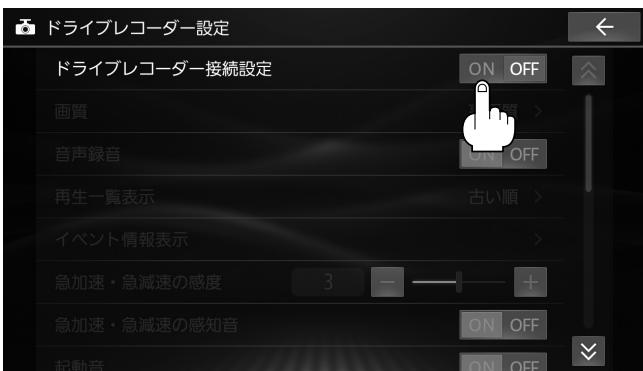
(4) 画面の**ドライブレコーダー**をタッチします。

- ドライブレコーダー画面が表示されます。





(5) 画面の**ドライブレコーダー設定**をタッチします。

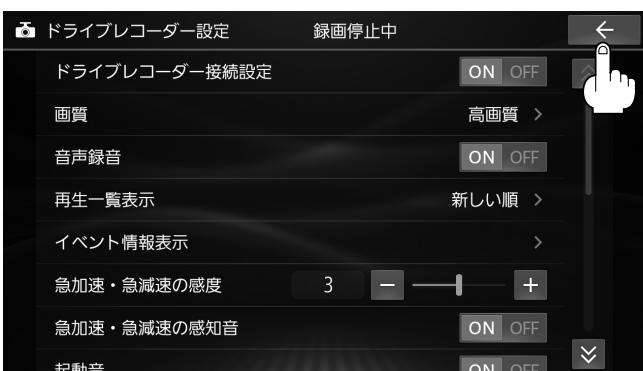
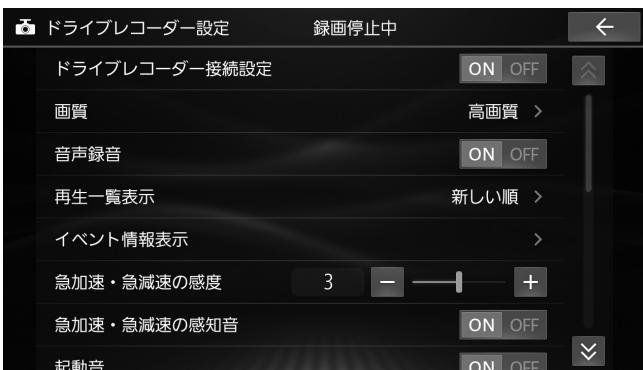


(6) ドライブレコーダー設定画面が表示されます。

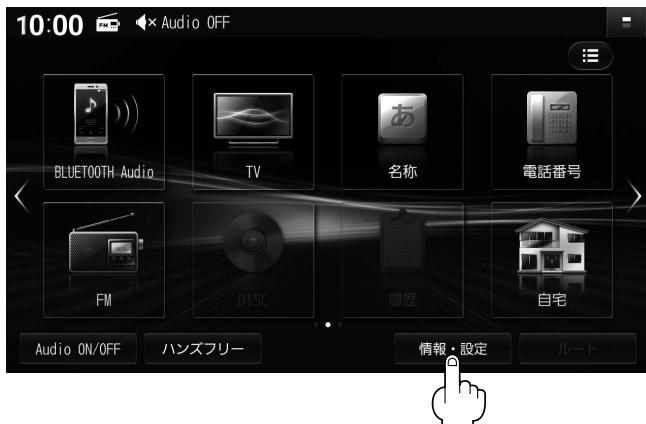
(7) 画面の**ON**をタッチし、ドライブレコーダーと接続させます。

注記

ナビは初期設定では**OFF**に設定されています。



(8) 画面の**←**をタッチします。



(9) ナビゲーションの**MENU**ボタンを押します。

- メニュー画面が表示されます。

(10) 画面の**情報・設定**をタッチします。

- 情報・設定画面が表示されます。

(11) 画面の**システム情報・設定**をタッチします。

- システム情報・設定画面が表示されます。

(12) 画面をスクロールさせて**拡張ユニット情報**を表示させ、画面の**拡張ユニット情報**をタッチします。

- 拡張ユニット情報画面が表示されます。

(13) 拡張ユニット情報を確認します。

ドライブレコーダー	接続済み表示になっていますか？
-----------	-----------------

作動確認・取付調整・カードの初期化



(1) ナビゲーションの **MENU** ボタンを押します。
● メニュー画面が表示されます。

(2) 画面の **>**をタッチします。



(3) 画面の**ドライブレコーダー**をタッチします。

● ドライブレコーダー画面が表示されます。

● ドライブレコーダーの作動確認



(1) 画面の **カメラモニター** をタッチします。

- ドライブレコーダーの画像（前方映像）が表示されます。



(2) ドライブレコーダーの画像を確認します。

(3) 画面の **←** をタッチします。

● 取付調整

注記

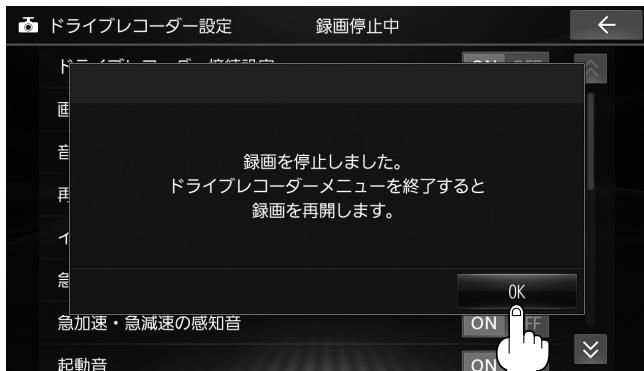
ドライブレコーダーの取り付けを行った後、または再度取り付け角度を変更した場合もこの調整を実施してください。取付調整が正しく行われていない場合は、ブザーが鳴り続ける場合があります。ブザーが鳴り続ける場合には、再度取付調整を実施してください。



注記

取付調整は、平らな場所に停車している状態で実施してください。

(1) 画面の **ドライブレコーダー設定** をタッチします。

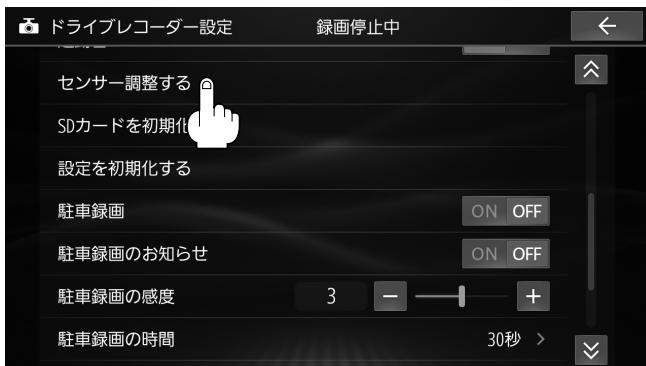


(2) 画面の **OK** をタッチします。



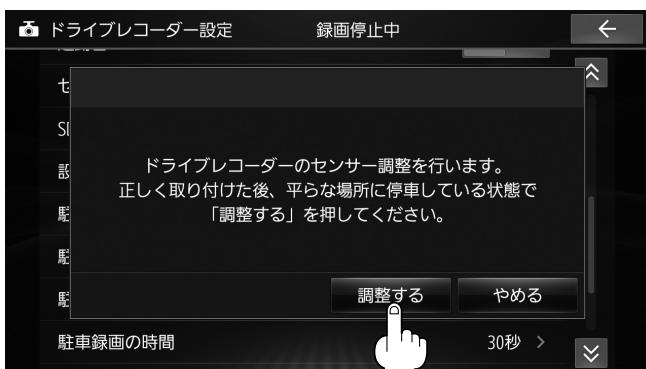
(3) ドライブレコーダー設定画面が表示されます。

(4) 画面の **▽** または **△** をタッチしてスクロールし、**センサー調整する** を表示させます。



(5) **センサー調整する**をタッチします。

- 確認画面が表示されます。

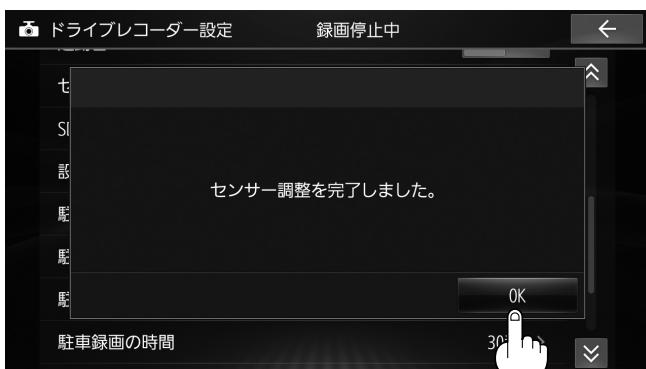


(6) 画面の**調整する**をタッチします。

- 自動的にドライブレコーダーの加速度センサーを最適化します。

注記

調整中はキースイッチをOFFにしないでください。



(7) 画面の**OK**をタッチします。

- ドライブレコーダー設定画面に戻ります。

● 取付調整の確認



注記

①ドライブレコーダー本体に②microSDHCメモリーカードが挿入されていない場合は、挿入してください。

(1) ナビゲーションの **MAP** ボタンを押します。

- 地図画面が表示されます。
- 画面のヘッダーに「常時録画中マーク」が表示されます。
- 取付調整が正しく行われていない場合や、取付調整の後にドライブレコーダーの角度が変更された場合は、ブザー音（ピピピ… [短く8回]）が鳴り続けます。ブザーが鳴り続ける場合には、再度取付調整を実施してください。

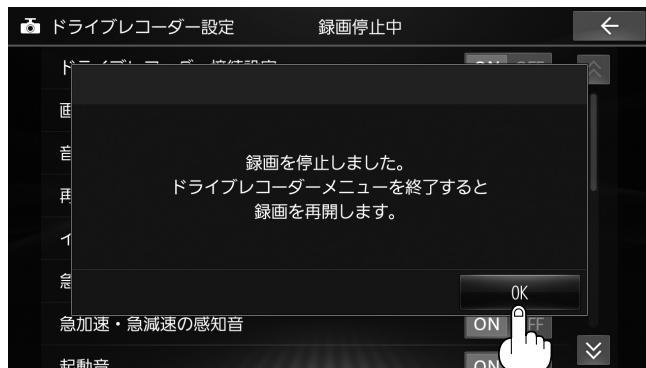
● 感度調整



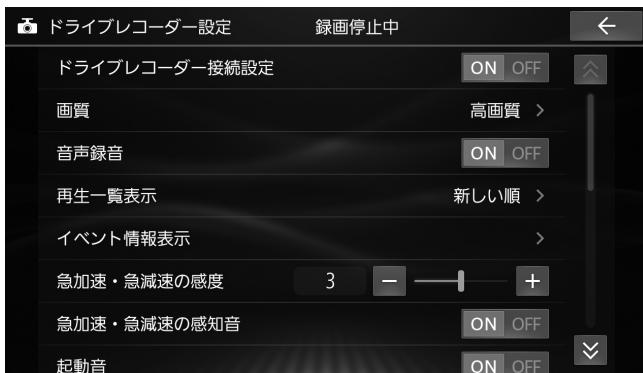
アドバイス

急加速・急減速の感知音がひんぱんに吹鳴する時は、急加速・急減速の感度設定値を下げることにより、頻度を減らすことができます。

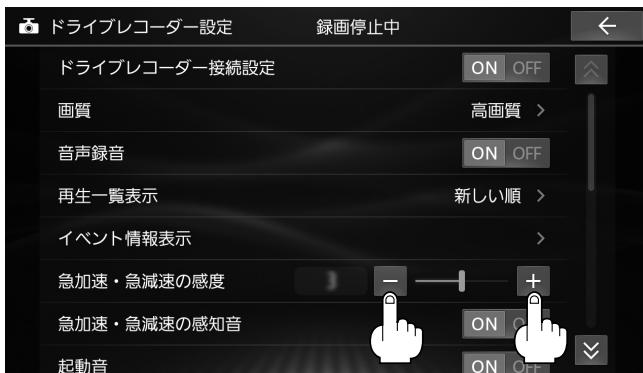
(1) 画面の **ドライブレコーダー設定** をタッチします。



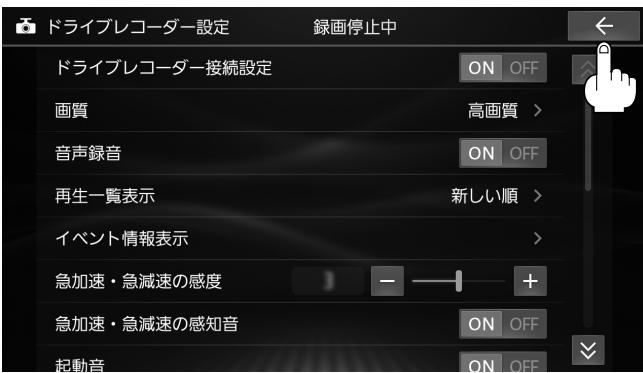
(2) 画面の **OK** をタッチします。



(3) ドライブレコーダー設定画面が表示されます。



(4) 画面の **−**・**+** をタッチし、お好みの感度に調整します。



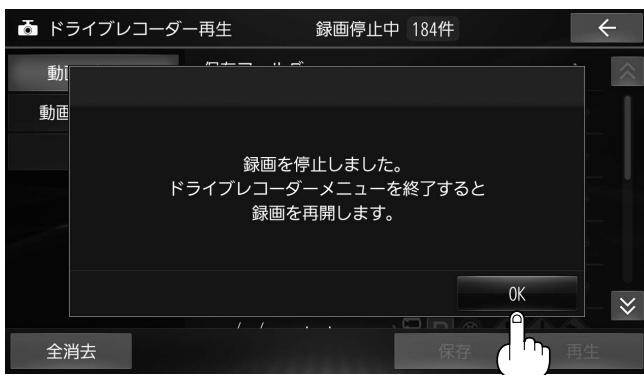
(5) 画面の **←** をタッチします。

● 映像ファイルの削除



(1) 画面の**再生**をタッチします。

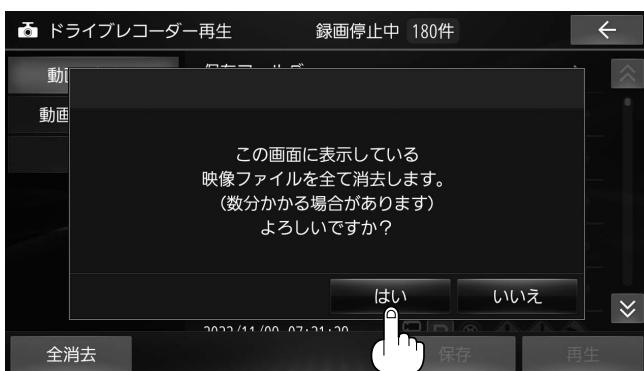
- ②microSDHCメモリーカードに録画されたリストが表示されます。



(2) 画面の**OK**をタッチします。

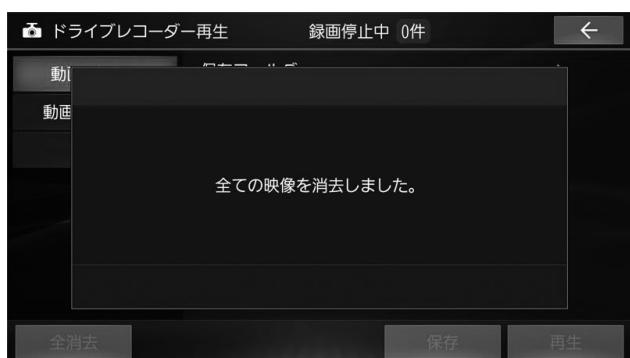


(3) 画面の**全消去**をタッチします。



(4) 画面の**はい**をタッチします。

- ②microSDHCメモリーカードに録画されたデータが削除されます。



- (5) **全ての映像を消去しました。** メッセージが表示されます。

取付要領

取付作業

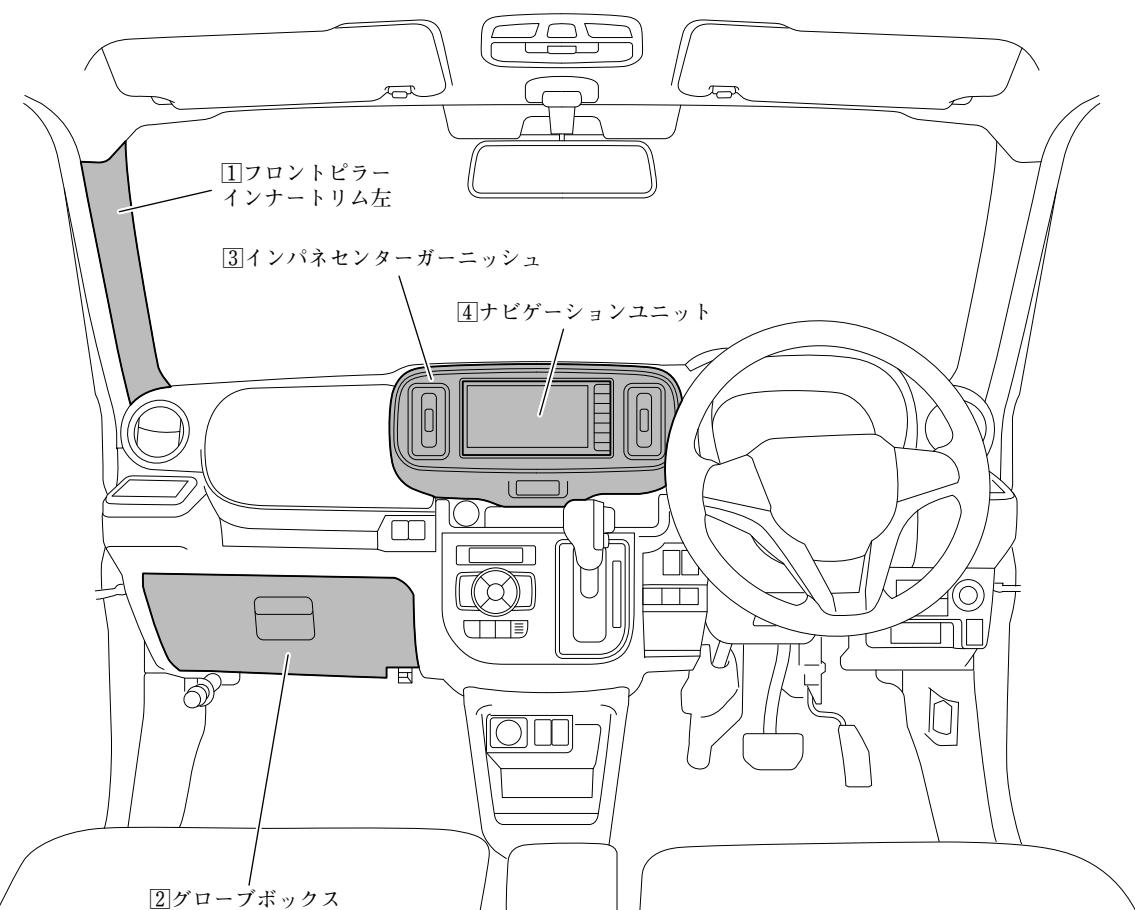
アルトの場合

● 車両部品の取り外し方法

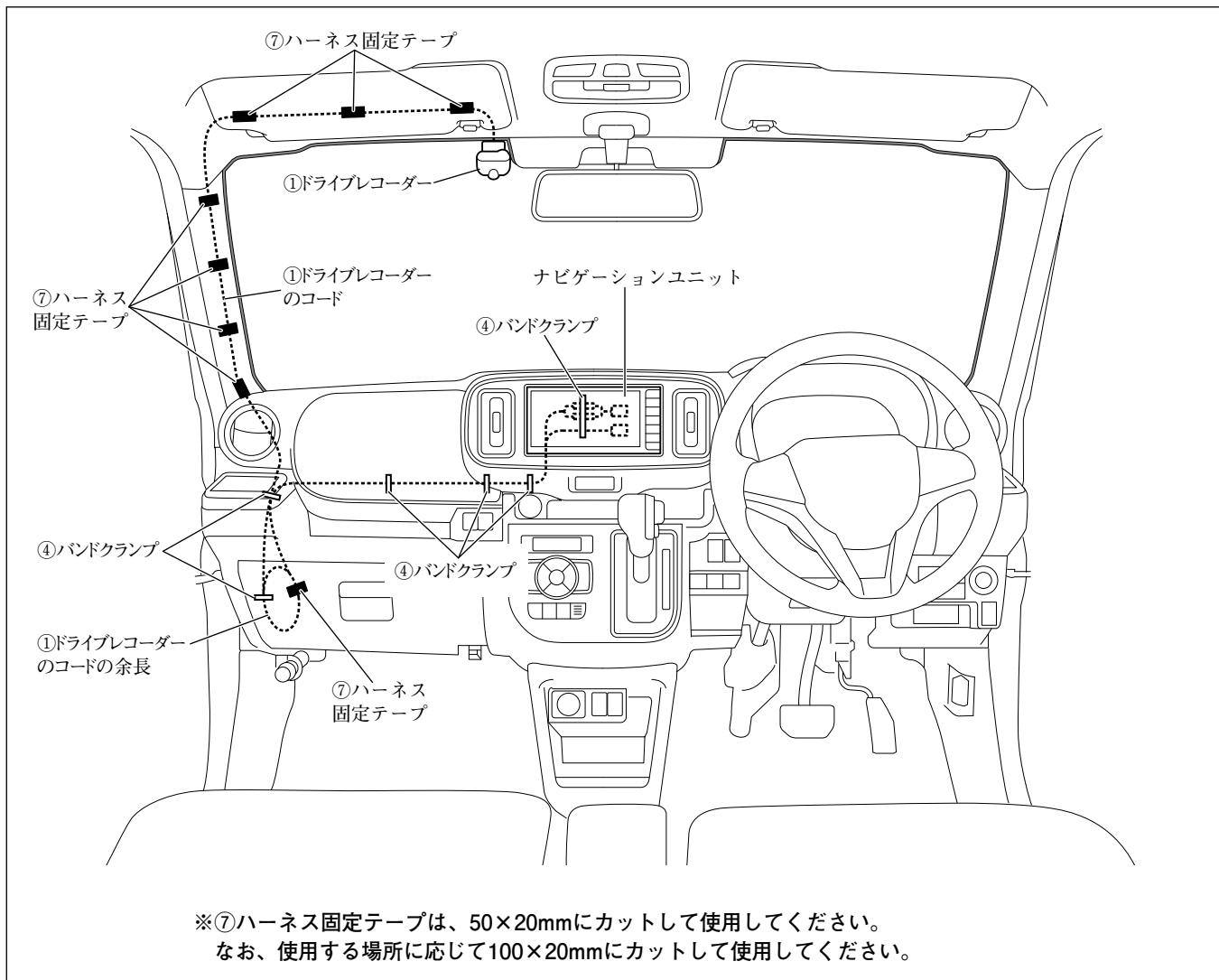
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

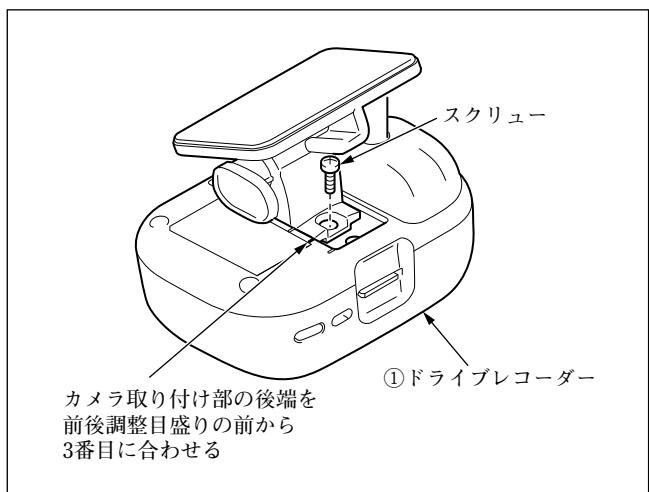
図に示す車両部品を取り外してください。



● 取付概要



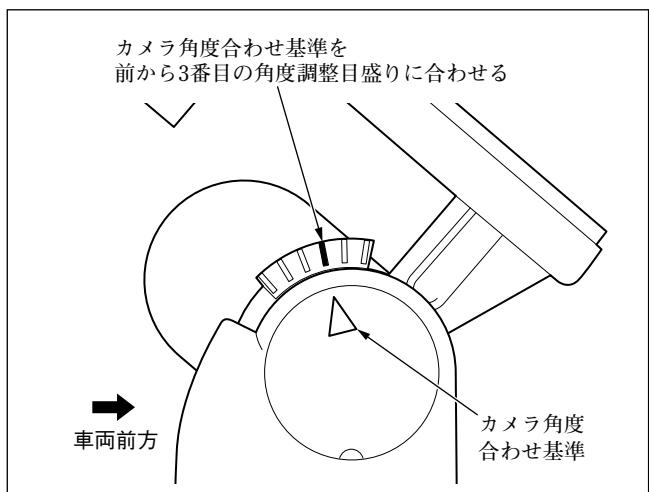
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

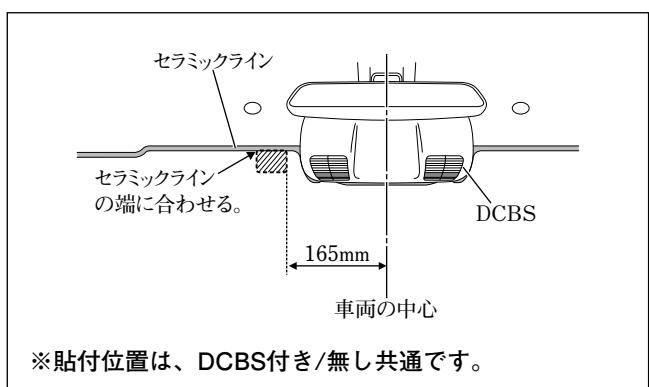
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



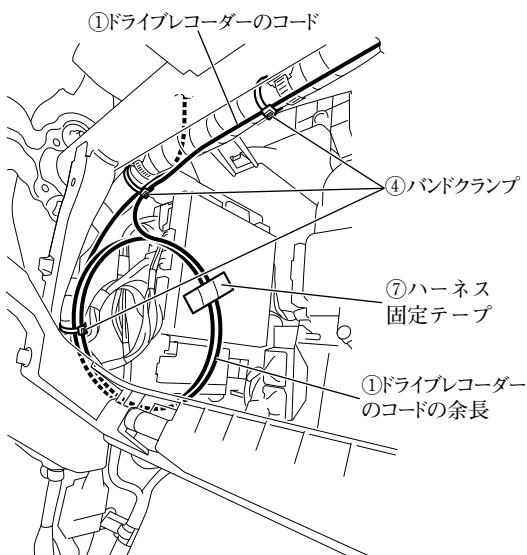
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、①ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



(1) ① ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。

(2) ① ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。

注記

グローブボックスの開閉に影響がないようにしてください。

(3) ① ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

キャリイ／スーパーキャリイの場合

●車両部品の取り外し方法

注記

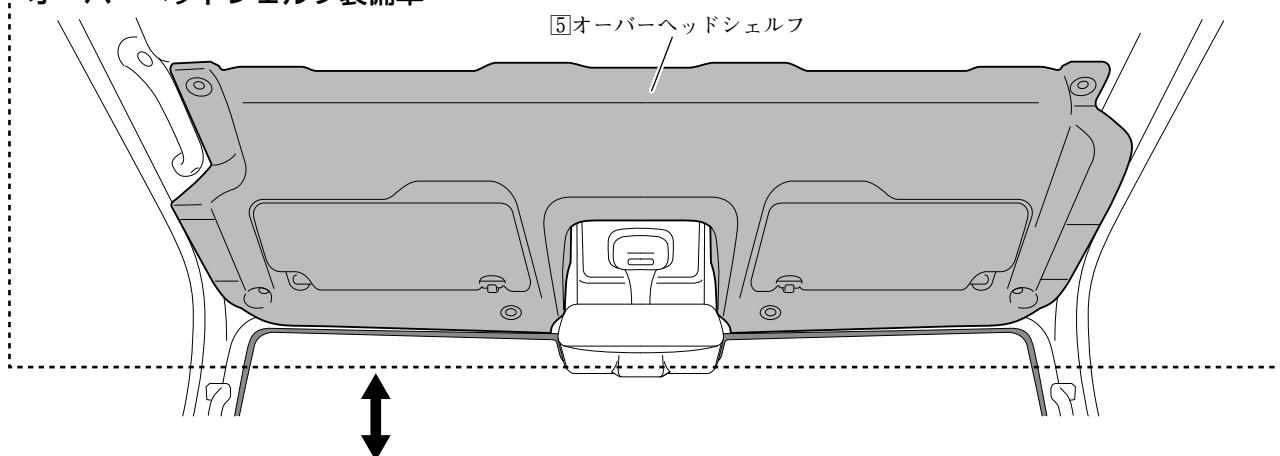
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

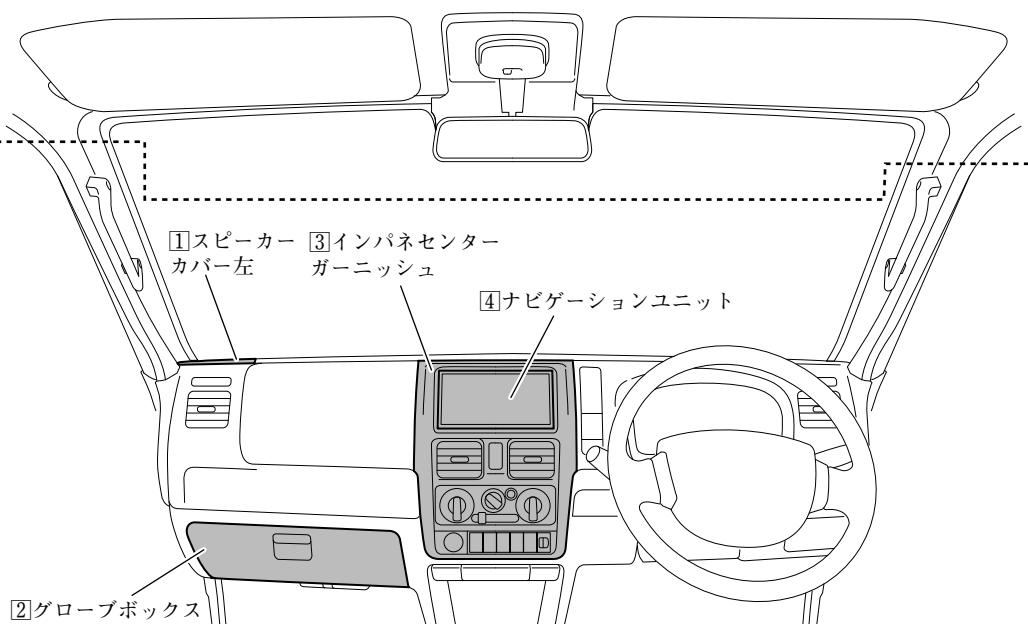
注記

インパネセンターガーニッシュを復元する際は、車両ハーネス側コネクターの色と、スイッチに貼られたシールの色を合わせて接続してください。

オーバーヘッドラック装備車

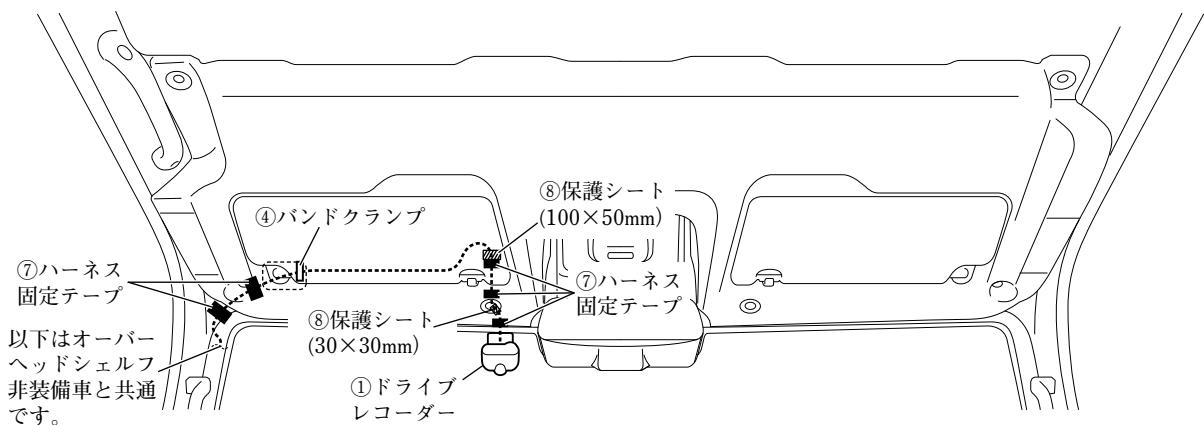


オーバーヘッドラック非装備車

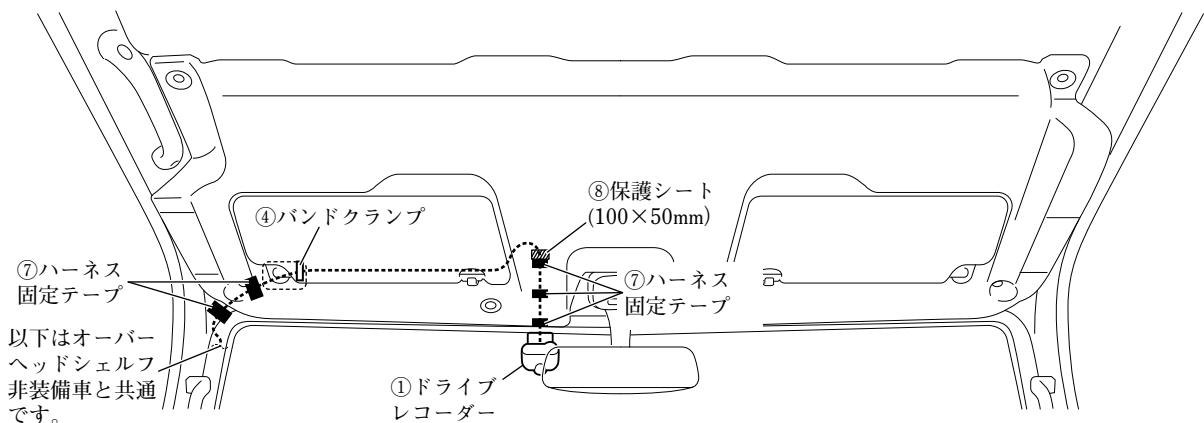


● 取付概要

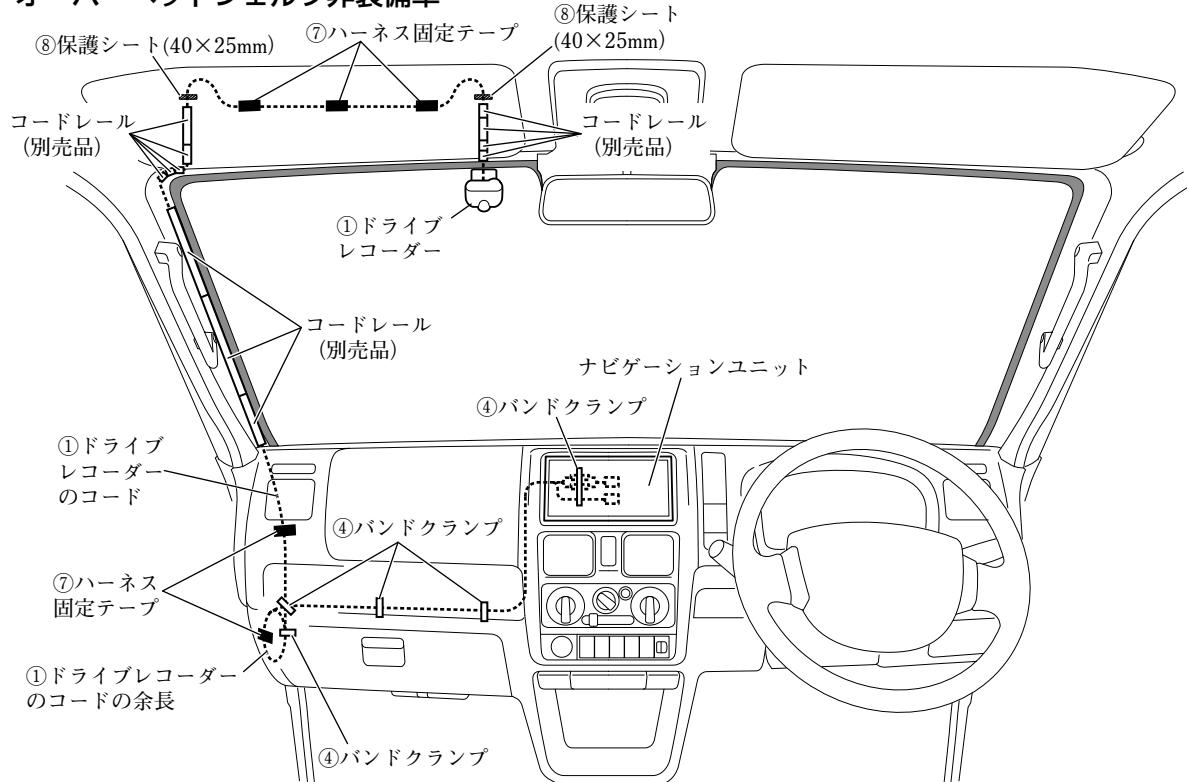
オーバーヘッドシェルフ装備車 (DCBS付き)



オーバーヘッドシェルフ装備車 (DCBS無し)

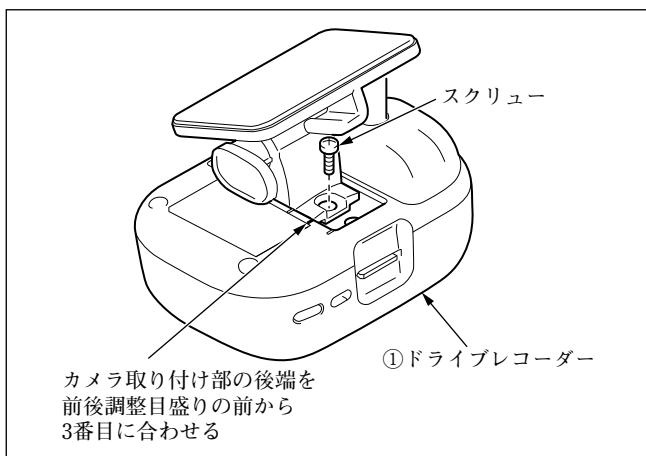


オーバーヘッドシェルフ非装備車



※⑦ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて
100×20mmにカットして使用してください。

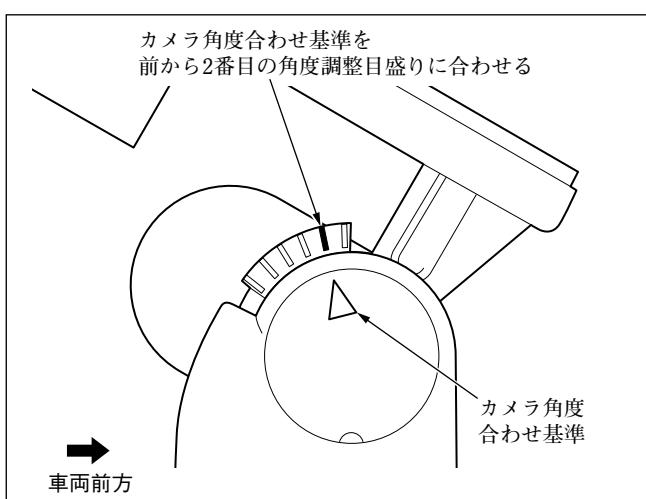
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

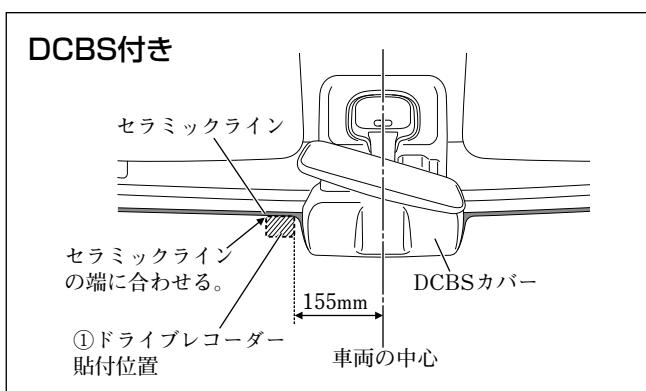
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

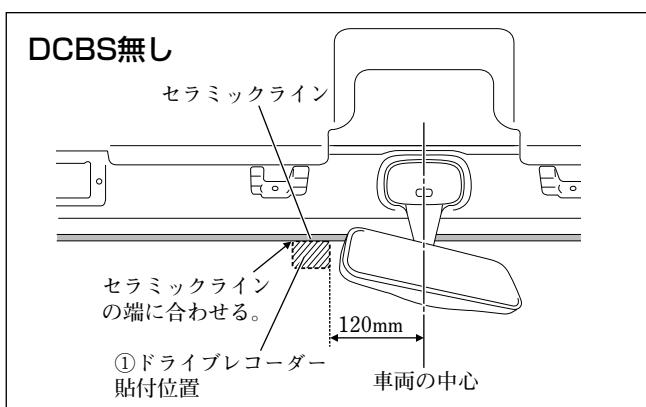
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

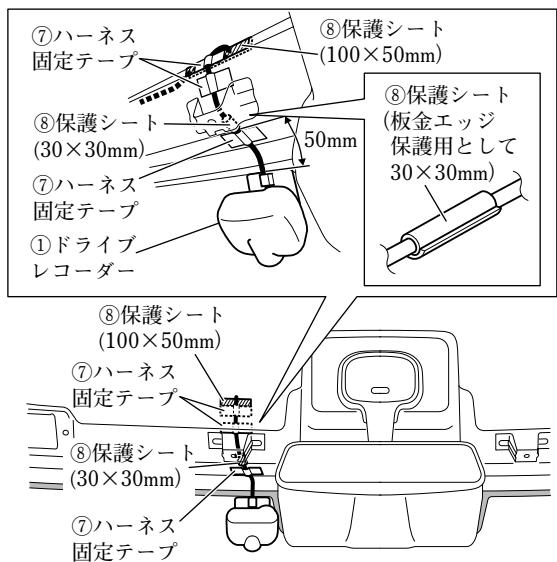
注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち① ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、① ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と① ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

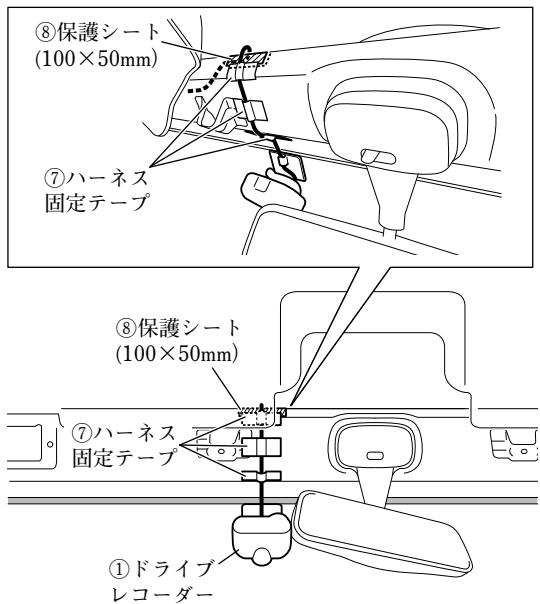


●配線のしかた

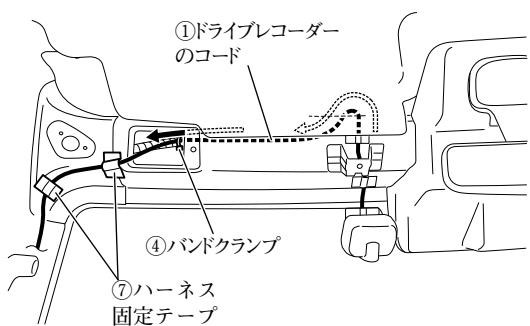
DCBS付き



DCBS無し



DCBS付き



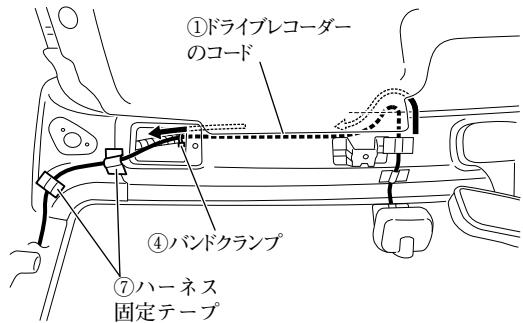
オーバーヘッドシェルフ装備車の場合

- ① ドライブレコーダーのコードを⑧保護シート (100×50mm) で板金エッジから保護し、
⑦ハーネス固定テープ (50×20mm) で固定してください。

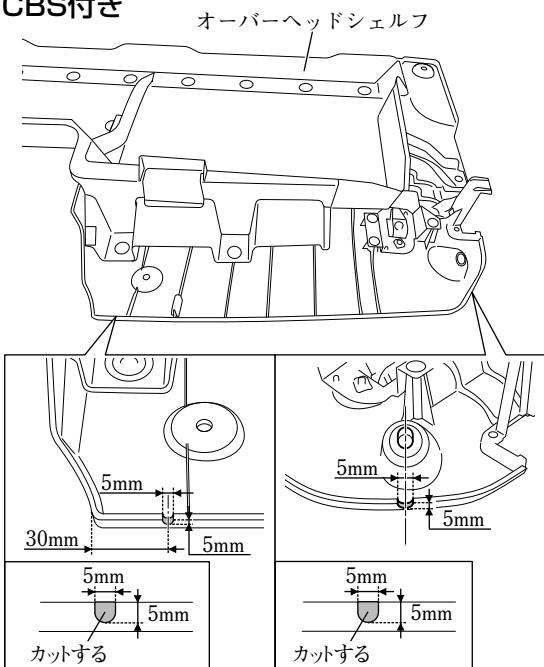
注記

- ⑧保護シートおよび⑦ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつてから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- DCBS装備車は①ドライブレコーダーのコードをブラケットの中へ通し、⑧保護シート (30×30mm) を巻き付けて板金エッジから保護してください。

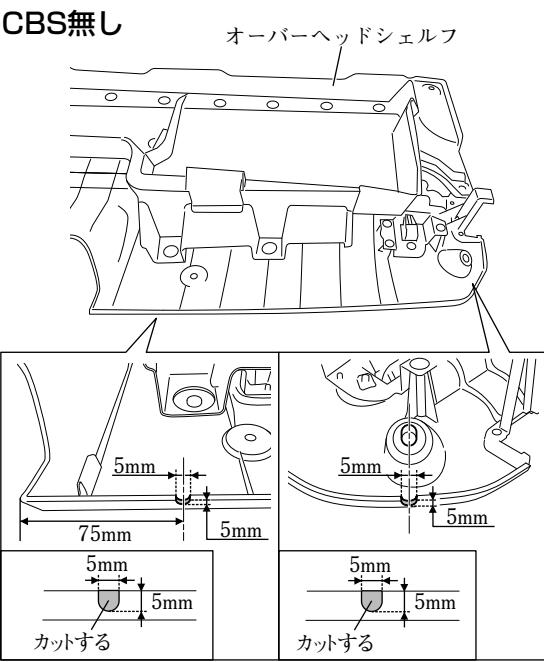
DCBS無し



DCBS付き



DCBS無し



- (4) オーバーヘッドシェルフ装備車は、オーバーヘッドシェルフ左の図に示す箇所をカットしてください。

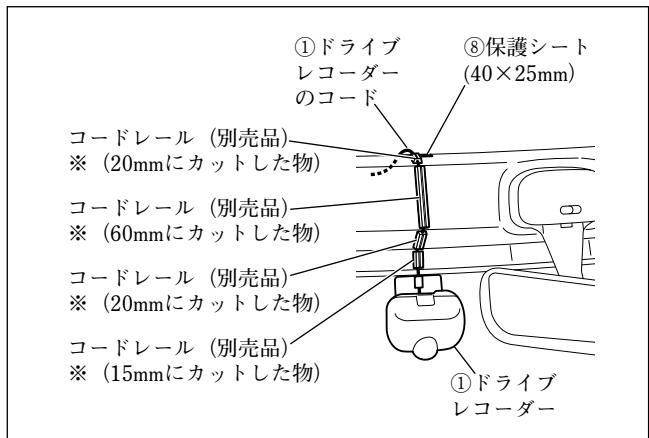
注記

カットする際は、指定の寸法を守って行ってください。

- (5) 加工部の端をヤスリで整えてください。

注記

オーバーヘッドシェルフ装備車は、オーバーヘッドシェルフを取り付ける際、切り欠きを①ドライブレコーダーのコードに合わせてください。

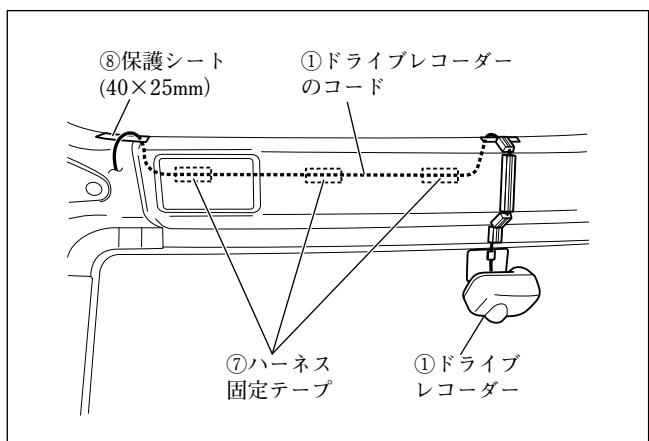


オーバーヘッドシェルフ非装備車の場合

- (1) ⑧保護シート (40×25mm) で板金エッジから保護し、①ドライブレコーダーのコードをコードレール (別売品) を使用して、ルーフフロントインナーパネル内へ配線してください。

注記

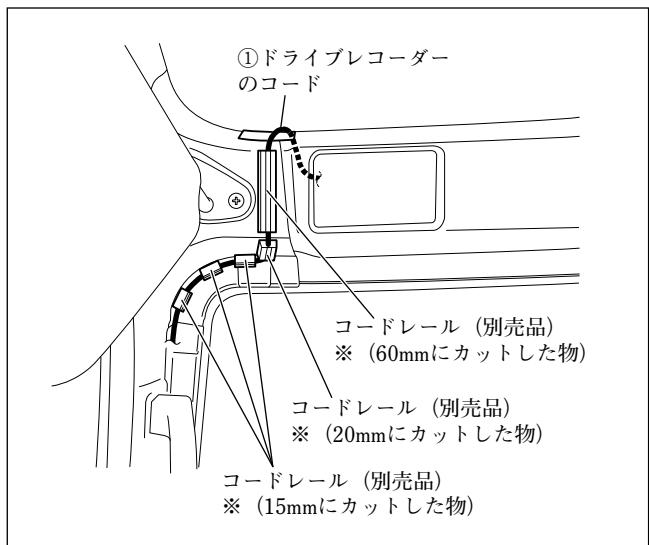
- ⑧保護シートおよびコードレール (別売品) を貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- コードレール (別売品) は、図示の寸法にカットして使用してください。
- カットした残りは後の手順で使用します。捨てないでください。
- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (2) ①ドライブレコーダーのコードを⑧保護シート (40×25mm) で板金エッジから保護してください。

注記

- ⑧保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

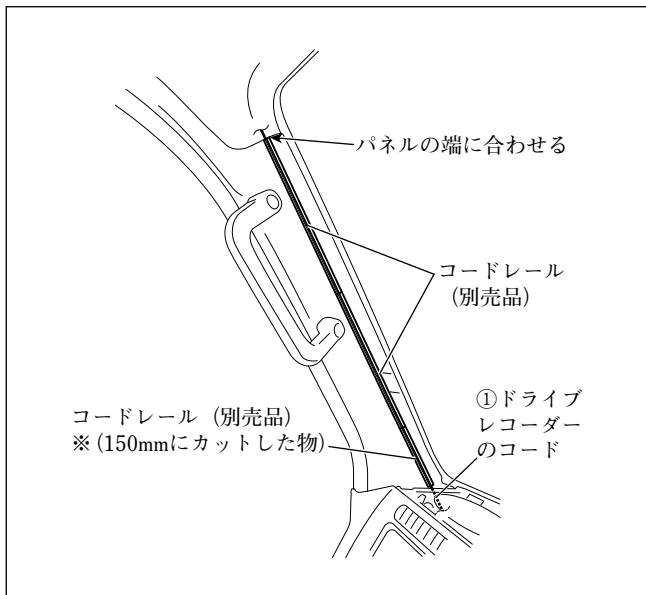


- (3) ⑦ハーネス固定テープを巻き付けた①ドライブレコーダーのコードをルーフフロントインナーパネル内に配線してください。

- (4) ①ドライブレコーダーのコードをコードレール (別売品) を使用して、左フロントピラー部まで配線してください。

注記

- コードレール (別売品) を貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- コードレール (別売品) は、図示の寸法にカットして使用してください。
- カットした残りは後の手順で使用します。捨てないでください。
- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



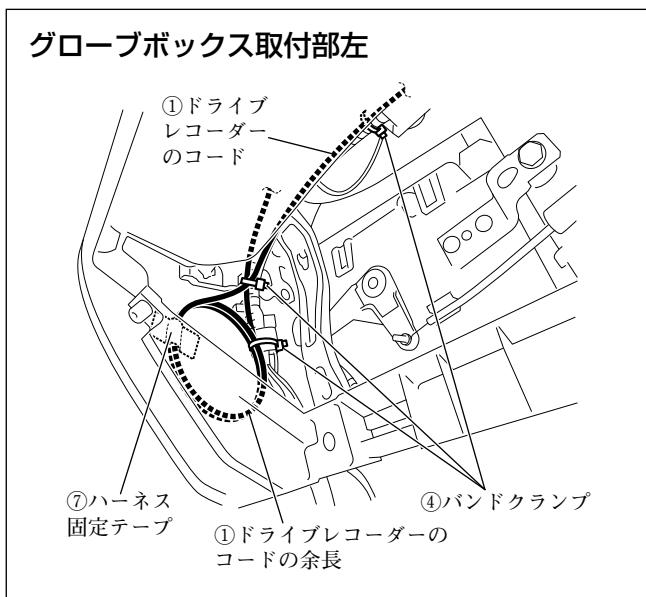
- (5) ①ドライブレコーダーのコードをコードレール（別売品）を使用してインパネ内まで配線してください。

注記

- コードレール（別売品）を貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとてから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

アドバイス

補助ミラー付き車の場合も同様に取り付けてください。



- (6) ①ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (7) ①ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (8) ①ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。（「接続のしかた」参照）

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

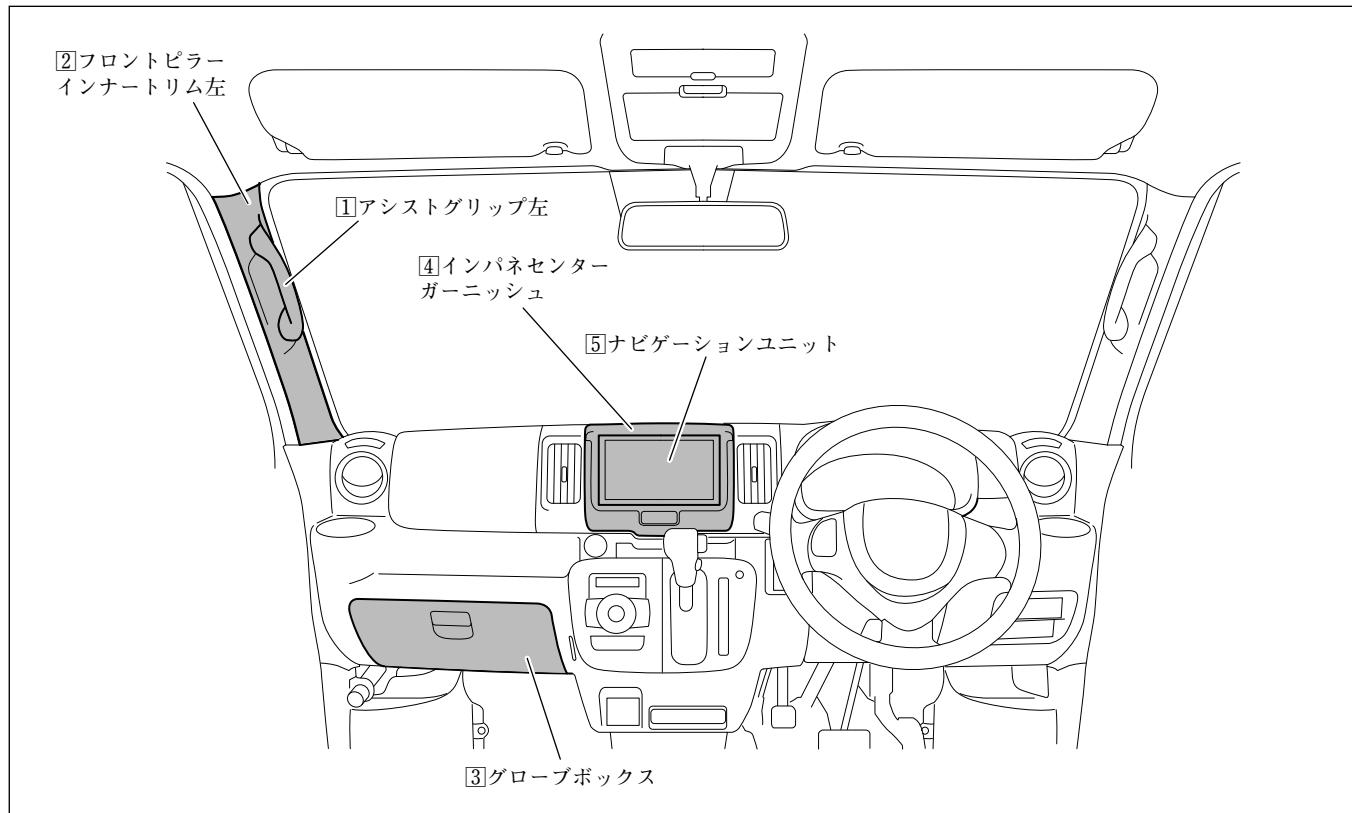
エブリイの場合

●車両部品の取り外し方法

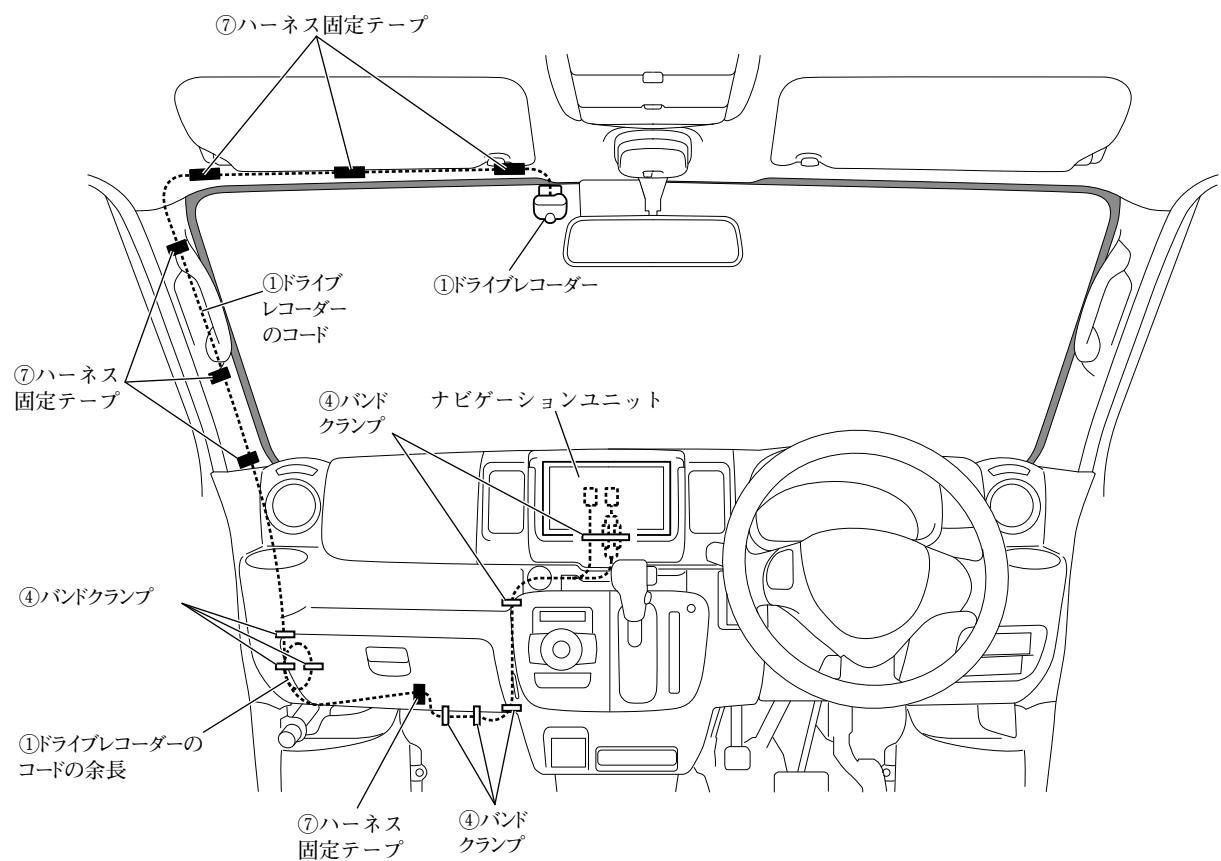
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

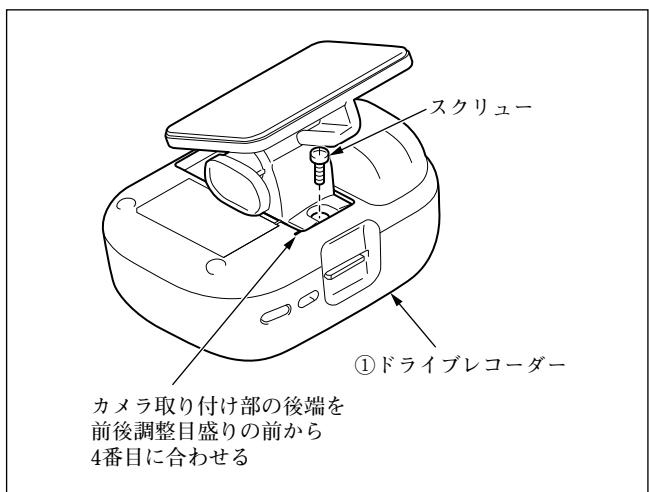
図に示す車両部品を取り外してください。



● 取付概要



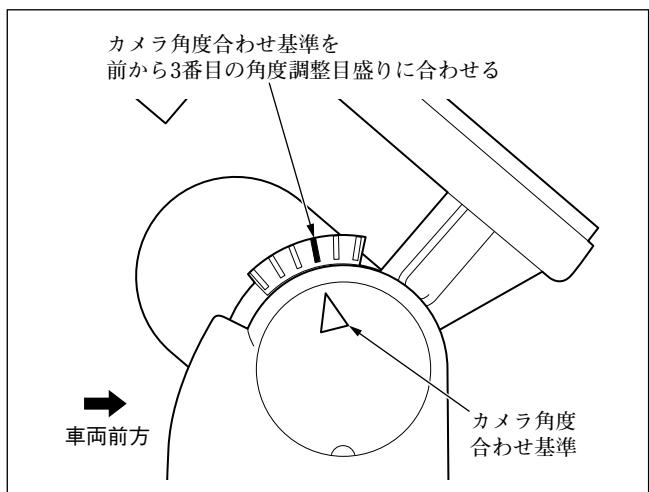
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

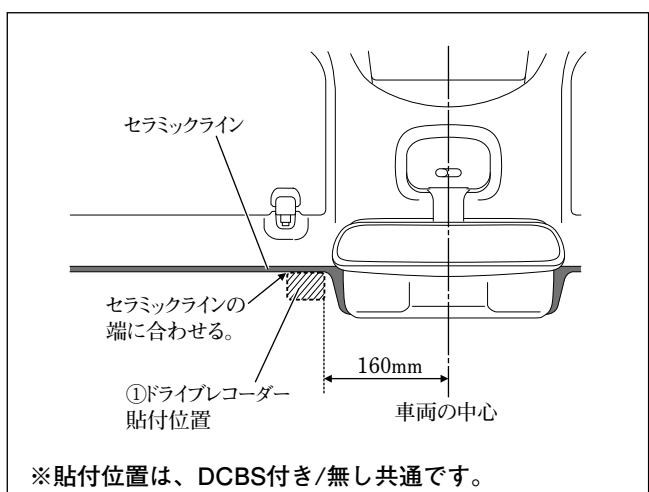
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



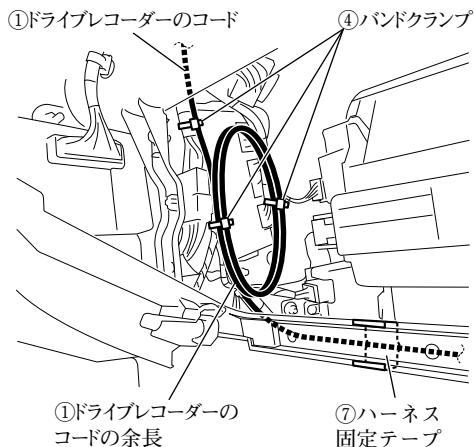
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、①ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ①ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ①ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

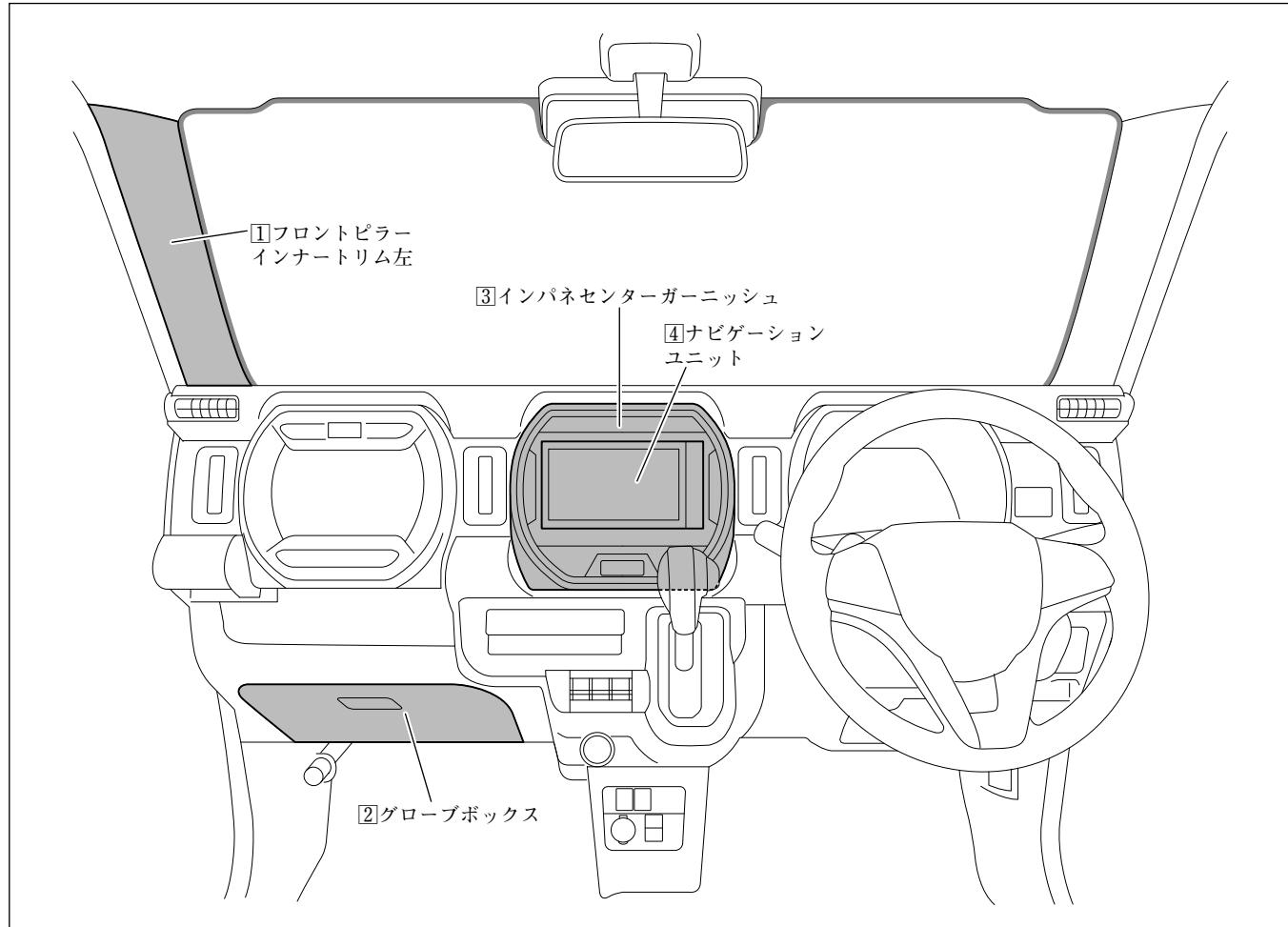
ハスラーの場合

●車両部品の取り外し方法

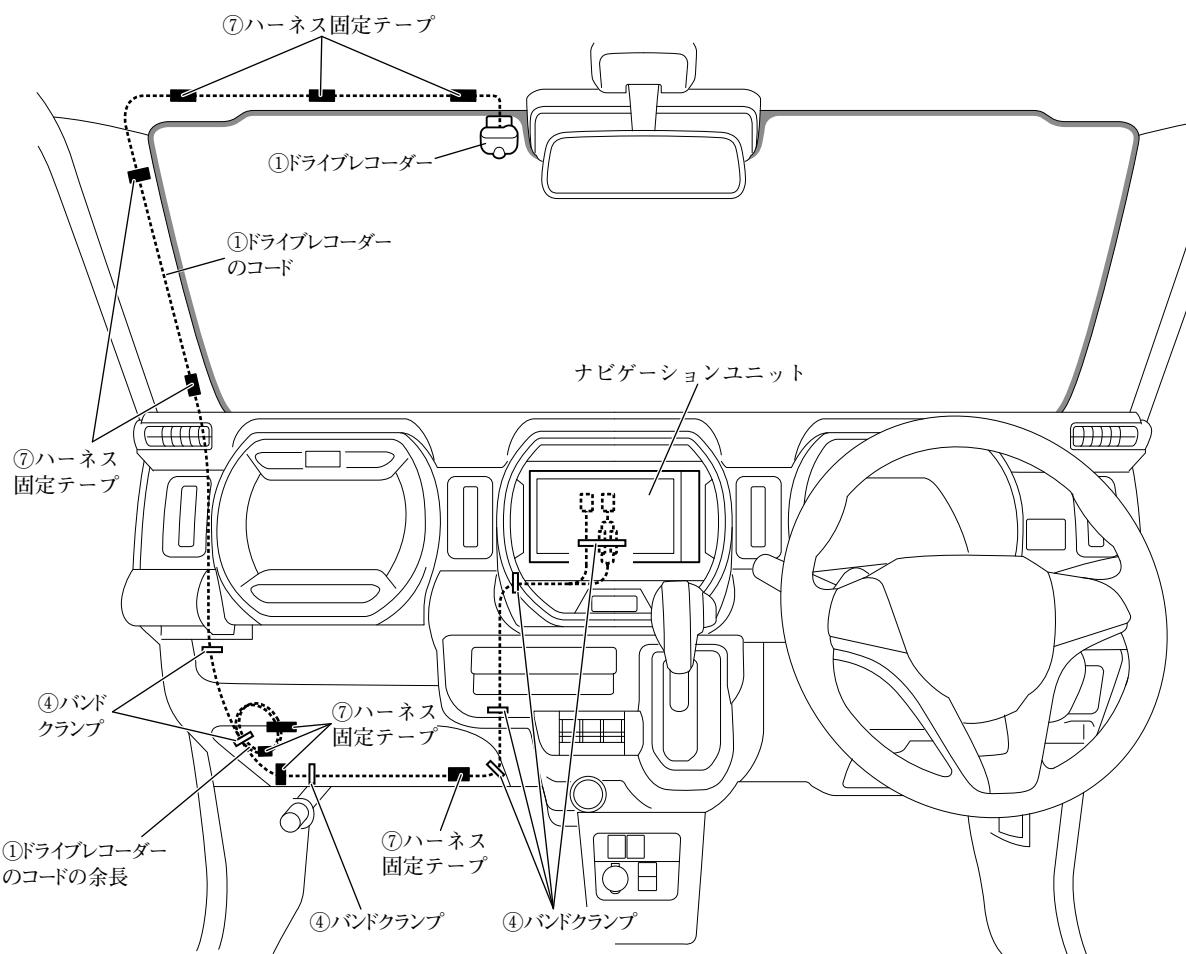
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

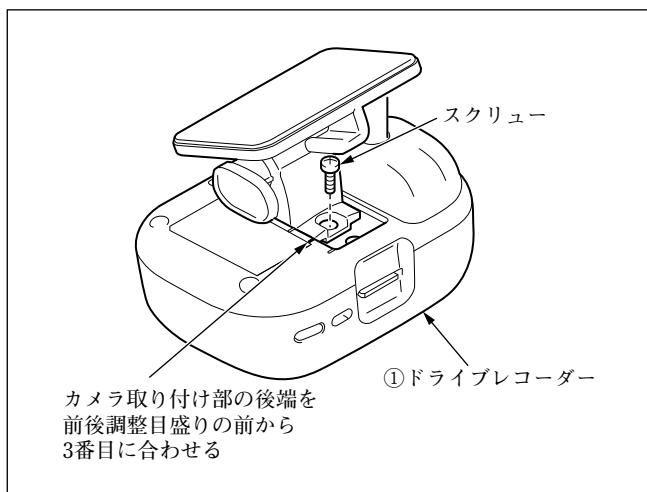


● 取付概要



※⑦ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて
100×20mmにカットして使用してください。

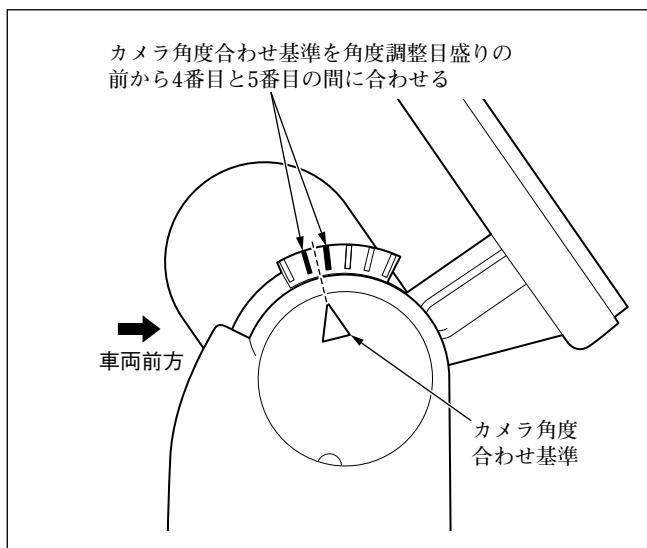
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

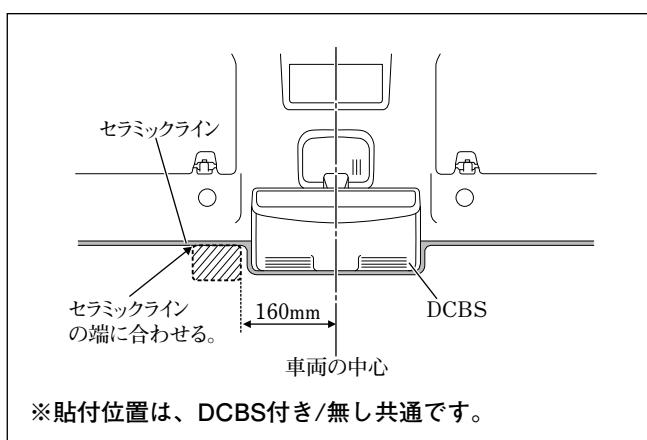
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



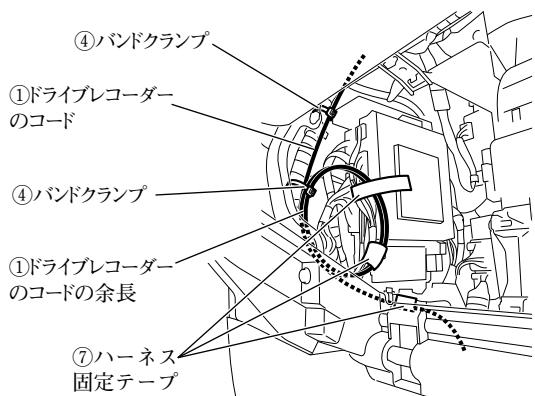
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、①ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ①ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ①ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

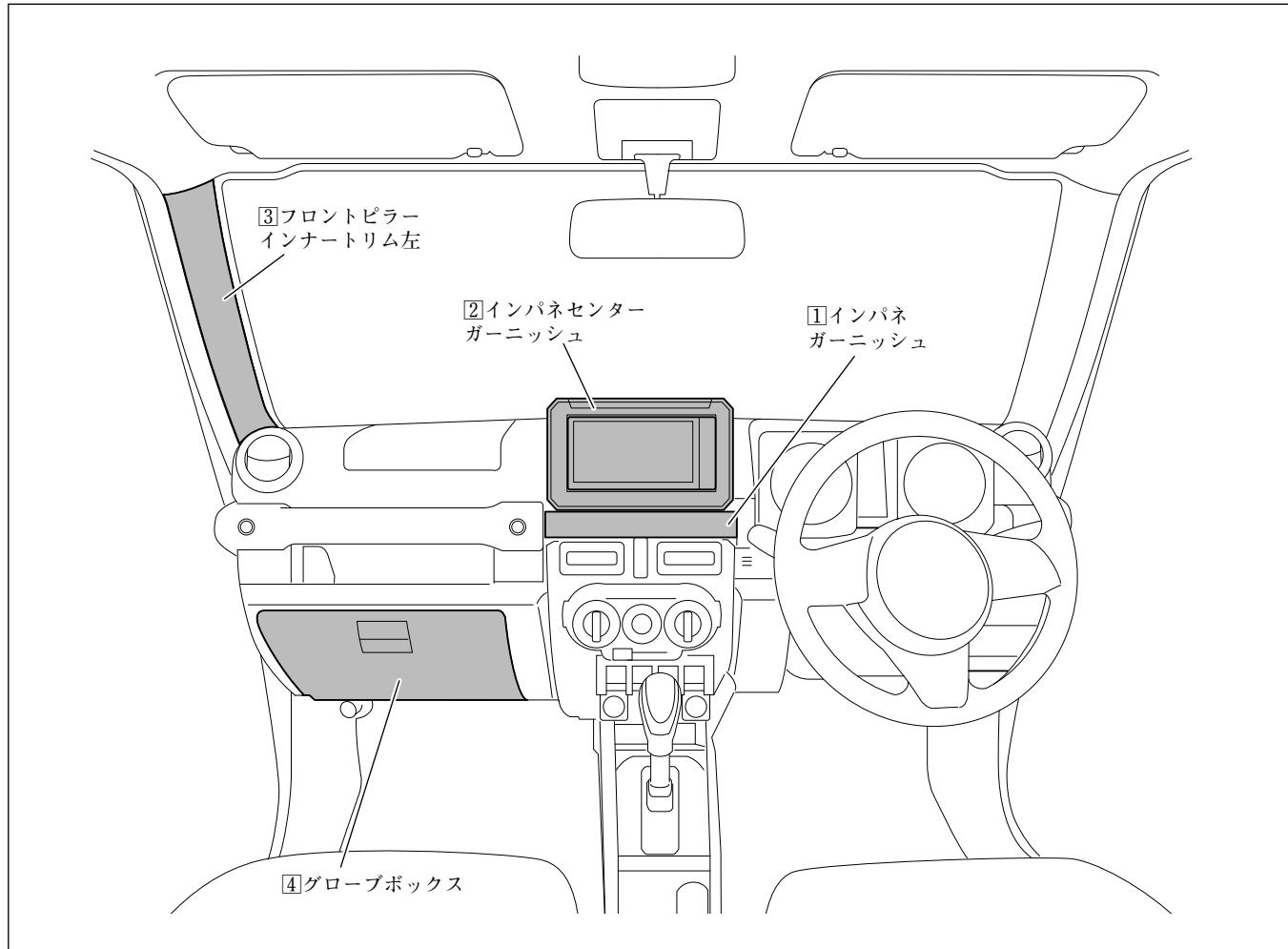
ジムニー／ジムニーシエラの場合

●車両部品の取り外し方法

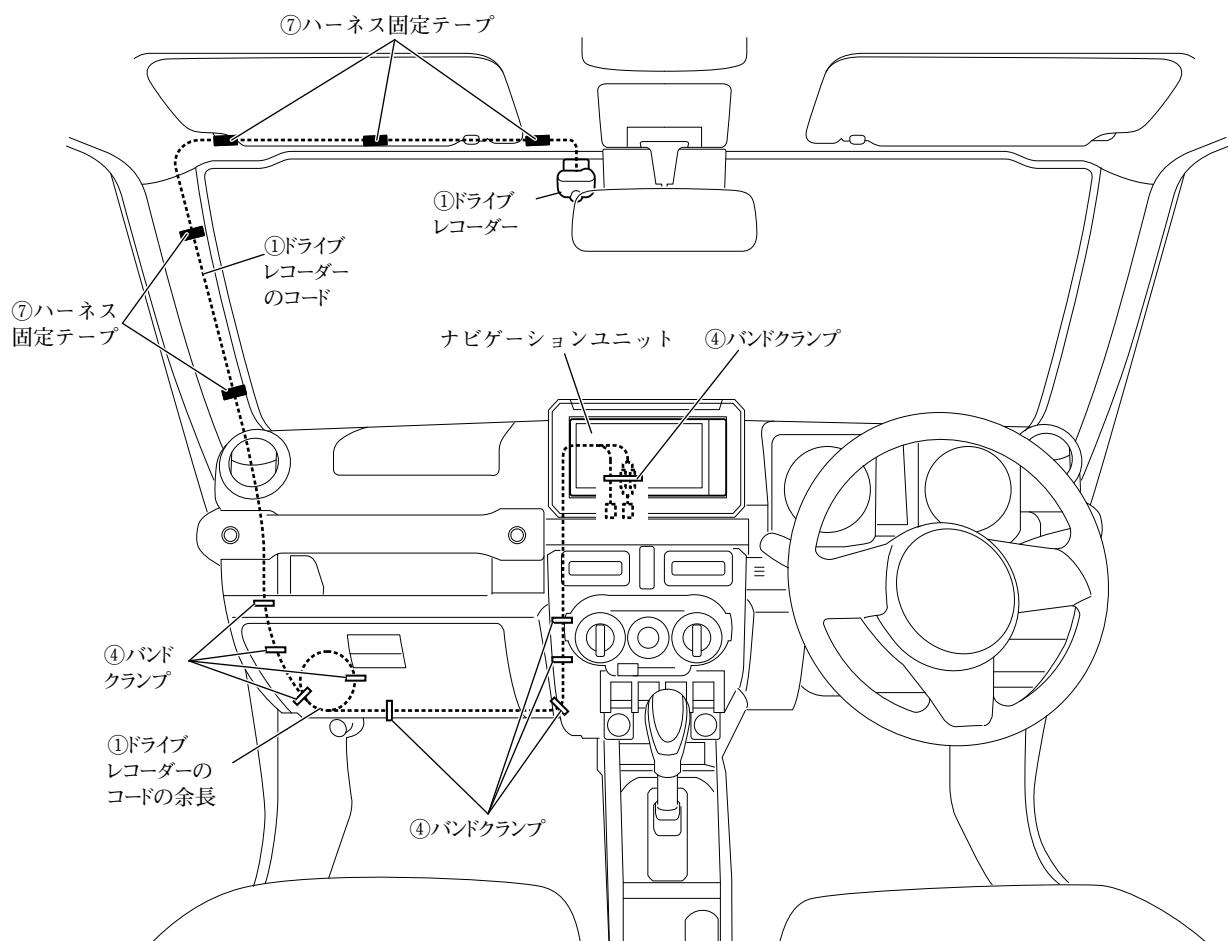
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

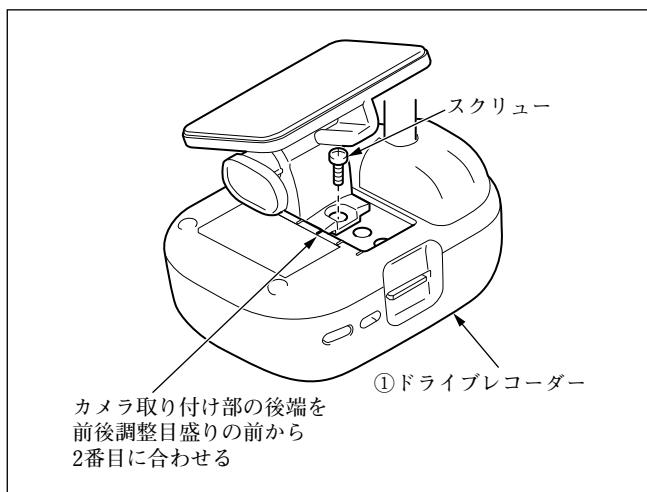


● 取付概要



※⑦ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

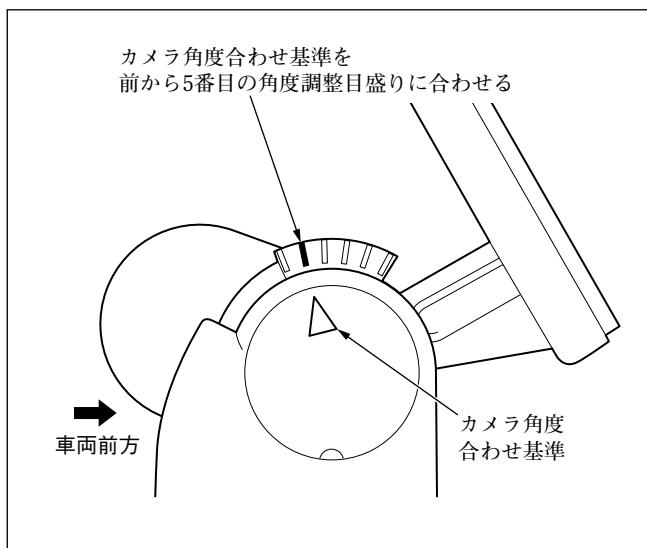
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

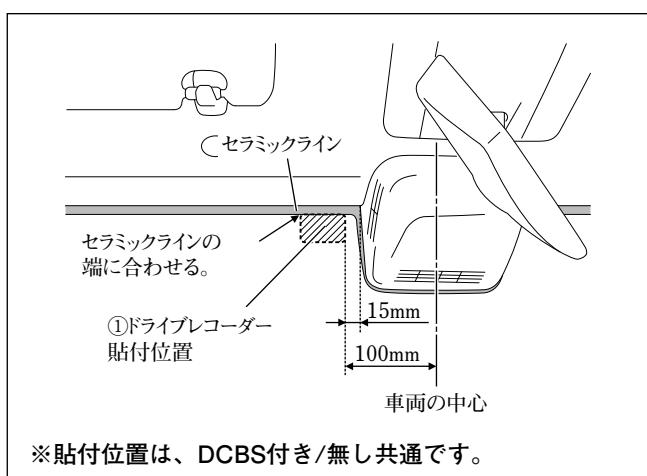
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



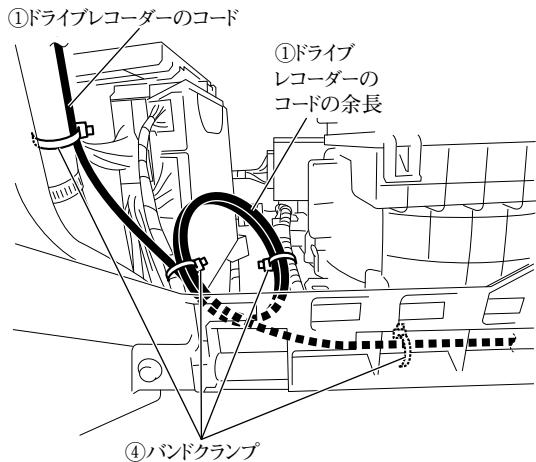
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち① ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、① ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と① ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部



- (1) ① ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ① ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ① ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

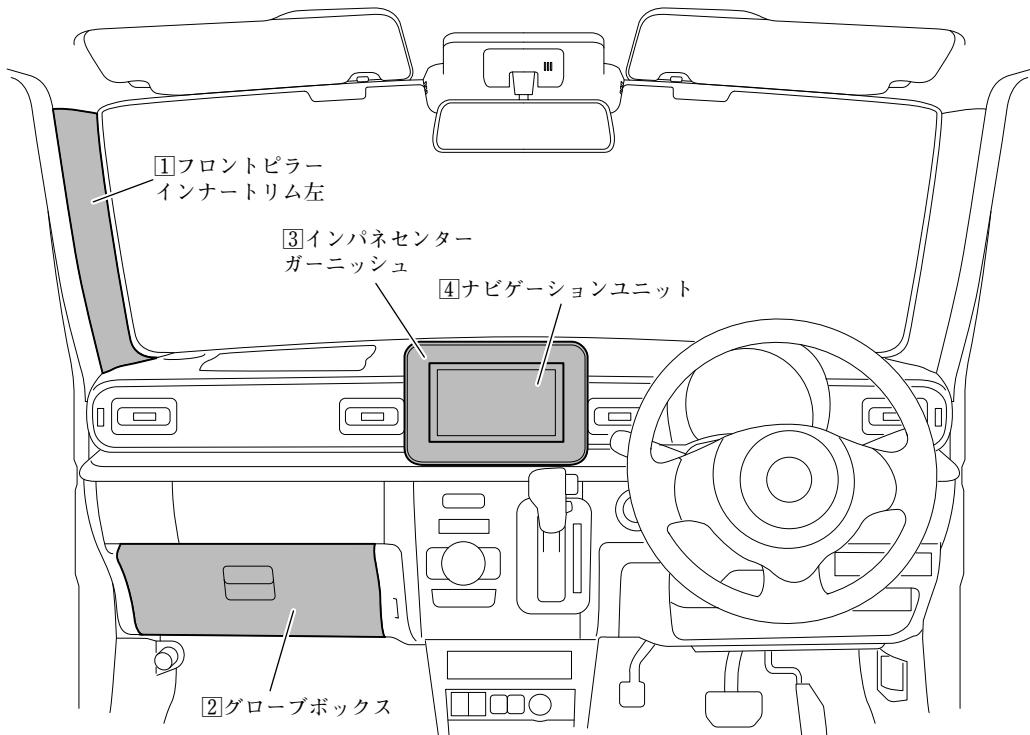
ラパンの場合

●車両部品の取り外し方法

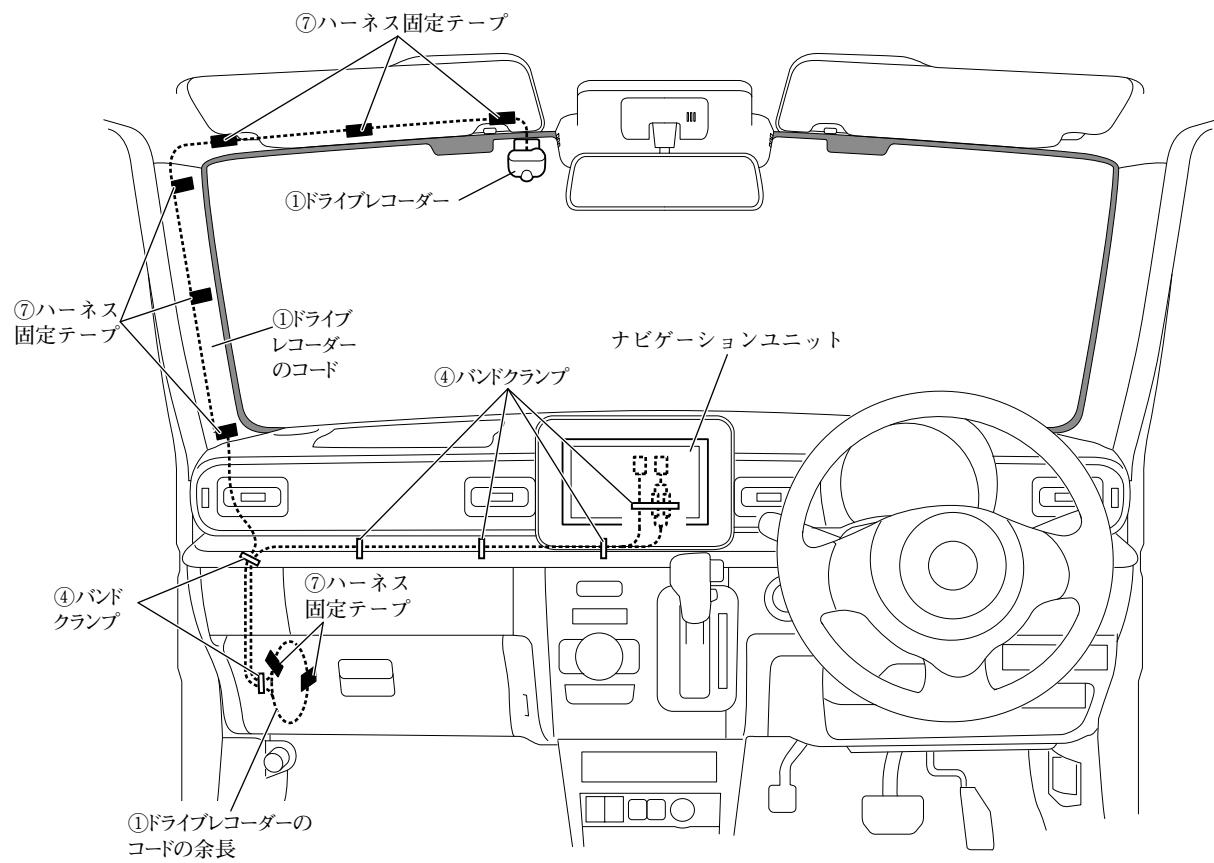
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。



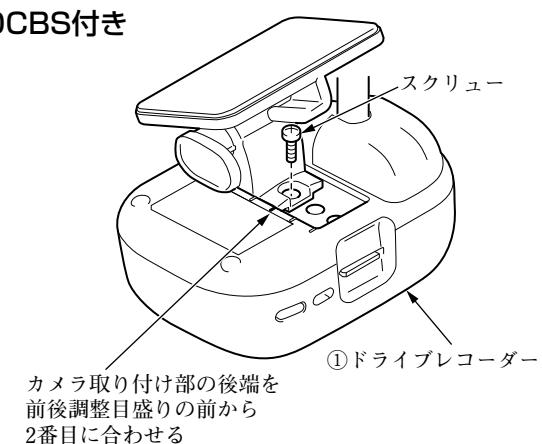
● 取付概要



※③ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて
100×20mmにカットして使用してください。

● ドライブレコーダーの取付方法

DCBS付き

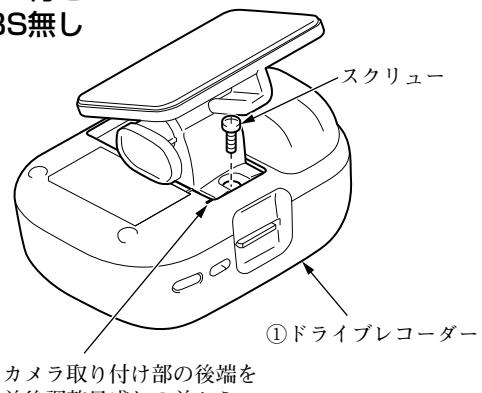


- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。

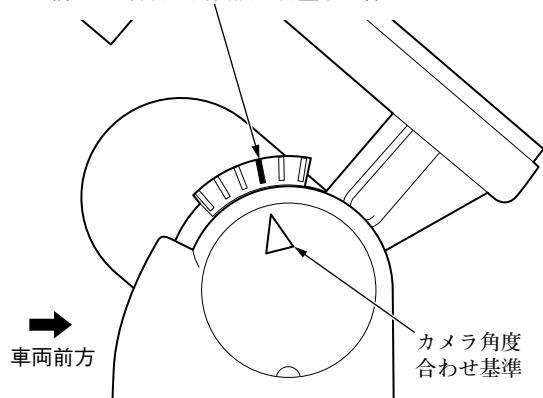
DSBS付き
DSBS無し



※前後位置は、DSBS付き/無し共通です。

DCBS付き

カメラ角度合わせ基準を
前から3番目の角度調整目盛りに合わせる



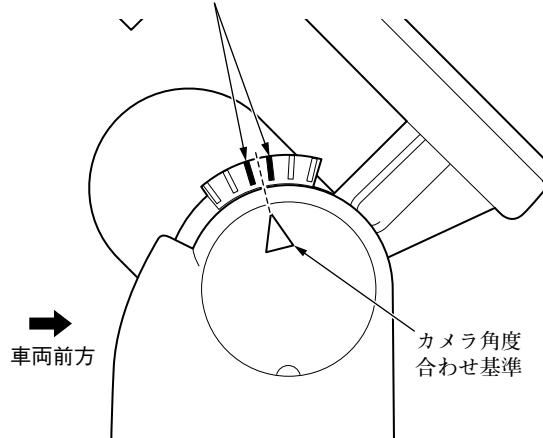
- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を
調整してください。(全車共通の「ドライブ
レコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カ
メラレンズ部を絶対に触らないでください。

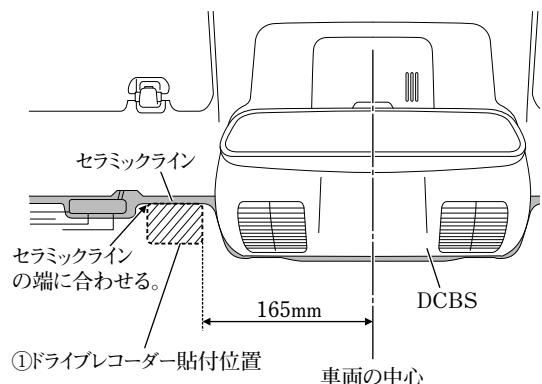
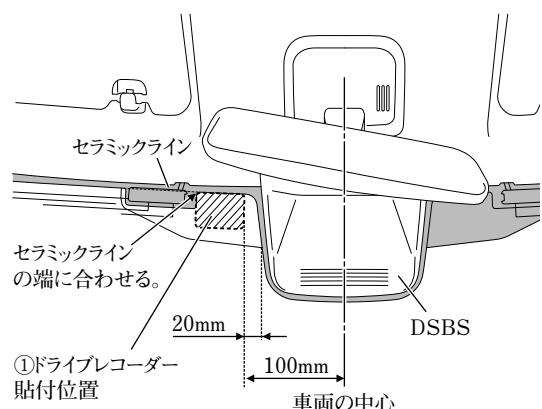
**DSBS付き
DSBS無し**

カメラ角度合わせ基準を角度調整目盛りの
前から3番目と4番目の間に合わせる



※上下角度は、DSBS付き/無し共通です。

DCBS付き

DSBS付き
DSBS無し

※貼付位置は、DSBS付き/無し共通です。

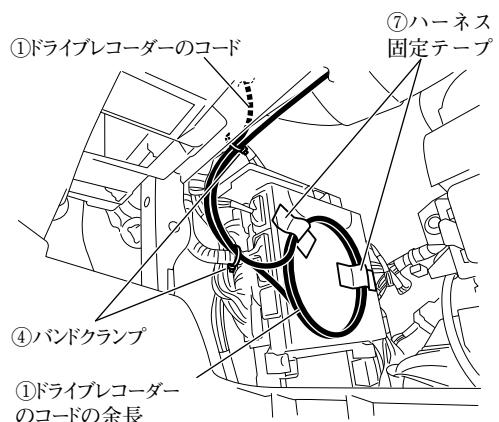
(3) ①ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、①ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ①ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ①ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

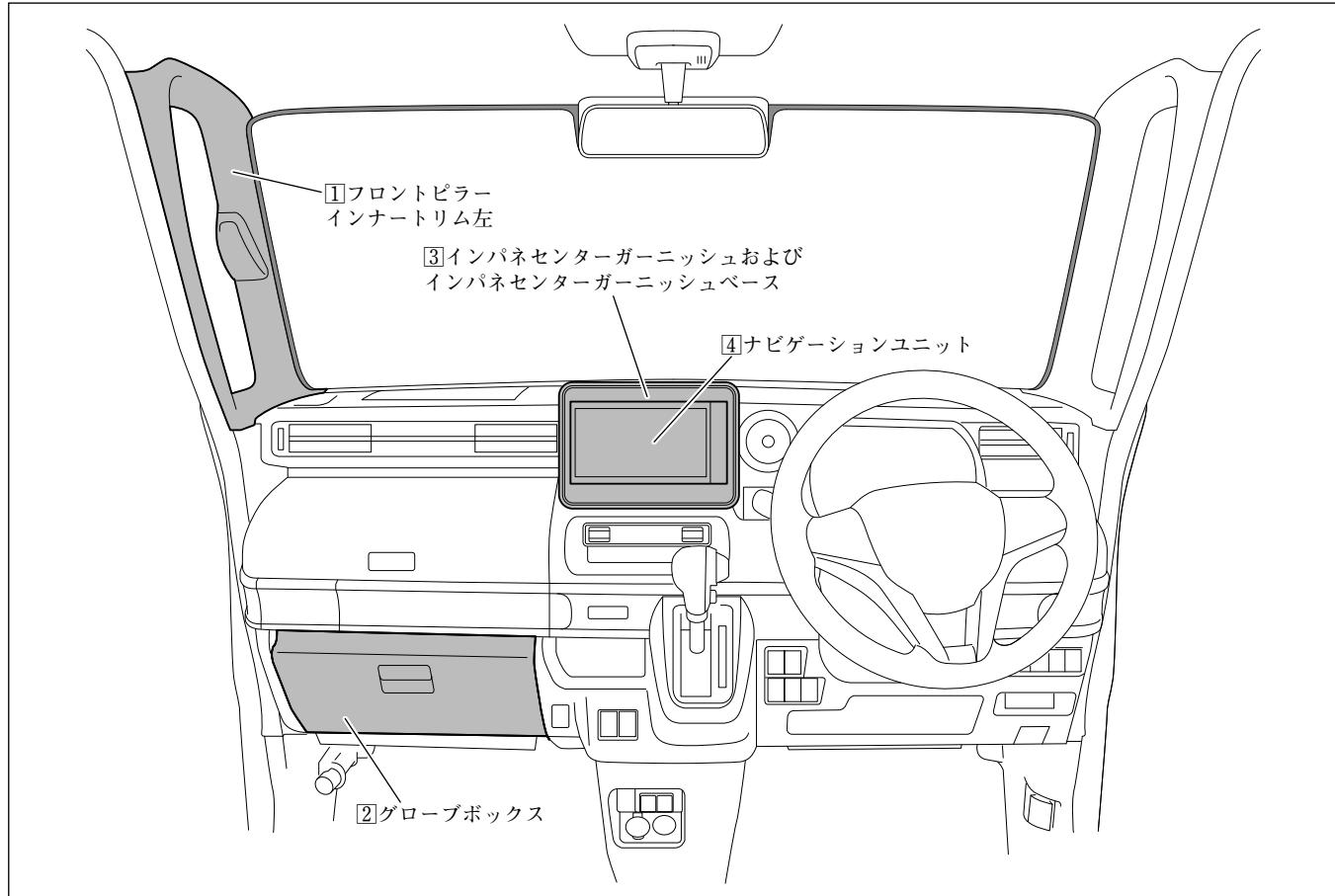
スペーシア／スペーシアベースの場合

●車両部品の取り外し方法

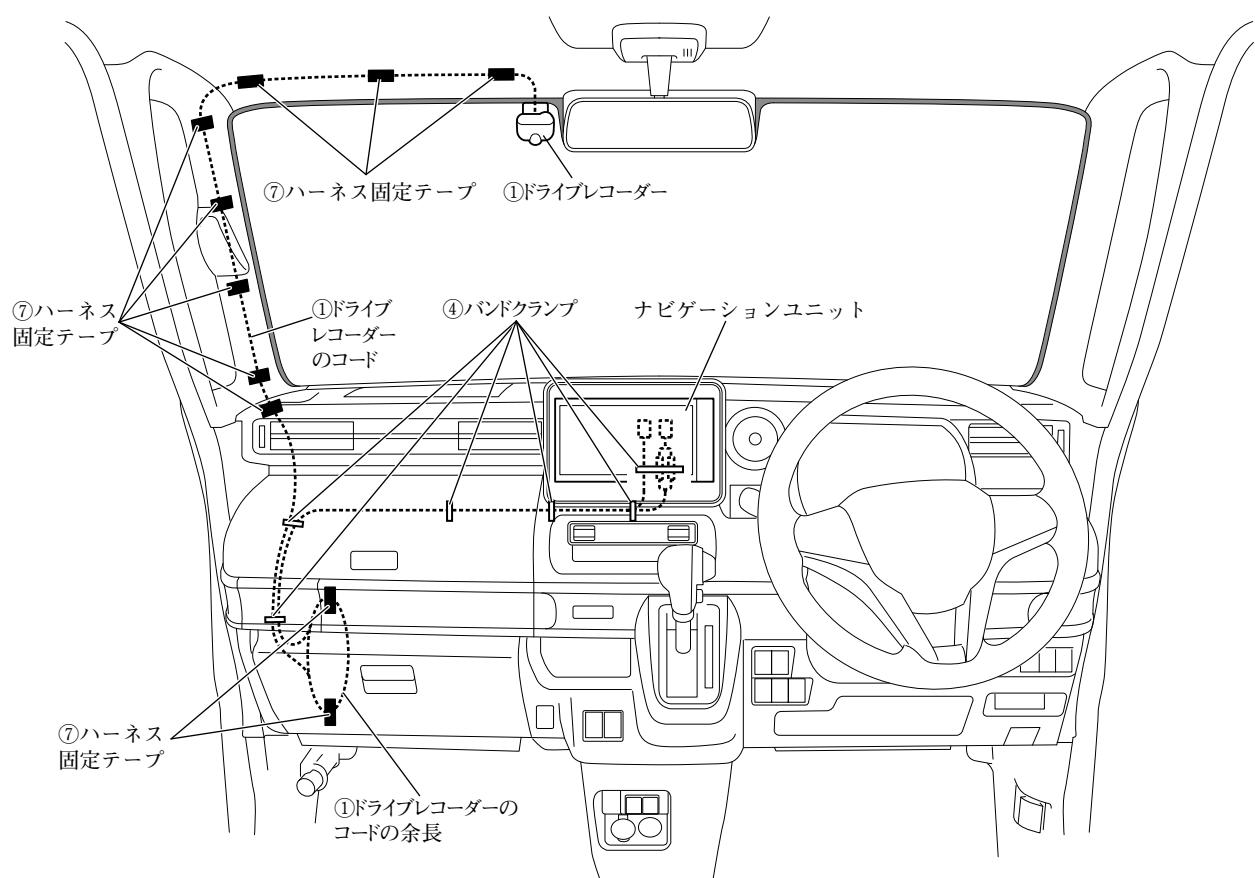
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

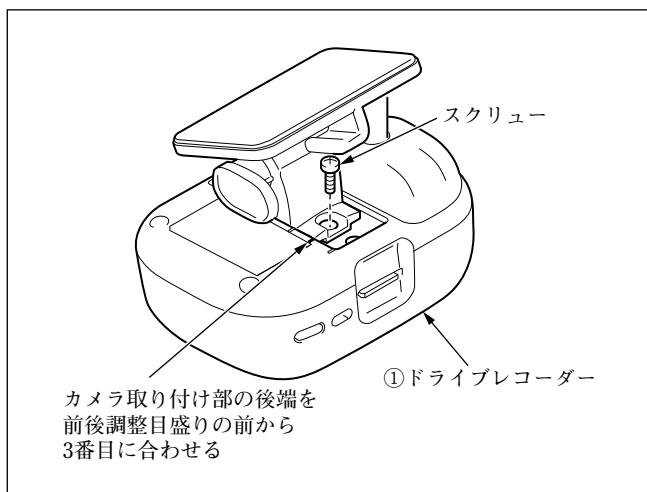


● 取付概要



※⑦ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて100×20mmにカットして使用してください。

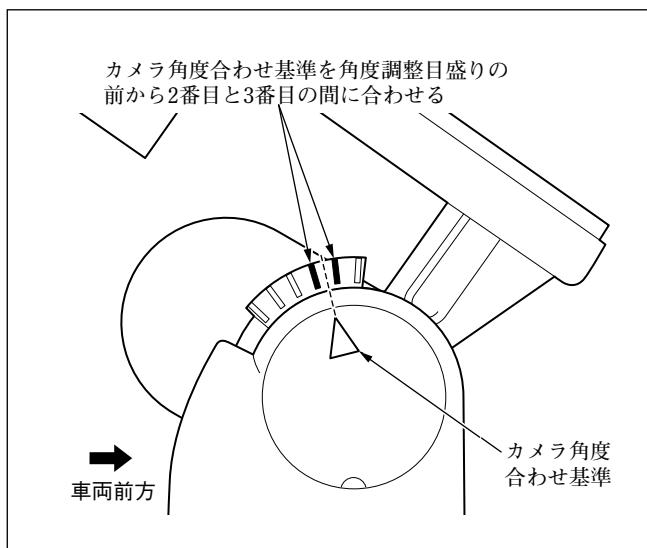
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

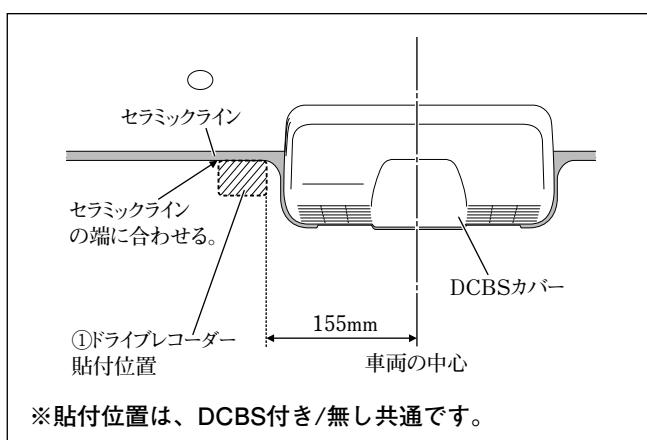
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



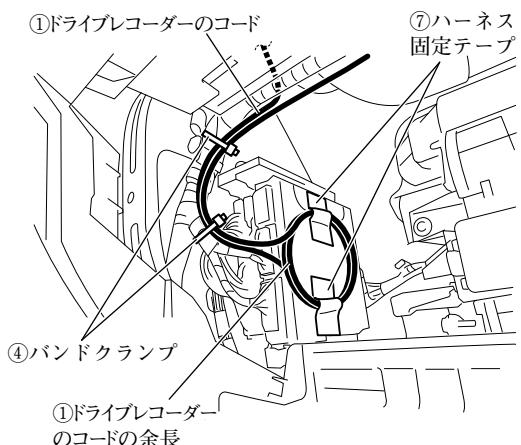
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち① ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、① ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と① ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ①ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ①ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

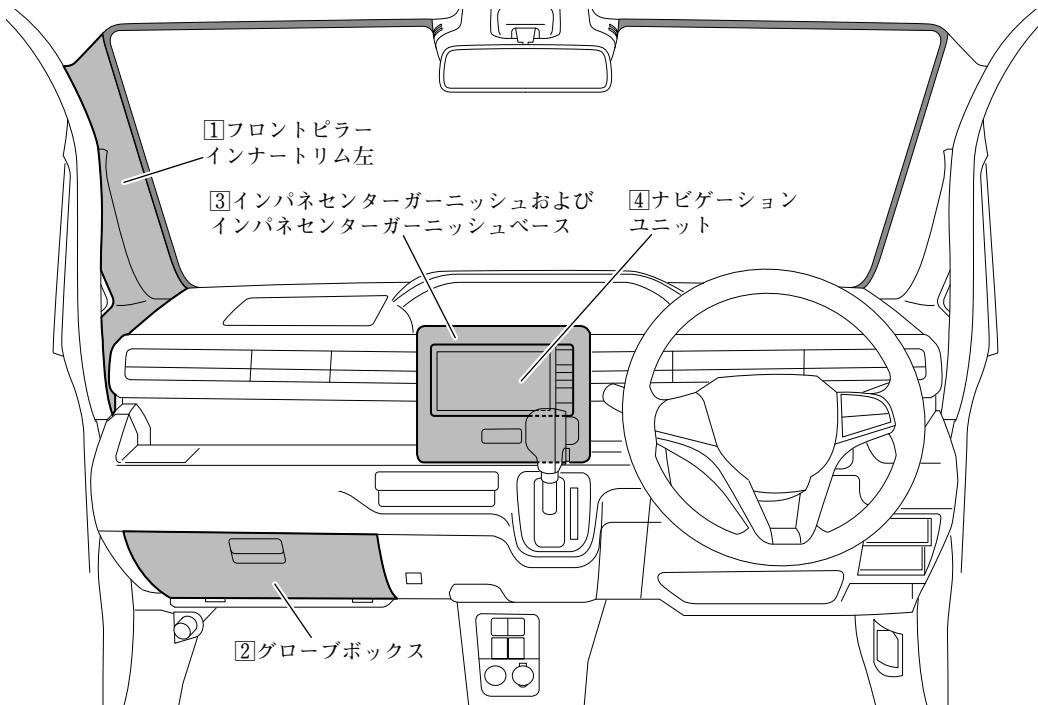
ワゴンRの場合

●車両部品の取り外し方法

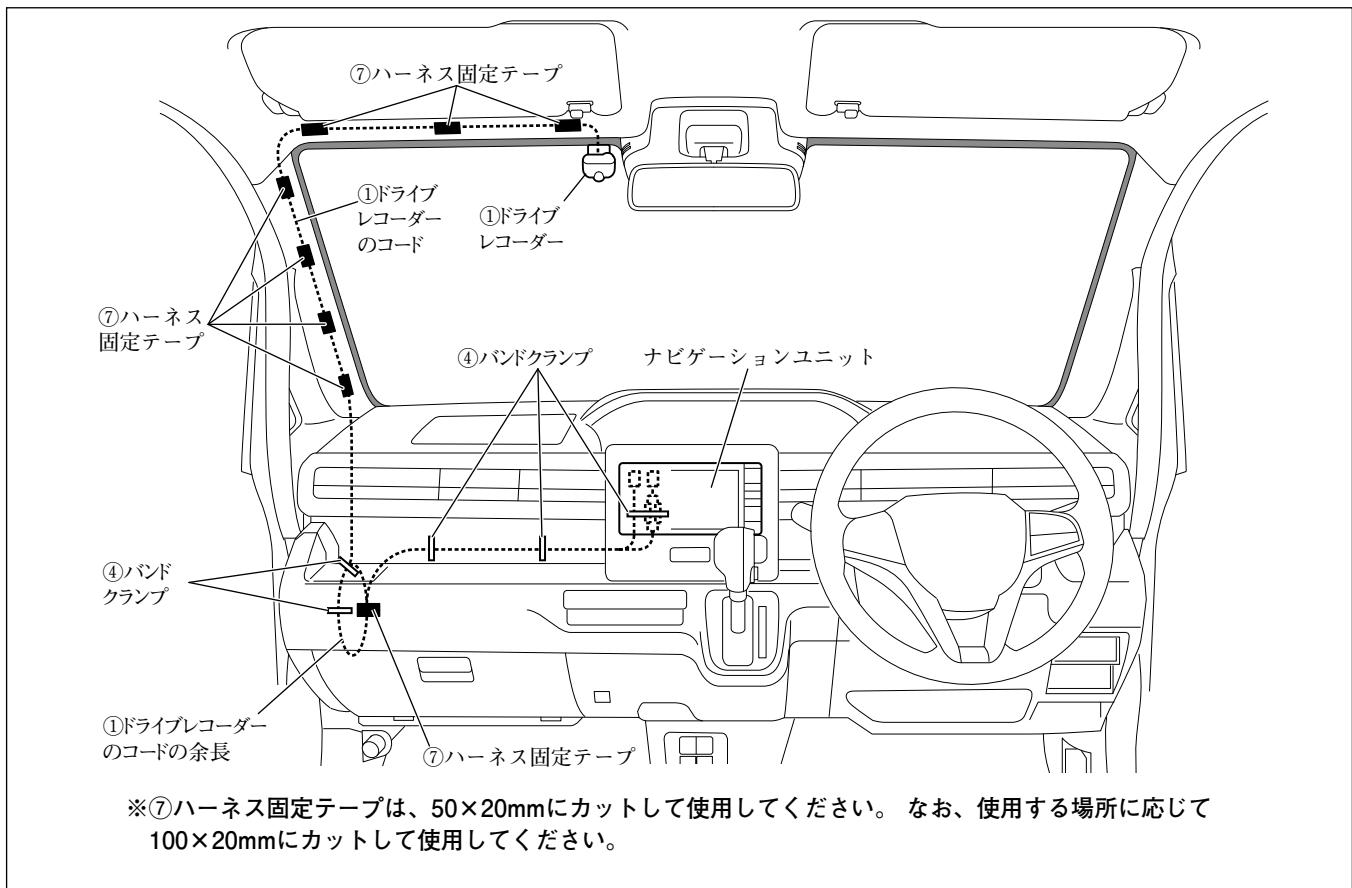
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

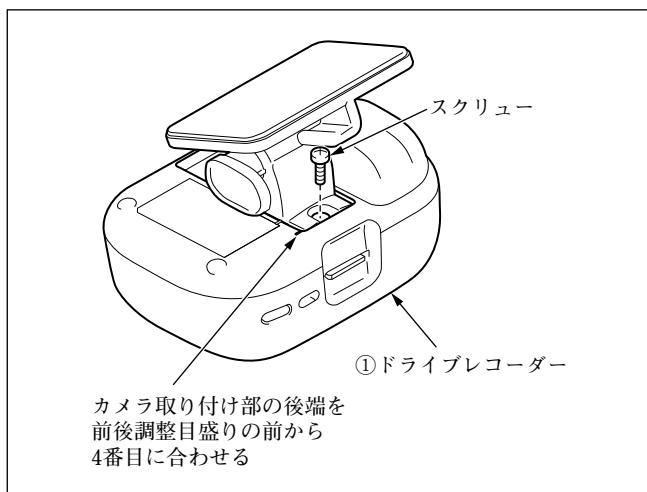
図に示す車両部品を取り外してください。



● 取付概要



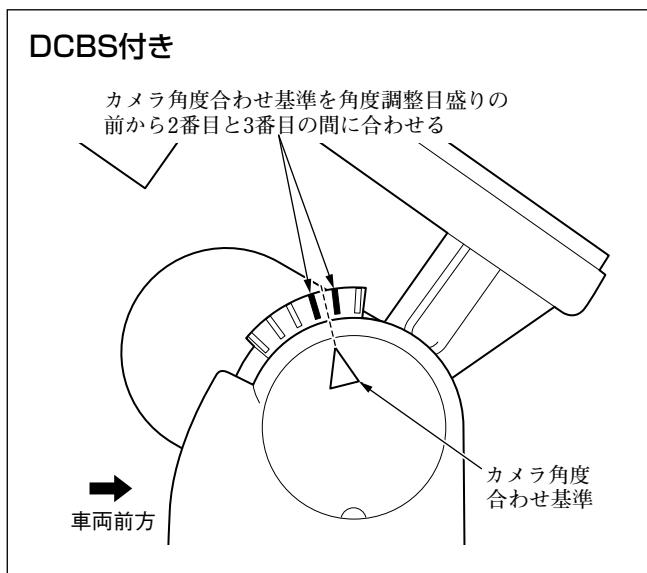
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

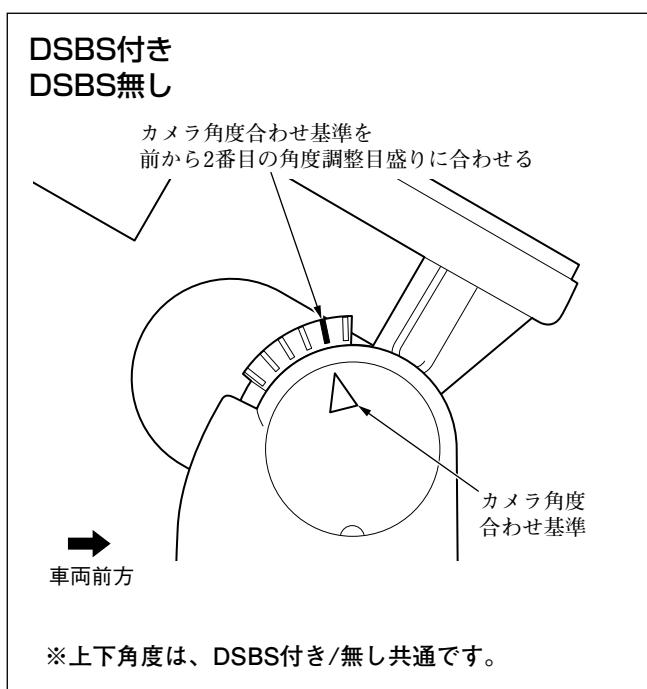
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

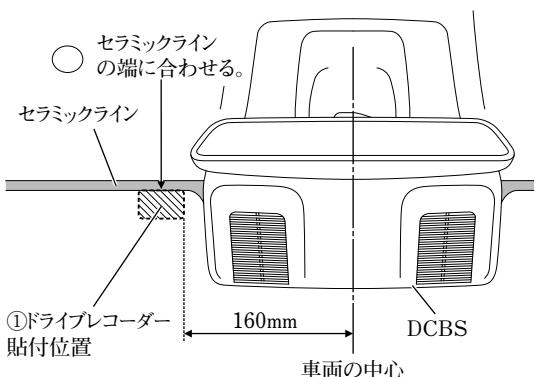
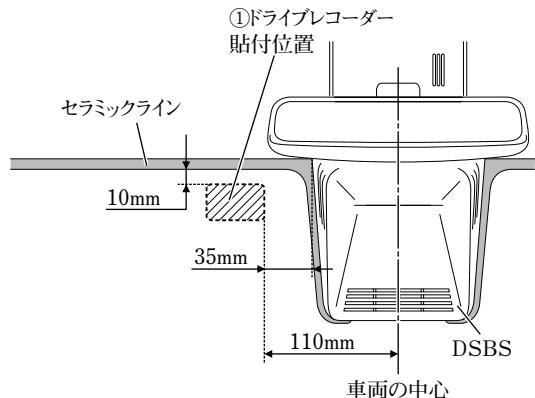
注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



※上下角度は、DSBS付き/無し共通です。

DCBS付き

DSBS付き
DSBS無し

※貼付位置は、DSBS付き/無し共通です。

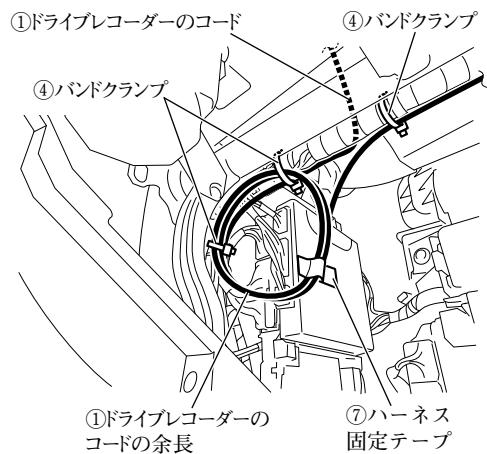
- (3) ①ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、①ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ① ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ① ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ① ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

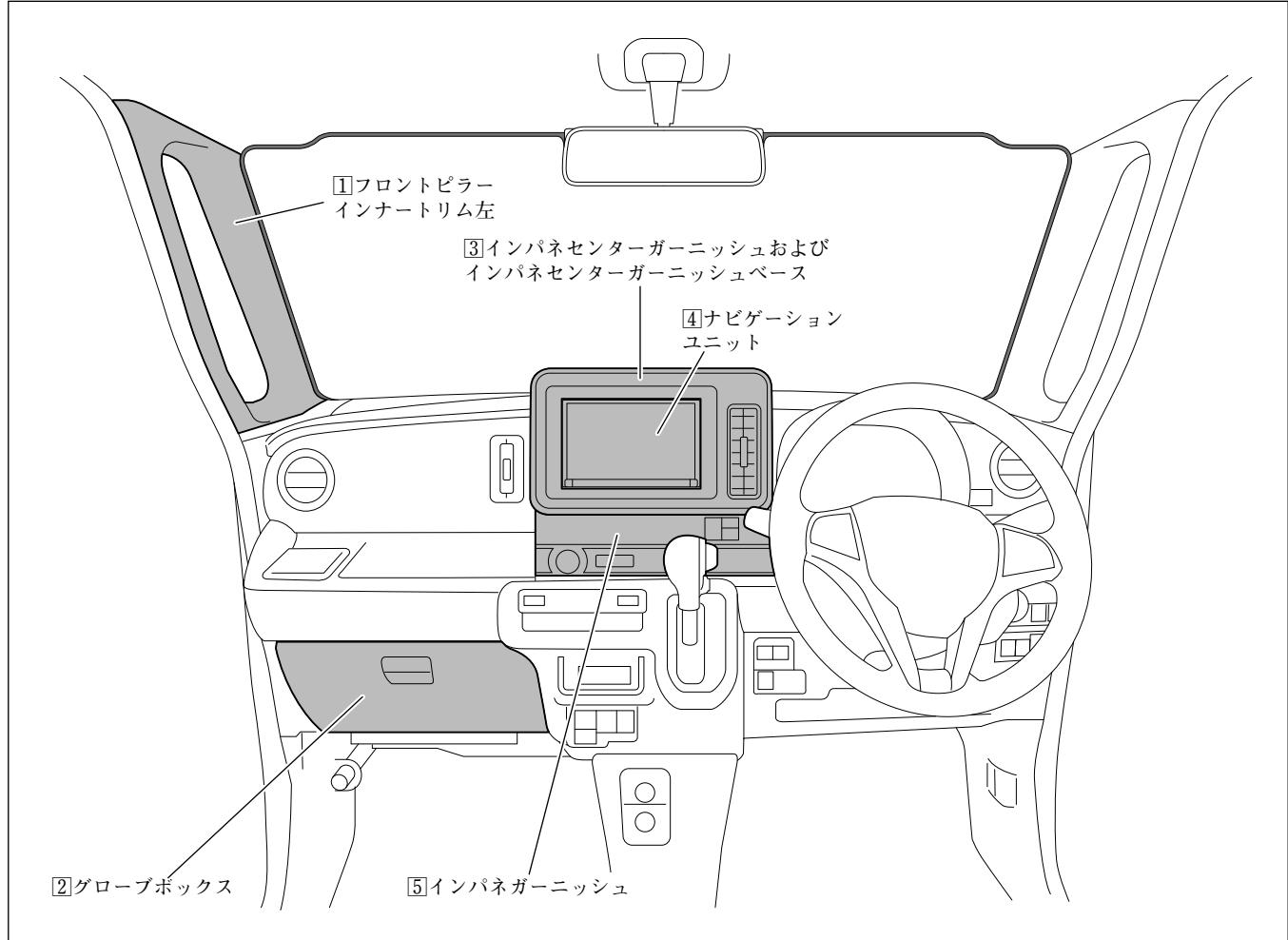
ワゴンRスマイルの場合

● 車両部品の取り外し方法

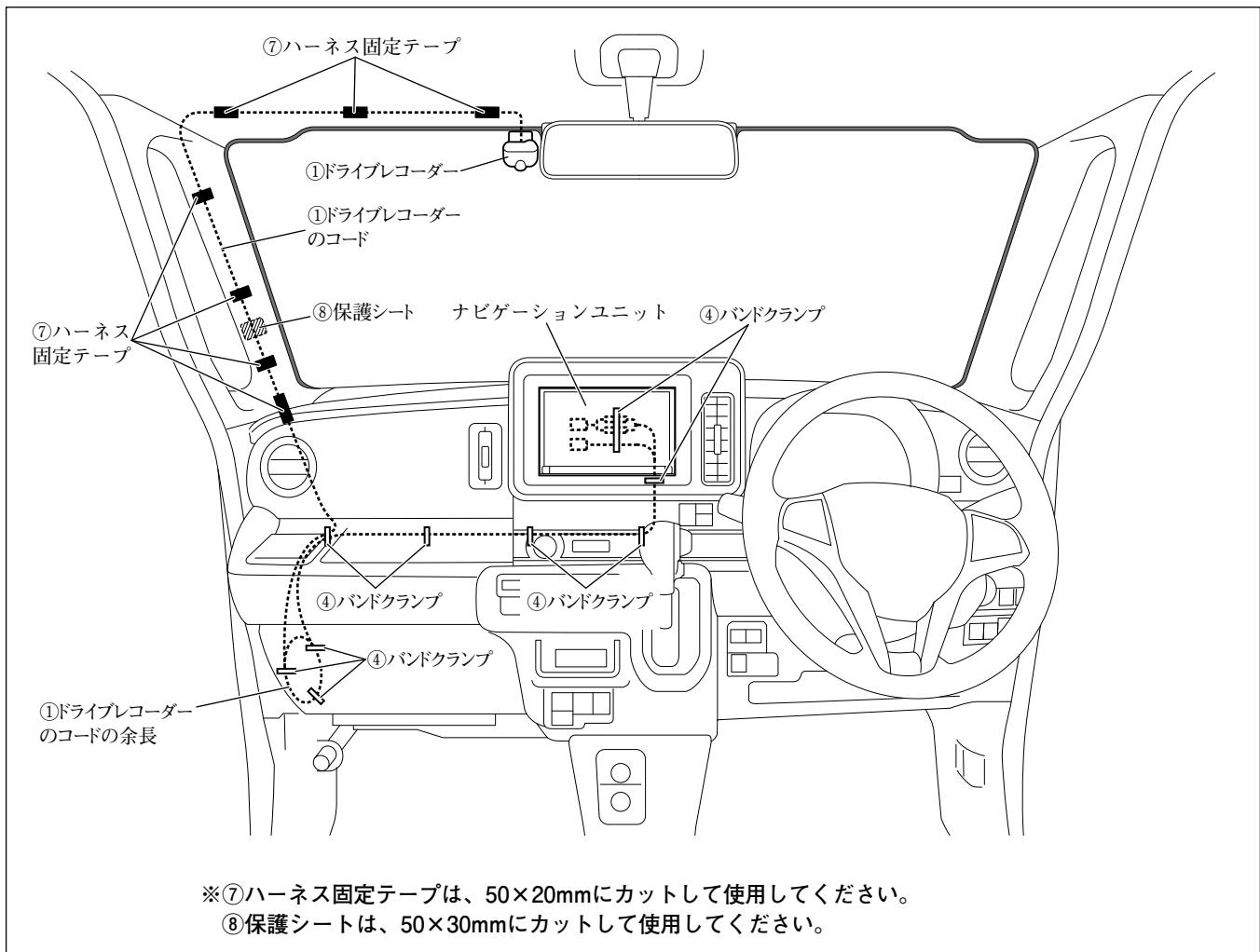
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

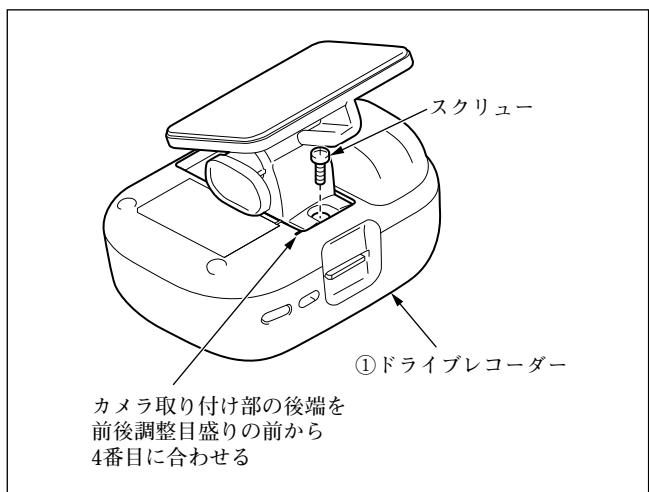
図に示す車両部品を取り外してください。



● 取付概要



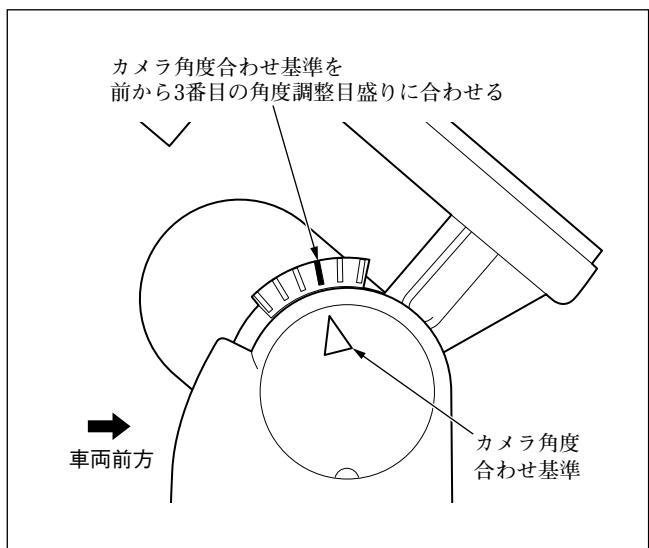
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

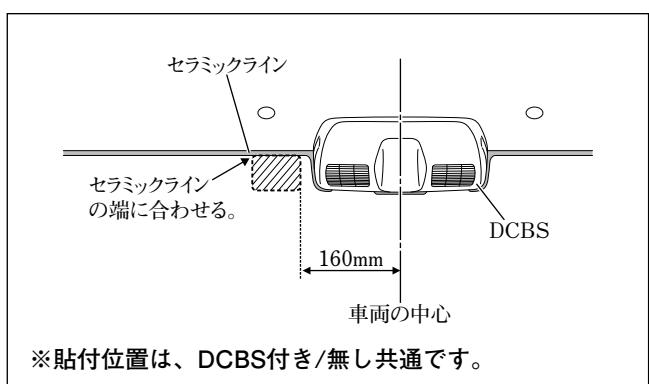
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



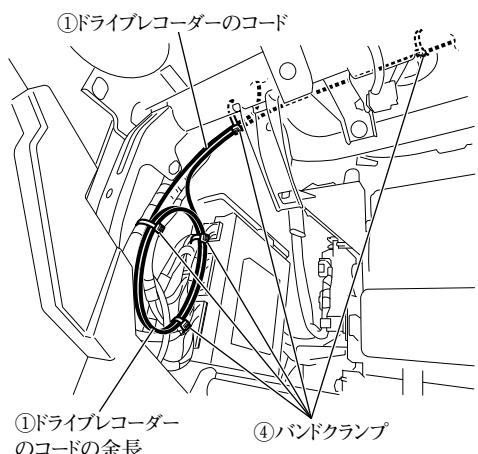
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち① ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、① ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と① ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ① ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ① ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ① ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

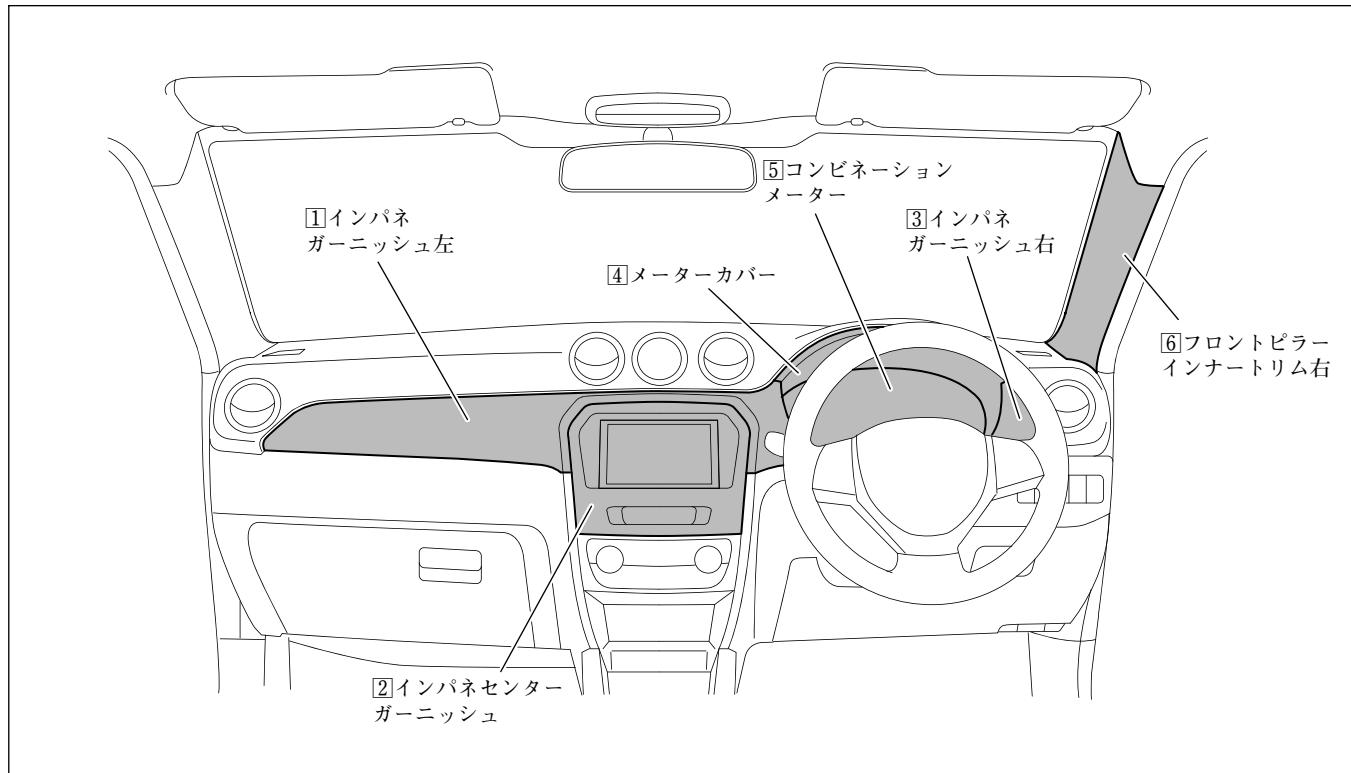
エスクードの場合

●車両部品の取り外し方法

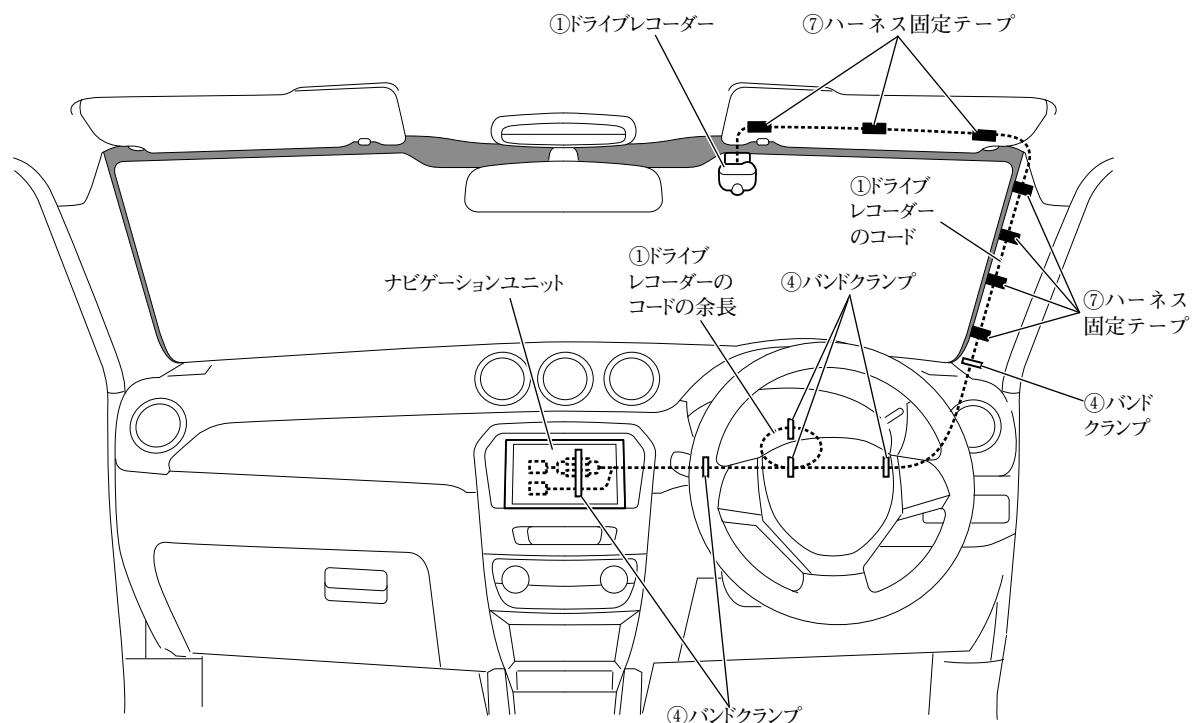
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

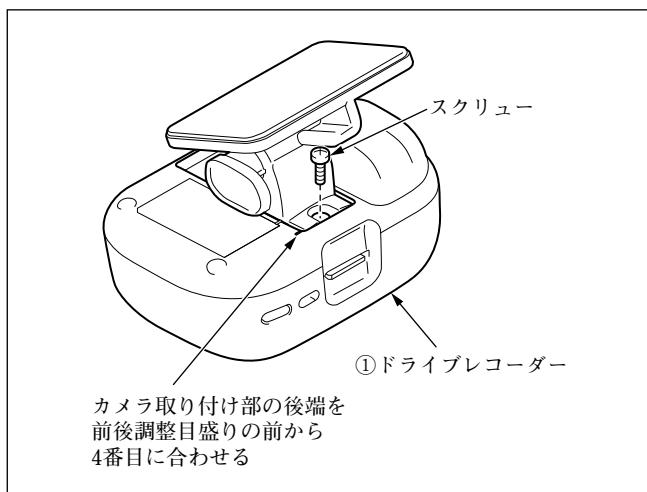


● 取付概要



※⑦ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

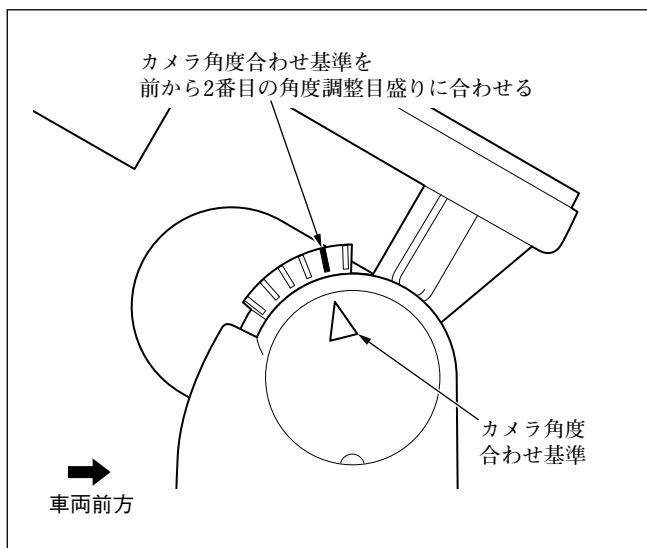
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

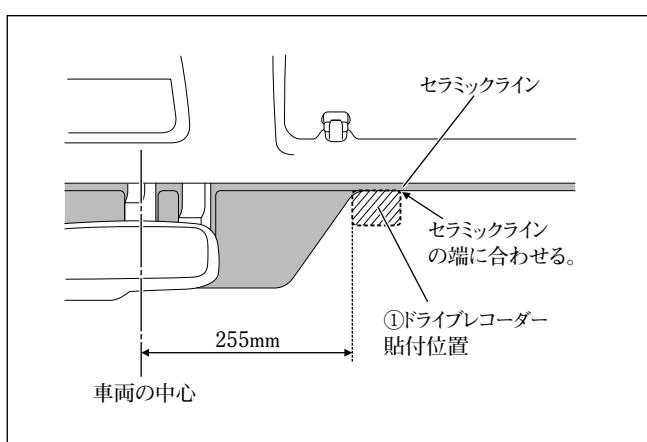
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



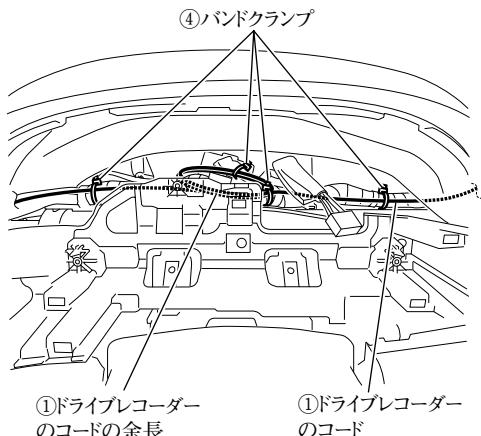
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ルームミラーは、車両の中心ではありません。ルームミラーを車両の中心として取り付けを行うと、正しい位置への取り付けができなくなります。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、①ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

コンビネーションメーター取付部



- (1) ①ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ①ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

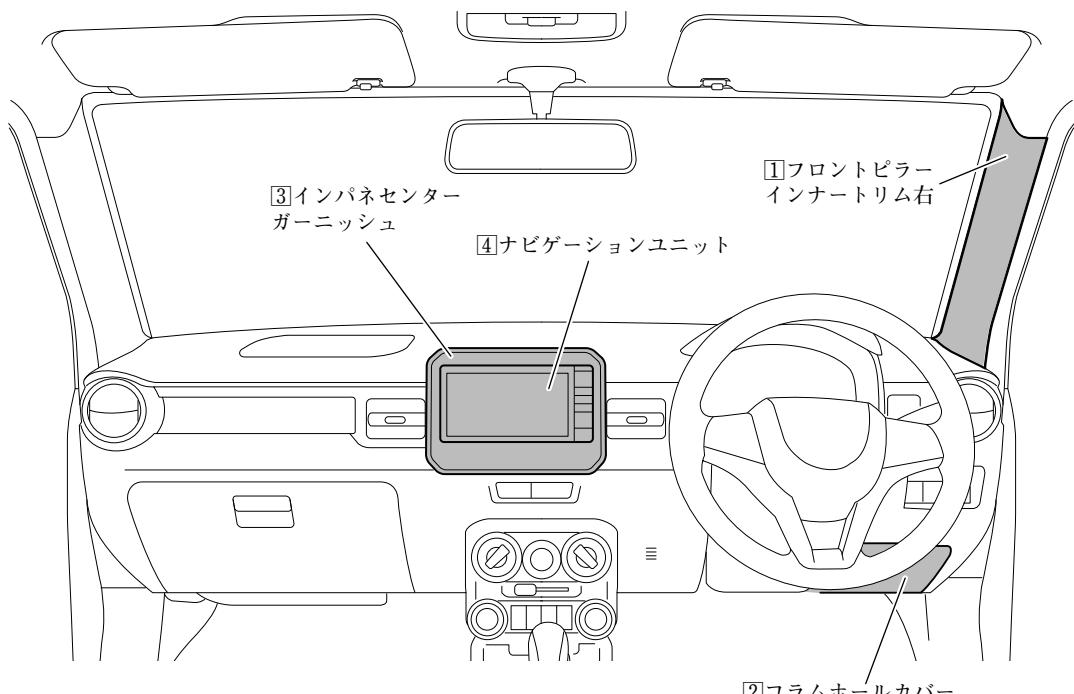
イグニスの場合

●車両部品の取り外し方法

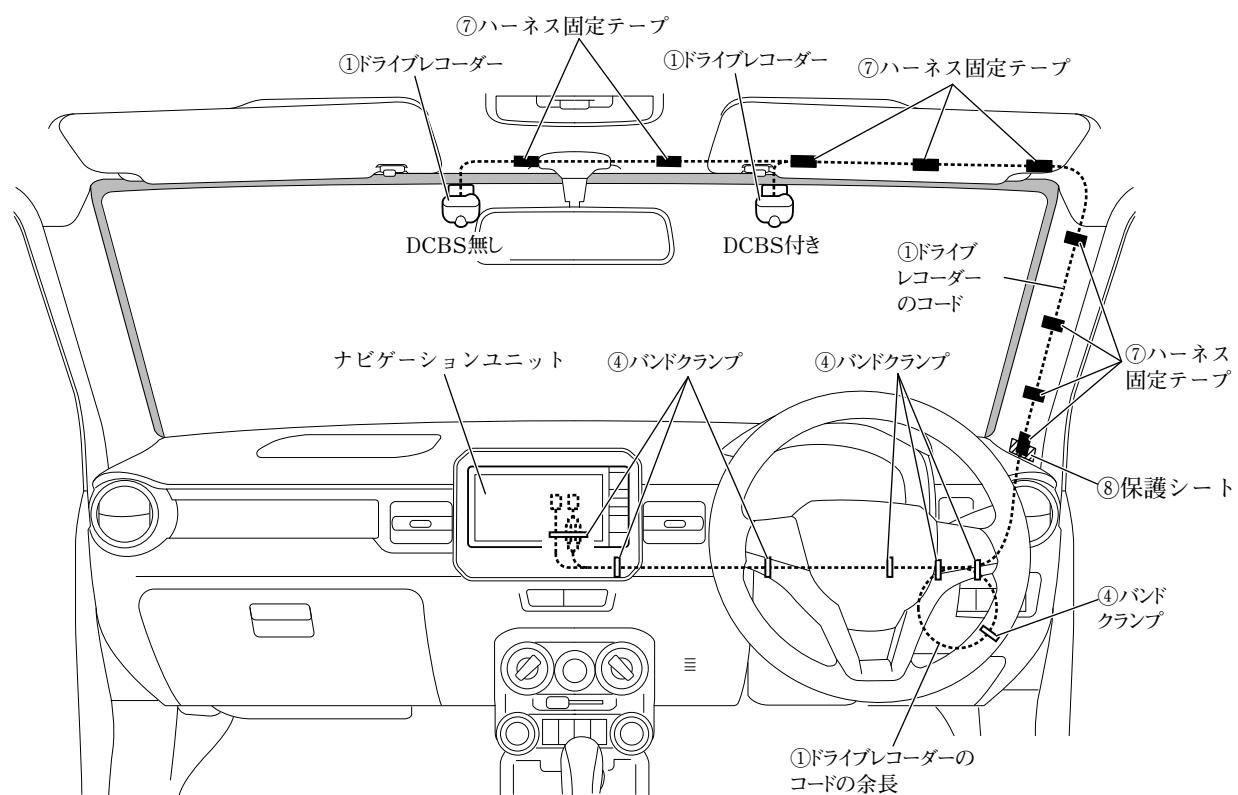
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。



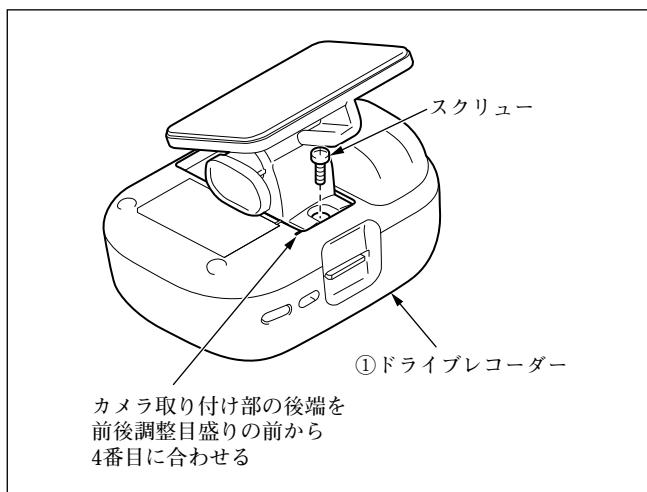
● 取付概要



※⑦ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

⑧保護シートは、50×30mmにカットして使用してください。

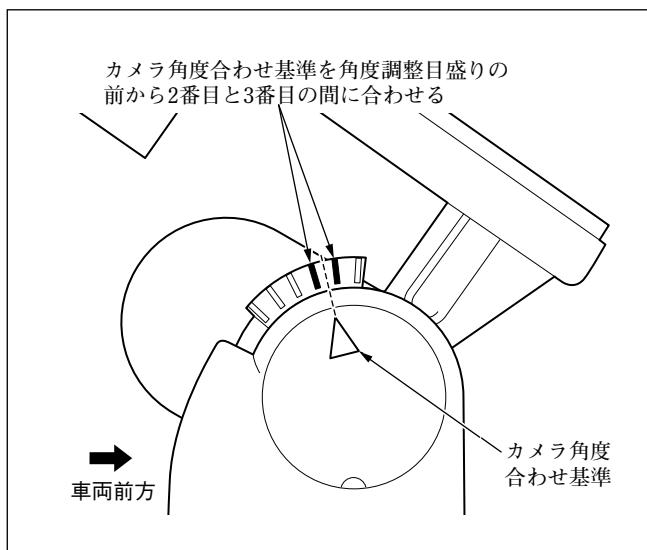
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。

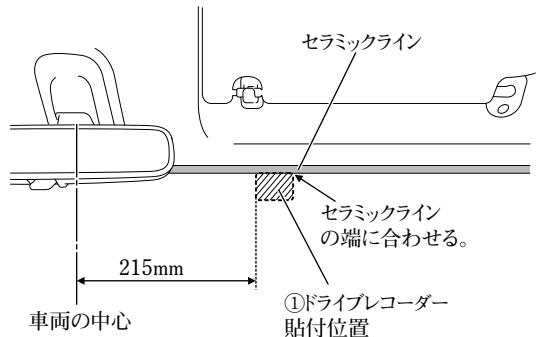


- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

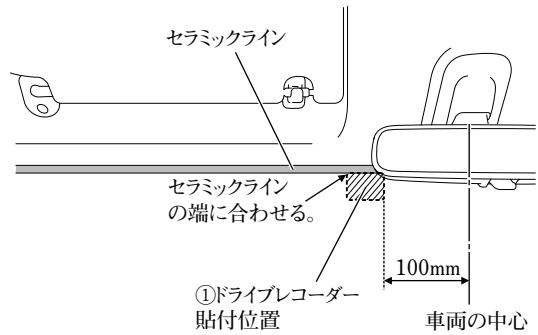
注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。

DCBS付き



DSBS無し



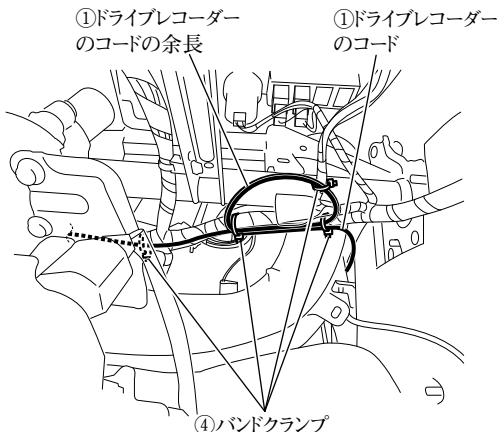
(3) ①ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、①ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

運転席足元右上



- (1) ① ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ① ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ① ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

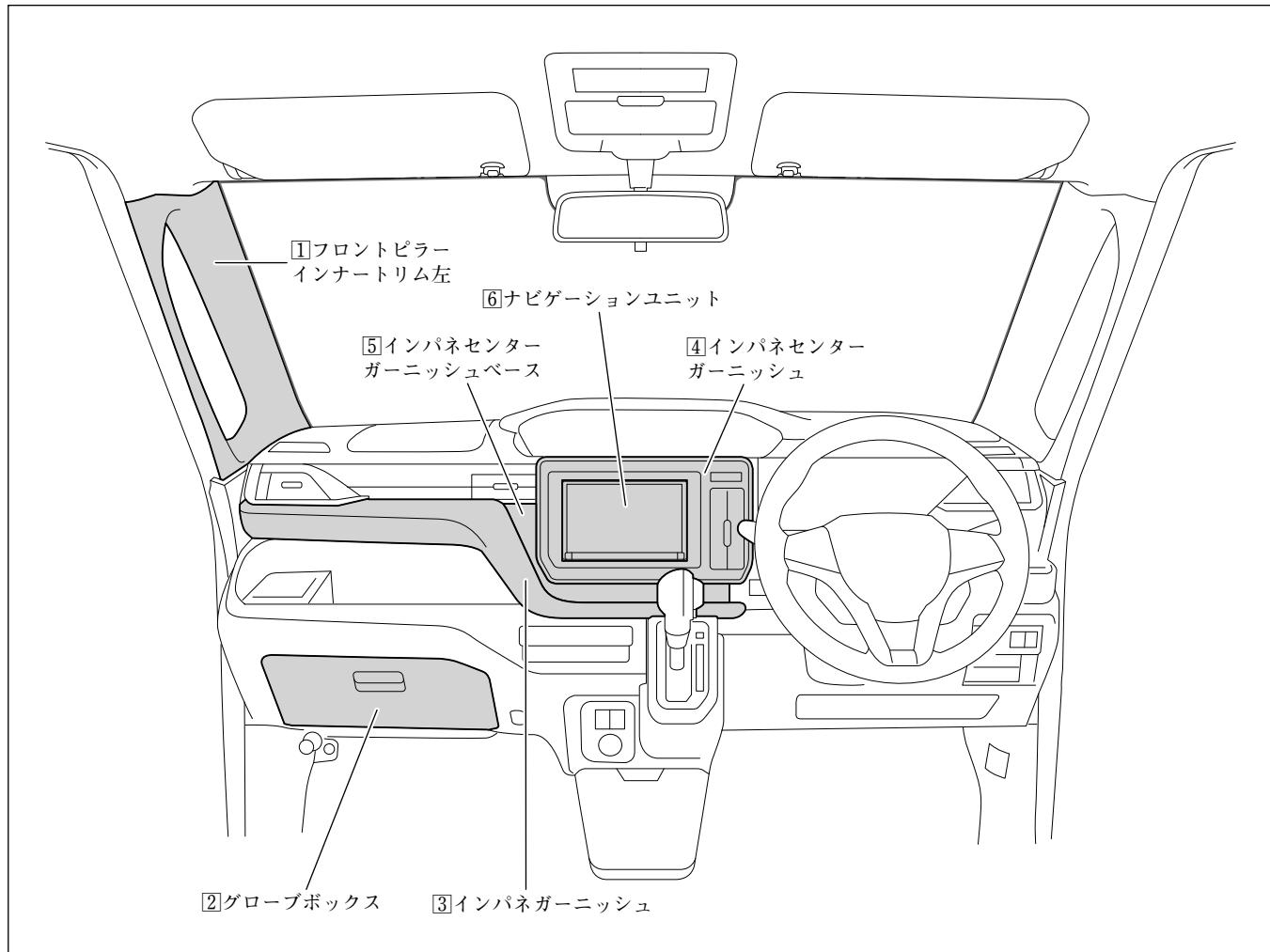
ソリオの場合

●車両部品の取り外し方法

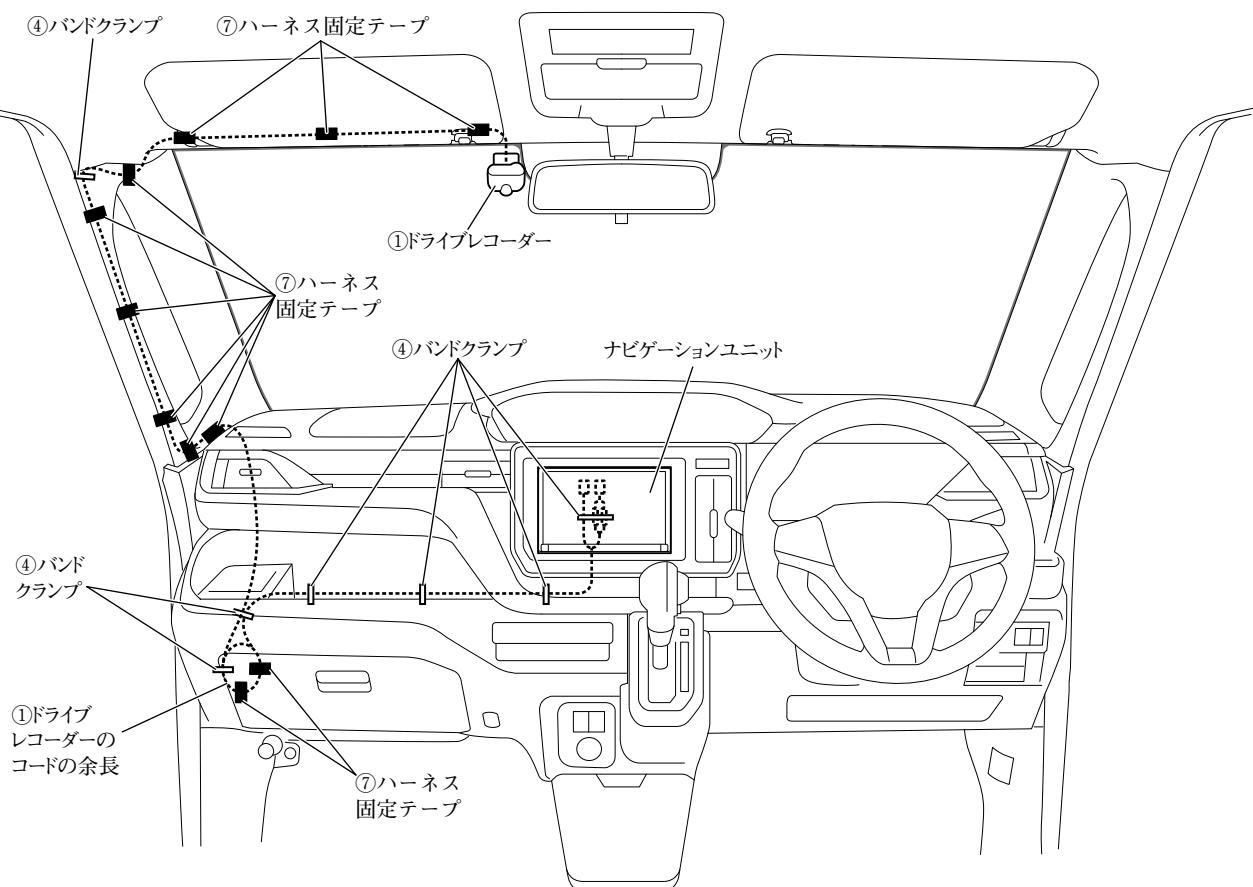
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

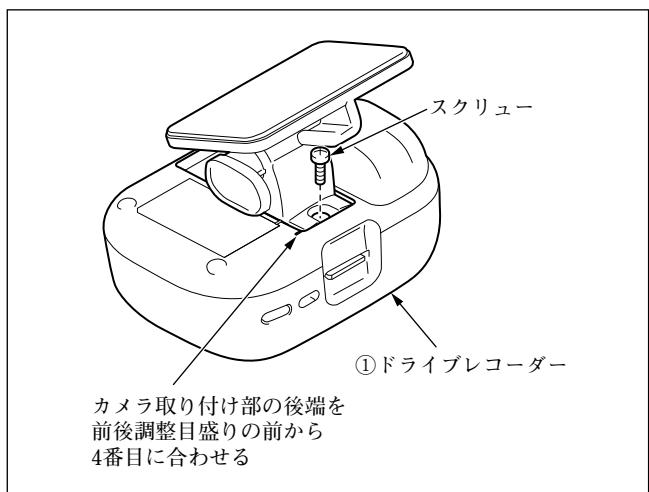


● 取付概要



※⑦ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて
100×20mmにカットして使用してください。

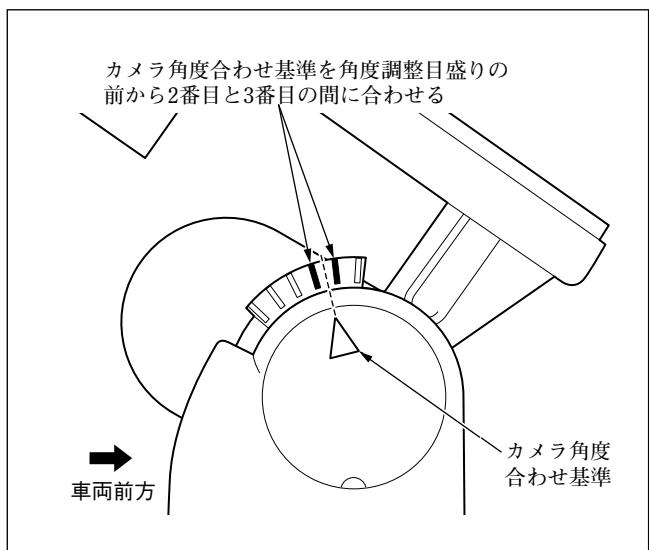
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



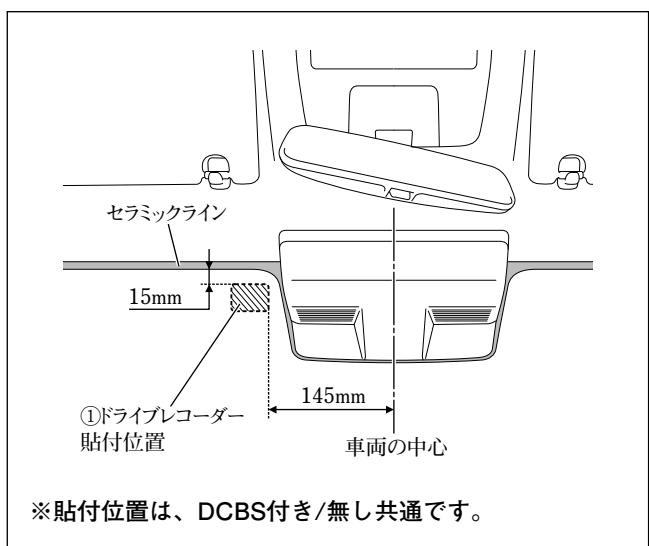
- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。

アドバイス

映像に車両部品が映り込みますが、異常ではありません。



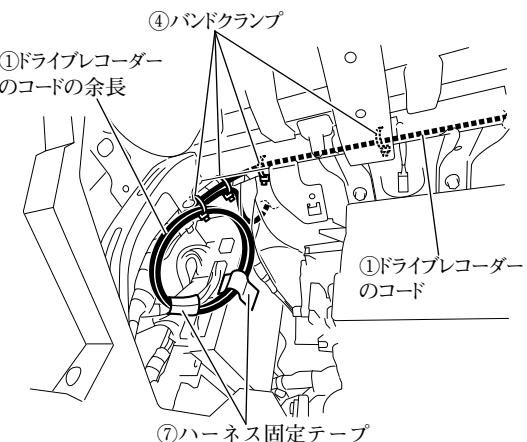
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち① ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、① ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と① ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ① ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ① ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ① ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

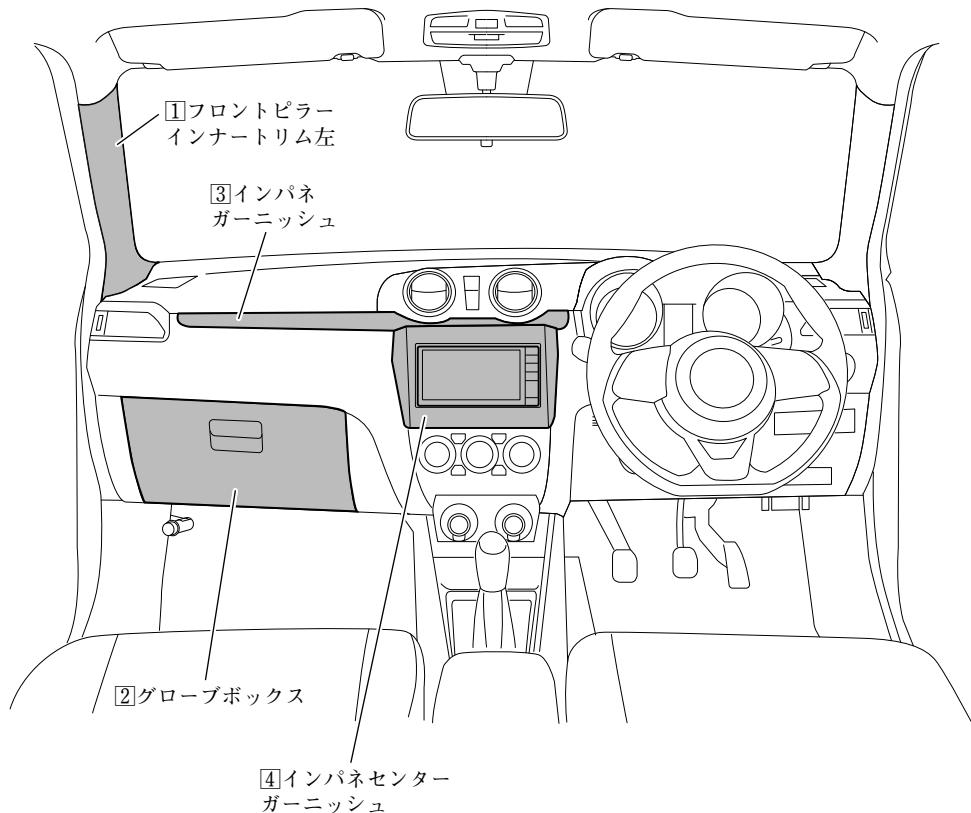
スイフトの場合

●車両部品の取り外し方法

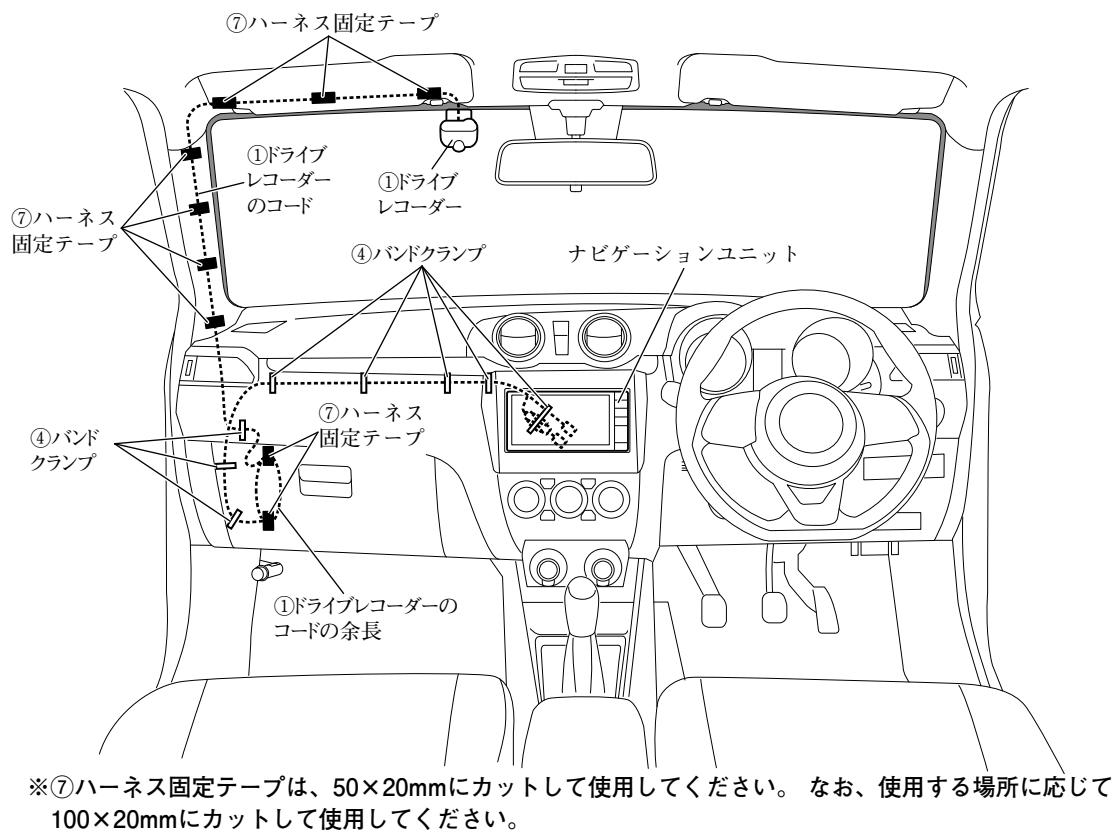
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

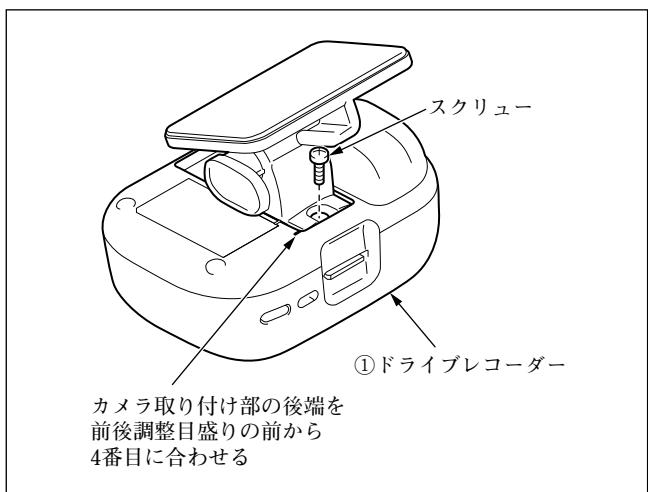
図に示す車両部品を取り外してください。



● 取付概要



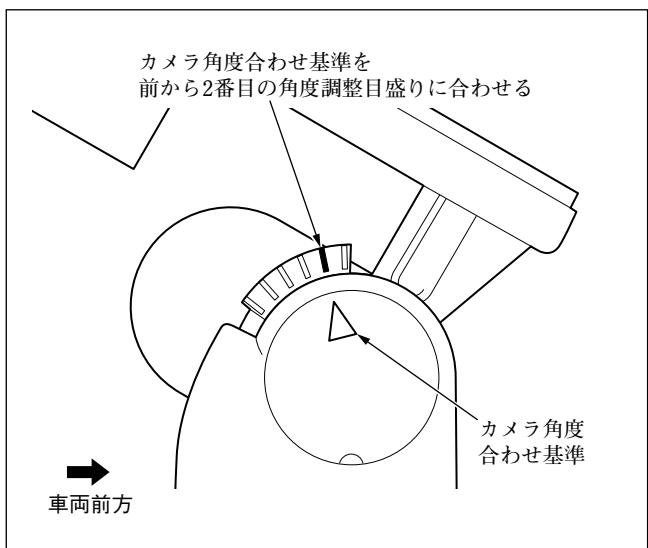
● ドライブレコーダーの取付方法



- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

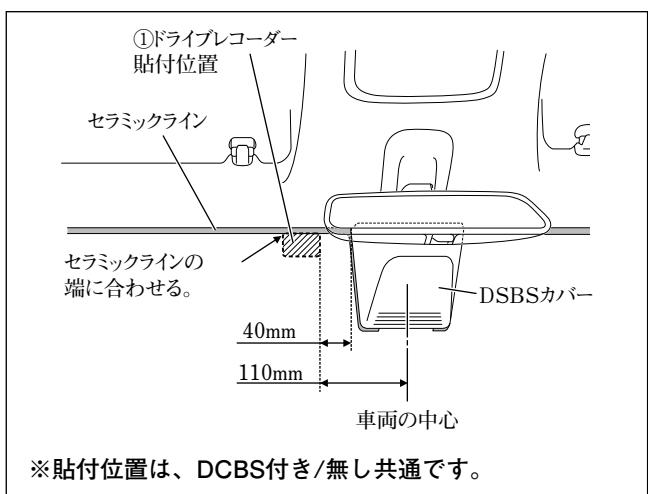
カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



- (2) ① ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。



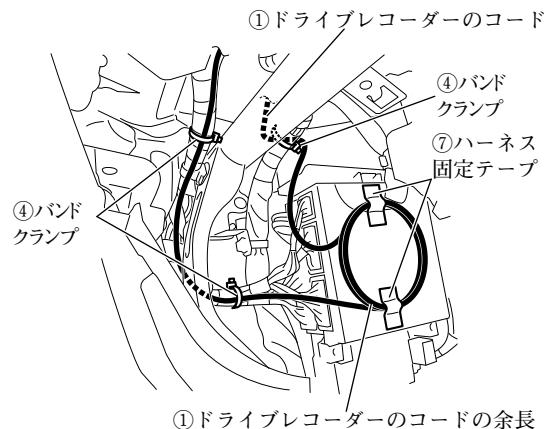
- (3) ① ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち① ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、① ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と① ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ① ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ① ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ① ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

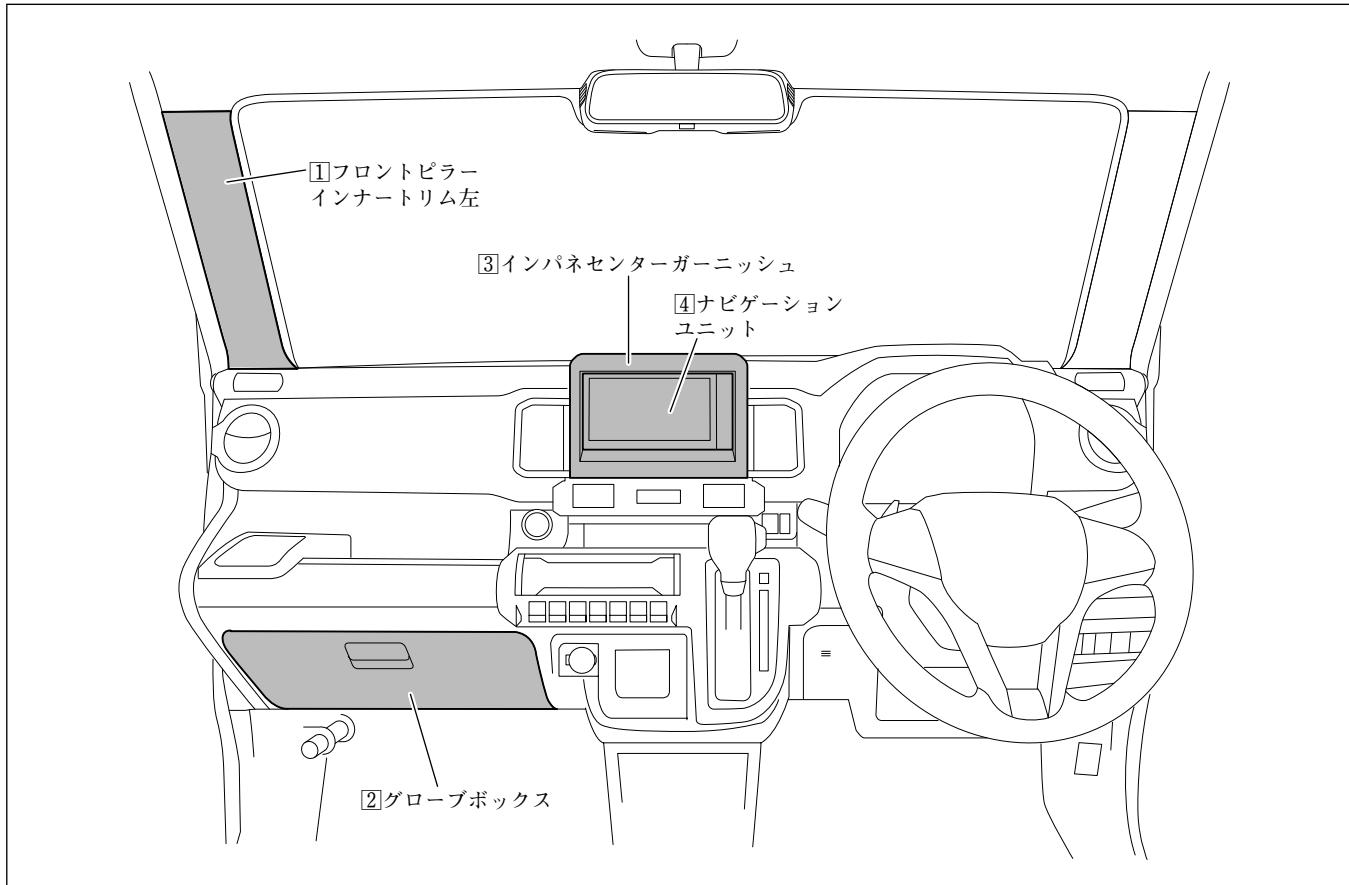
クロスビーの場合

●車両部品の取り外し方法

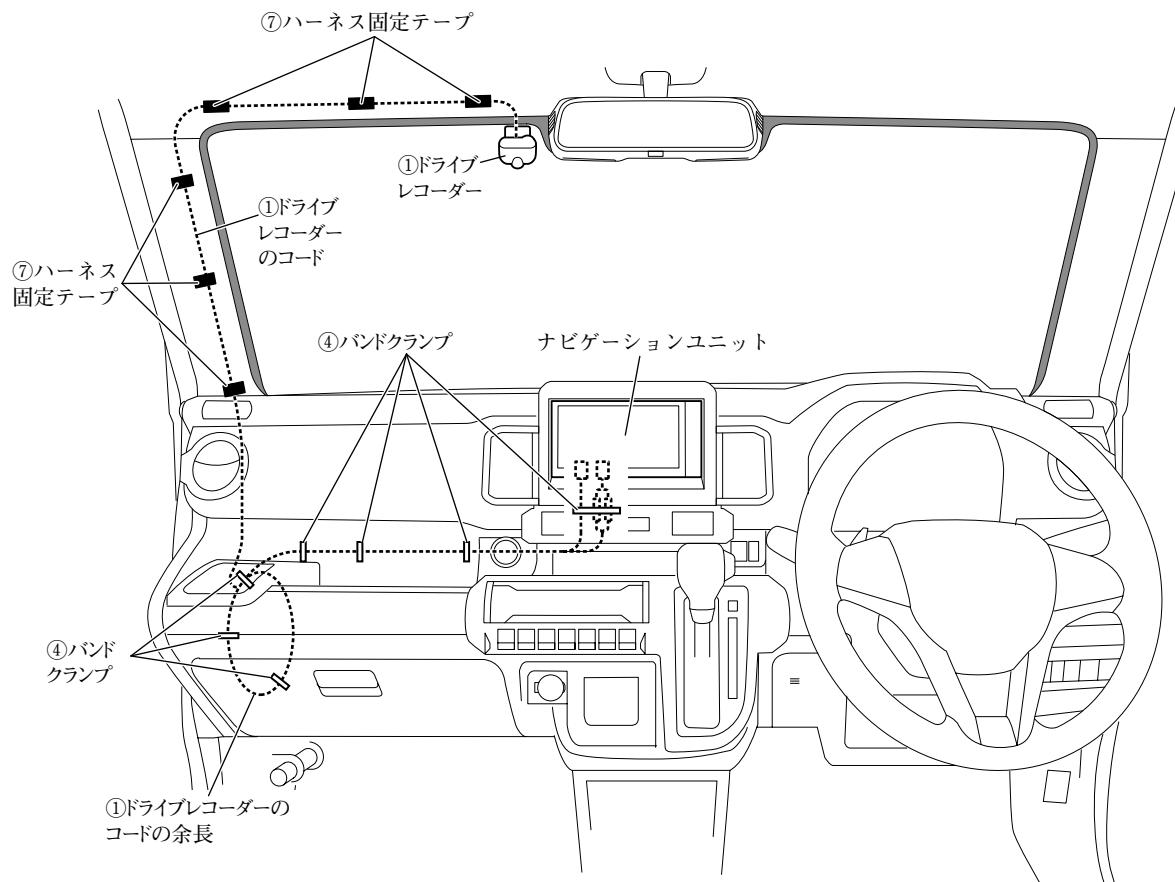
注記

取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

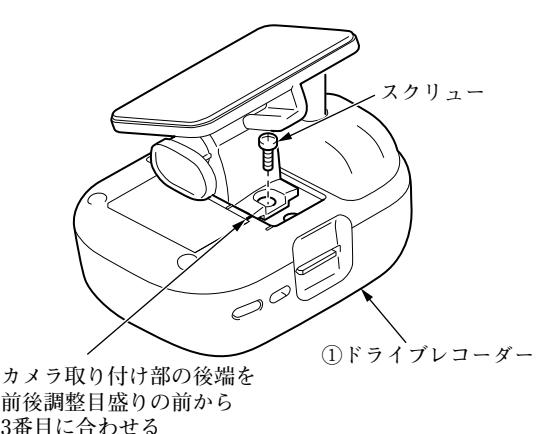


● 取付概要



※⑦ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

● ドライブレコーダーの取付方法

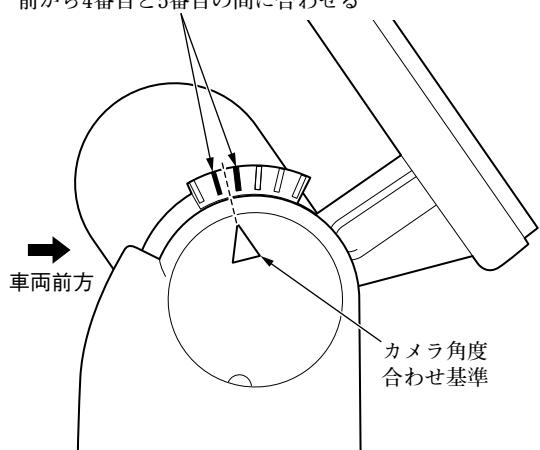


- (1) ① ドライブレコーダーのカメラの前後位置を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。

カメラ角度合わせ基準を角度調整目盛りの前から4番目と5番目の間に合わせる

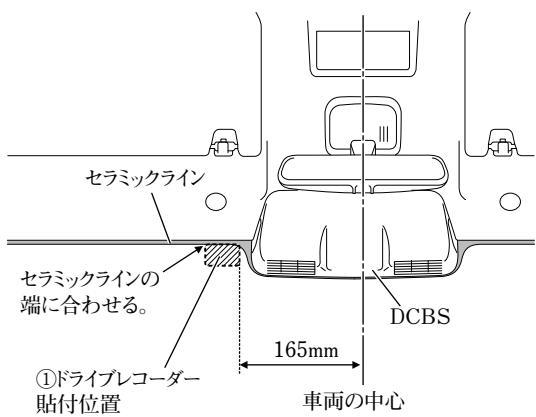


- (2) ①ドライブレコーダーのカメラの上下角度を調整してください。(全車共通の「ドライブレコーダーの取付前の準備」参照)

注記

カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。

DCBS付き



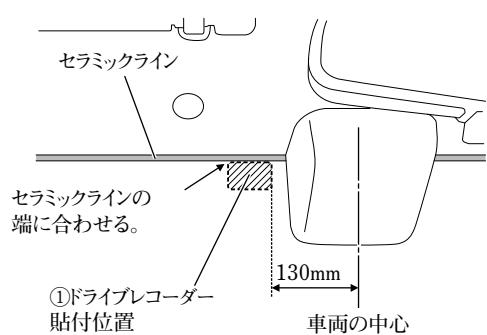
- (3) ①ドライブレコーダーは、左図位置に取り付けてください。

注記

- DCBSは、車両の中心ではありません。DCBSを車両の中心として取り付けを行うと、正しい位置への取り付けができなくなります。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、①ドライブレコーダーを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

DSBS付き

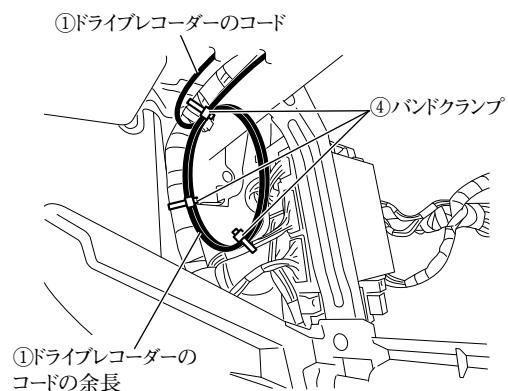
DCBS・DSBSのいずれも無し



※貼付位置は、DSBS付き/無し共通です。

●配線のしかた

グローブボックス取付部左



- (1) ①ドライブレコーダーのコードは、図に示す箇所で固定してください。
- (2) ①ドライブレコーダーのコードの余長は、図に示す箇所で固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダーのコードをナビゲーションユニットに接続してください。(「接続のしかた」参照)

- ・「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- ・「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- ・「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- ・「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

改訂内容

改訂履歴	内 容	日 付
第1版	新規発行	2022年11月29日

パナソニック お客様ご相談センター

電話 ☎ 0120-50-8729

ゴー パナソニック

■ 上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511(有料)

※通話料は、お客様のご負担となります。

受付:9:00~17:00 (年中無休)

- ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

**パナソニック
オートモーティブシステムズ株式会社**

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地